

仙台空港航空貨物ポテンシャル調査・成長シナリオ策定業務

---

# 別冊：貨物流動分析

平成 27 年 7 月

宮 城 県

---

# 目次

---

- 全体概要
- 利用空港の把握
- 仕出、仕向国地域の把握
- 発着品目の把握
- 潜在需要の推定
- 航空貨物 物量の動向
- 東北6県の産業動向

# 全体概要

---

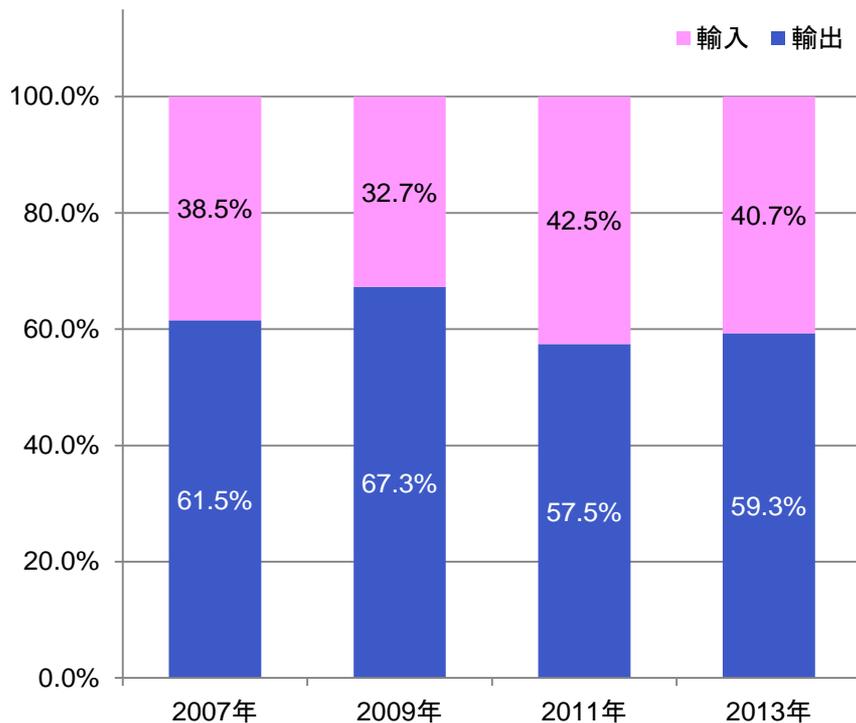
# 全体概要(国際)

## 東北6県全体

輸出と輸入の割合

ほぼ、輸出:輸入=6:4の割合  
(東北から出ていく貨物の方がやや多い)

単位: %(重量ベース)

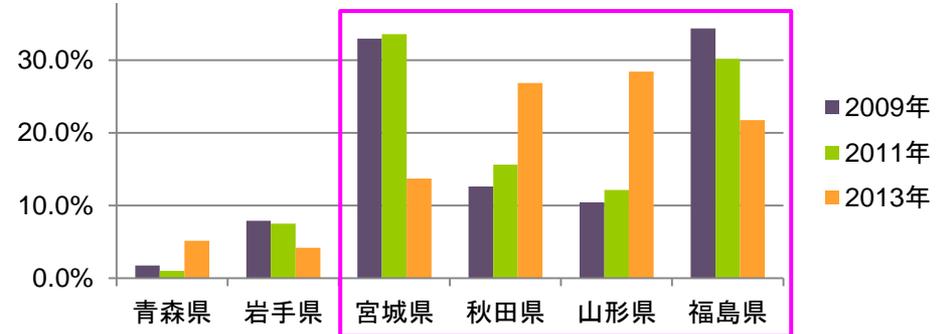


## 県別動向

輸出動向

宮城、秋田、山形、福島の4県で  
輸出全体の約9割を占める

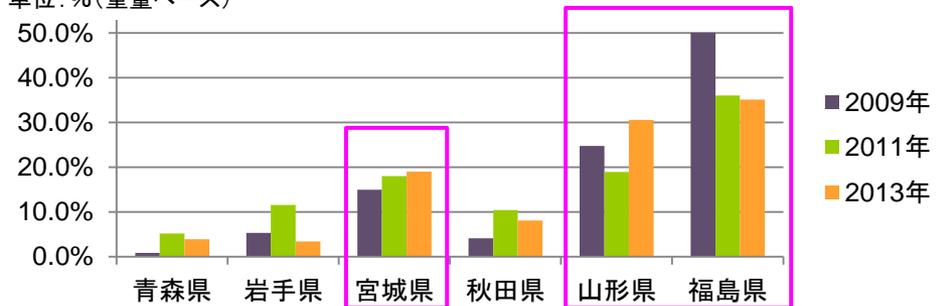
単位: %(重量ベース)



輸入動向

宮城、山形、福島の3県で  
輸入全体の約8割を占める

単位: %(重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。2007年調査は県別データ無し。

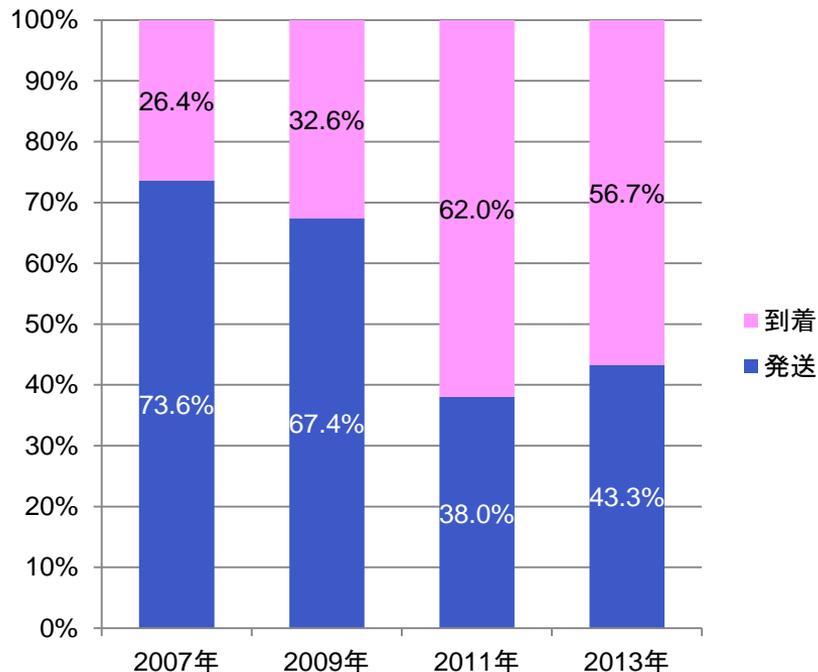
# 全体概要(国内)

## 東北6県全体

発送と到着の  
動向

発送:到着=4:6の割合  
(東北に入ってくる貨物の方がやや多い)

単位:%(重量ベース)

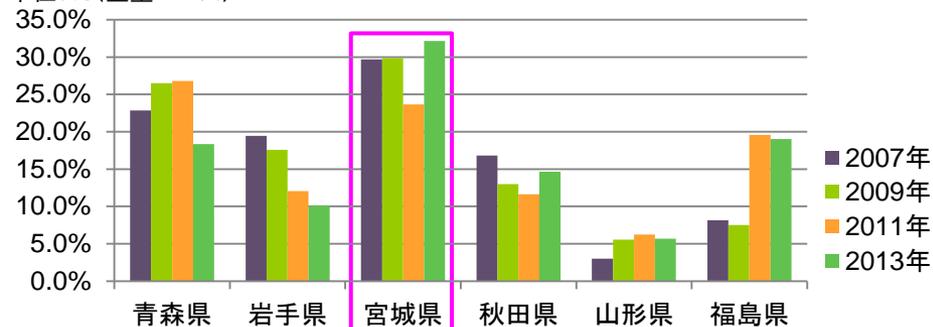


## 県別動向

発送動向

宮城県が最大の県  
(全体の約3割を占める)

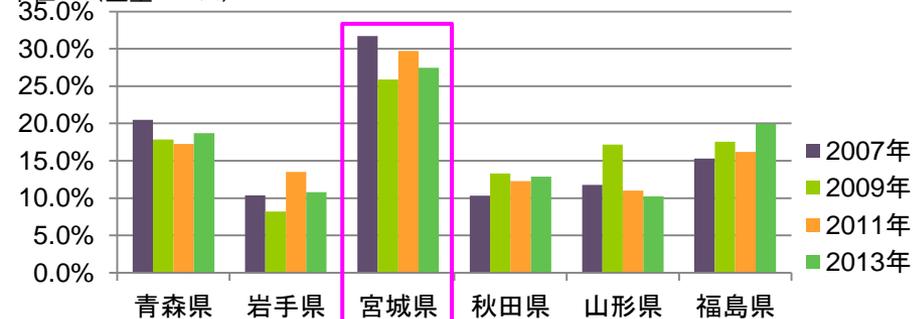
単位:%(重量ベース)



到着動向

宮城県が最大の県  
(全体の約3割を占める)

単位:%(重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 国際航空貨物 物量の動向

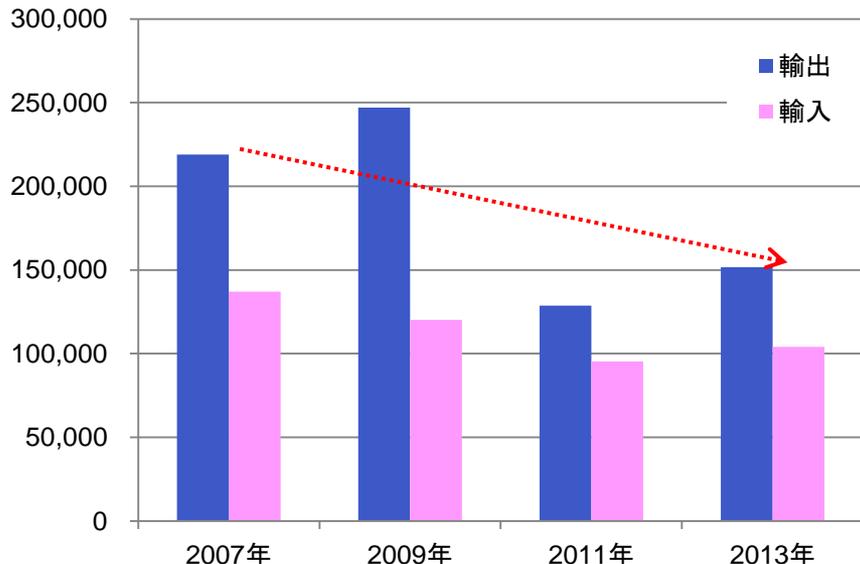
## 東北6県全体

全体として**減少傾向**にあることが推測される

全体

輸出：**減少傾向**  
 輸入：やや**減少傾向**

単位：重量 (KG)

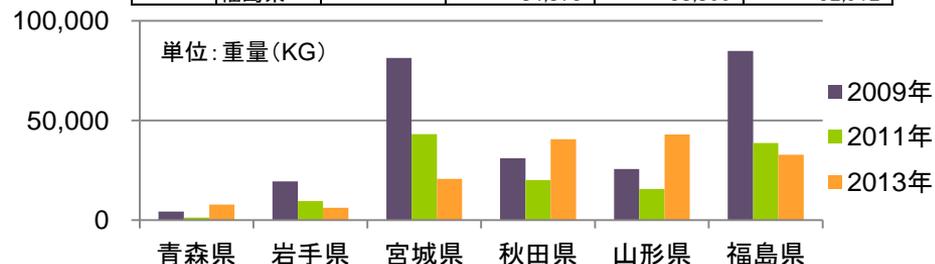


	2007年	2009年	2011年	2013年
区分	重量(KG)	重量(KG)	重量(KG)	重量(KG)
輸出	219,000	246,991	128,646	151,572
輸入	137,000	120,181	95,269	104,073
輸出入計	356,000	367,172	223,915	255,645

## 県別動向

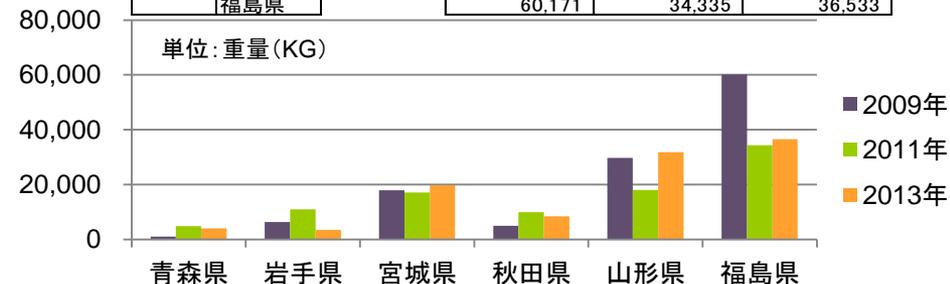
輸出

区分	所在地	2007年 重量(KG)	2009年 重量(KG)	2011年 重量(KG)	2013年 重量(KG)
輸出	東北6県	219,000	246,991	128,646	151,572
	青森県		4,348	1,276	7,794
	岩手県		19,509	9,660	6,329
	宮城県		81,414	43,204	20,740
	秋田県		31,091	20,092	40,705
	山形県		25,756	15,614	43,092
	福島県		84,873	38,800	32,912



輸入

区分	所在地	2007年 重量(KG)	2009年 重量(KG)	2011年 重量(KG)	2013年 重量(KG)
輸入	東北6県	137,000	120,181	95,269	104,073
	青森県		991	4,894	4,067
	岩手県		6,398	10,970	3,510
	宮城県		17,953	17,133	19,740
	秋田県		4,932	9,931	8,390
	山形県		29,736	18,006	31,833
	福島県		60,171	34,335	36,533



国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 より日通総合研究所作成

※調査期間(調査対象日の1日分)のデータを使用。隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。2007年調査は県別データ無し。

# 国内航空貨物 物量の動向

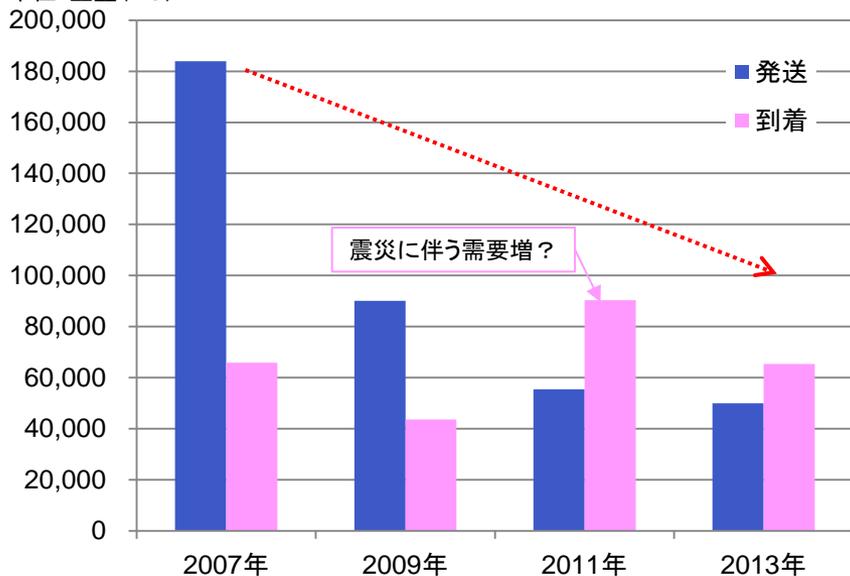
## 東北6県全体

全体として**減少傾向**にあることが推測される

全体

発送：**減少傾向**  
到着：目立った変化なし(2011年除く)

単位：重量(KG)



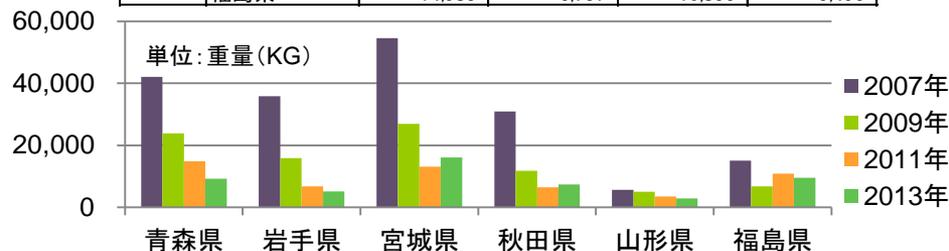
区分	2007年	2009年	2011年	2013年
発送	183,977	90,075	55,411	49,886
到着	65,837	43,626	90,320	65,290
発着計	249,814	133,701	145,731	115,176

航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 より日通総合研究所作成  
※調査期間(調査対象日の1日分)のデータを使用。隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

## 県別動向

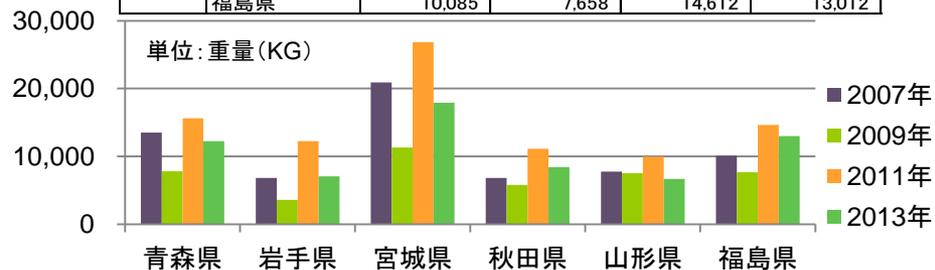
発送

区分	所在地	2007年	2009年	2011年	2013年
		重量(KG)	重量(KG)	重量(KG)	重量(KG)
発送	東北6県	183,977	90,075	55,411	49,886
	青森県	42,066	23,857	14,859	9,157
	岩手県	35,791	15,849	6,686	5,044
	宮城県	54,638	26,902	13,098	16,037
	秋田県	30,928	11,716	6,444	7,313
	山形県	5,569	4,994	3,468	2,839
	福島県	14,985	6,757	10,856	9,496



到着

区分	所在地	2007年	2009年	2011年	2013年
		重量(KG)	重量(KG)	重量(KG)	重量(KG)
到着	東北6県	65,837	43,626	90,320	65,290
	青森県	13,487	7,788	15,593	12,222
	岩手県	6,815	3,581	12,225	7,038
	宮城県	20,881	11,294	26,854	17,917
	秋田県	6,808	5,806	11,105	8,407
	山形県	7,761	7,499	9,931	6,694
	福島県	10,085	7,658	14,612	13,012



# 利用空港の把握

---

# 利用空港サマリ

- **国際**／**国内**航空貨物における利用空港の現状動向は以下の通り。  
(詳細次頁以降)

## 国際

東北発	<ul style="list-style-type: none"><li>● <u>ほぼ全て(9割以上)の発送貨物は成田空港経由で発送(輸出)される</u> (一部羽田、関西空港の利用がみられるがごく僅か)</li><li>● 仙台空港の利用は、宮城県内においてさえほぼみられない</li></ul>
東北着	<ul style="list-style-type: none"><li>● <u>ほぼ全ての到着貨物は成田空港へ到着</u></li><li>● 羽田空港の利用がみられるものの全体に占める比率は1割未満。</li><li>● 仙台空港の利用は、宮城県内においてさえほぼみられない</li></ul>

## 国内

東北発	<ul style="list-style-type: none"><li>● 多く(約7割～8割)は、羽田空港を利用</li><li>● 東北域内の他の地方空港(仙台、青森など)の利用も一定の比率を占める</li><li>● 各県からの発送貨物は、羽田の次に<u>最寄りの地方空港が使われ易い傾向</u>にある (仙台空港の利用は宮城県、山形県内に限定される)</li></ul>
東北着	<ul style="list-style-type: none"><li>● 多く(約4割～7割)は、羽田空港を利用(発貨物よりは低い比率)</li><li>● 東北域内の他の地方空港(仙台、秋田、青森など)の利用も一定の比率を占める</li><li>● 各県への到着貨物は、羽田の次に<u>最寄りの地方空港が使われ易い傾向</u>にある (仙台空港の利用は宮城県、山形県内に限定される)</li></ul>



(利用空港の把握)

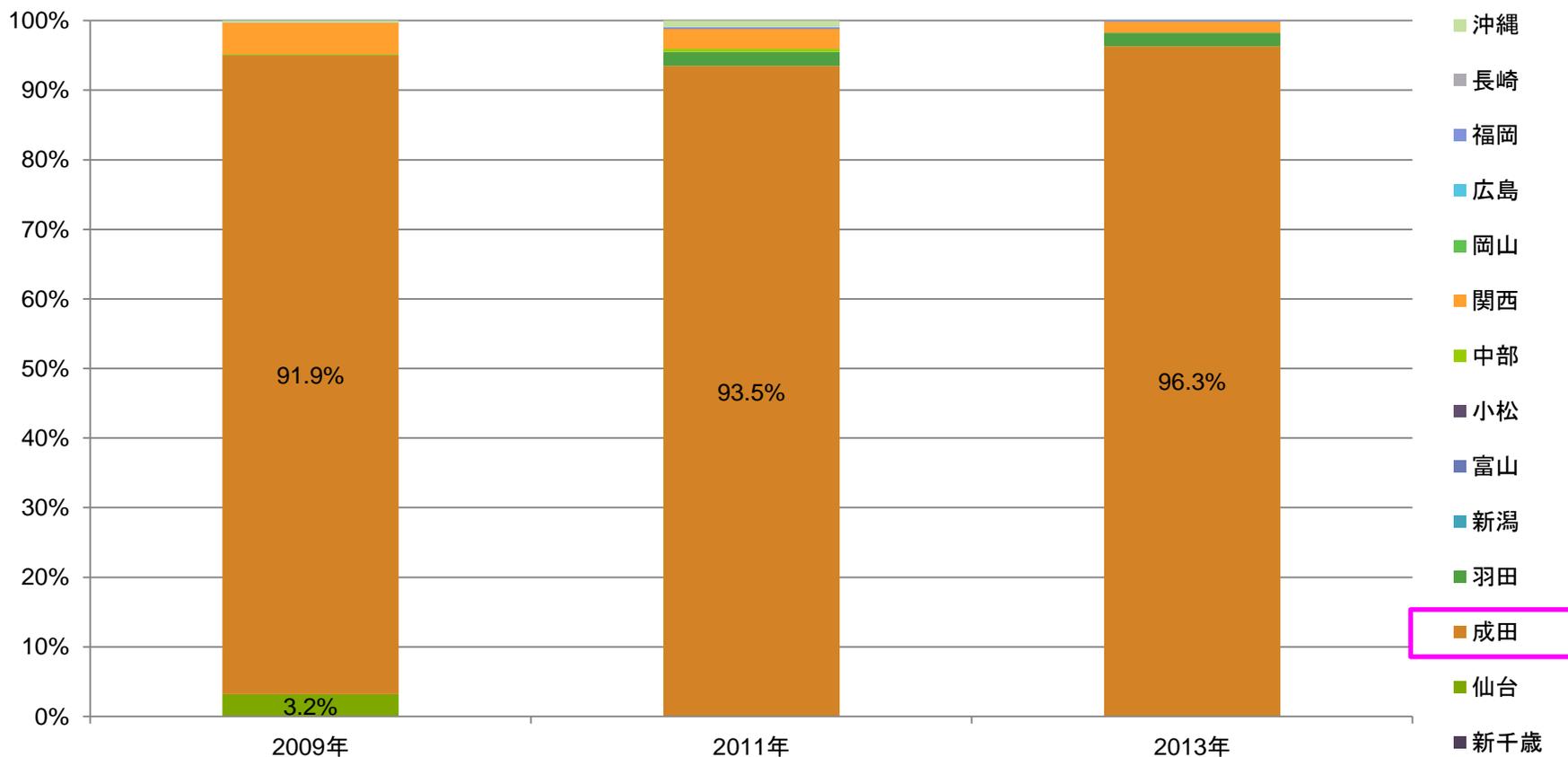
# 国際航空貨物

---

# 利用空港(発):東北6県全体

- ほぼ全て(9割以上)の発送貨物は成田空港経由で発送される。
- 仙台空港の利用はほとんどみられない(2011年度、2013年度調査ではゼロ%)。

単位: %(重量ベース)

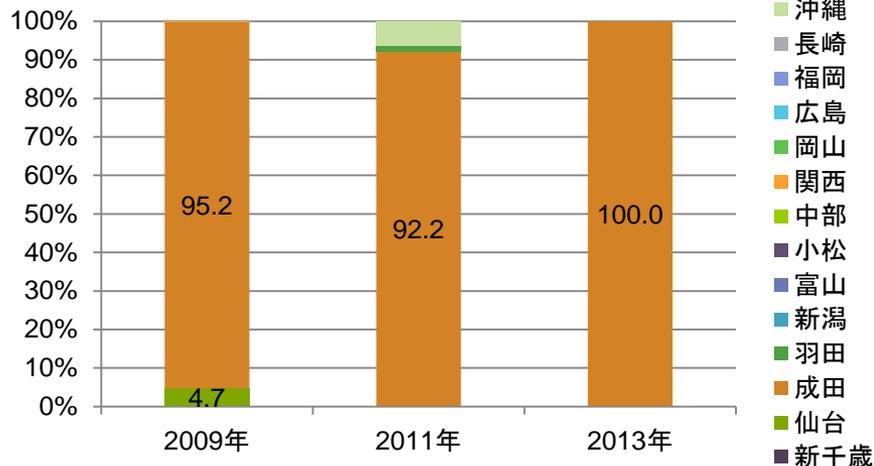


下記資料より日通総合研究所作成  
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。

# 利用空港(発): 県別

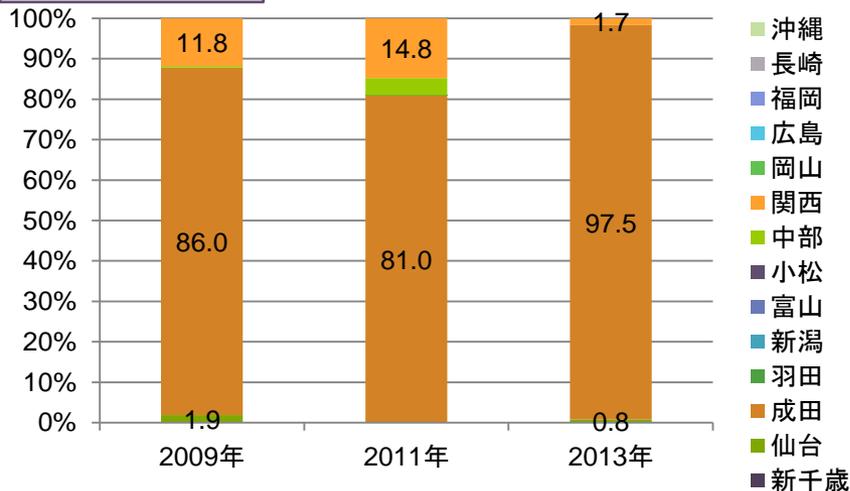
## 青森

単位: % (重量ベース)



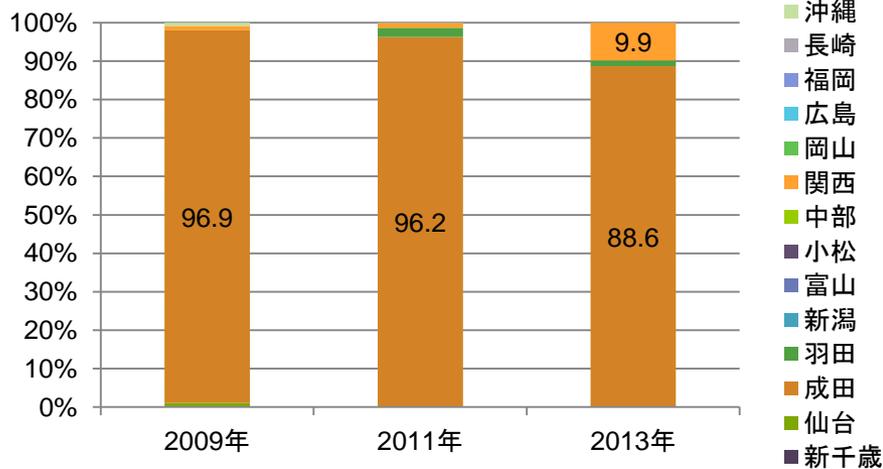
## 岩手

単位: % (重量ベース)



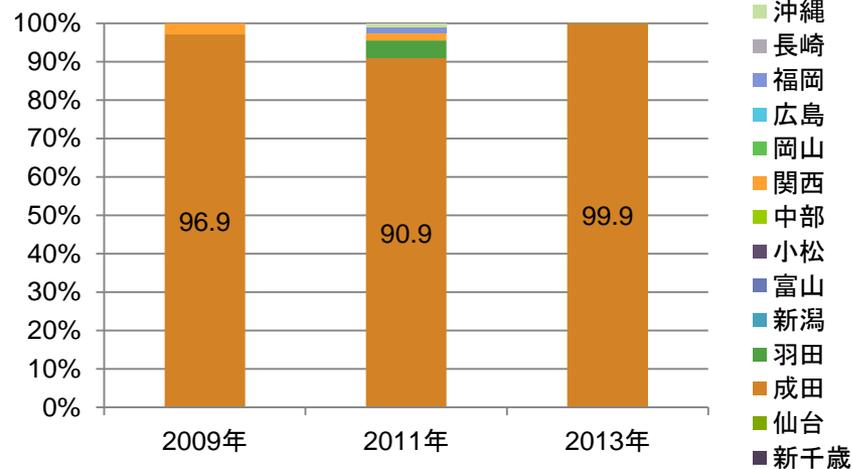
## 宮城

単位: % (重量ベース)



## 秋田

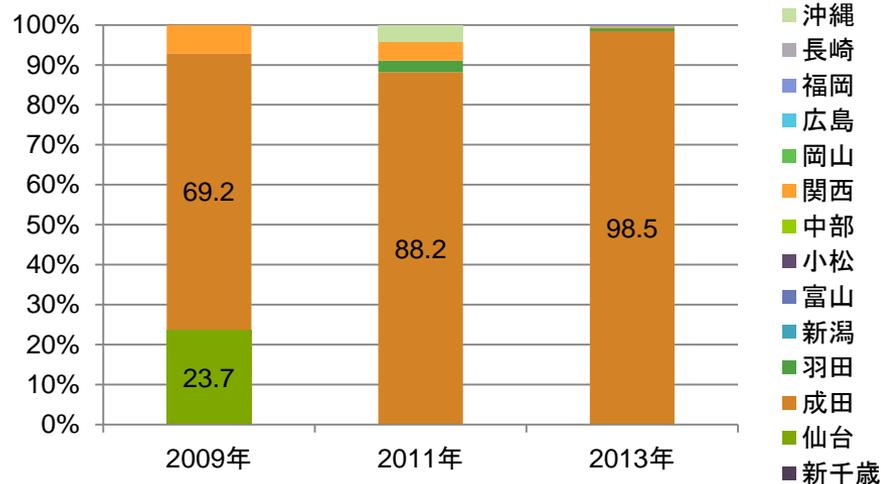
単位: % (重量ベース)



# 利用空港(発): 県別

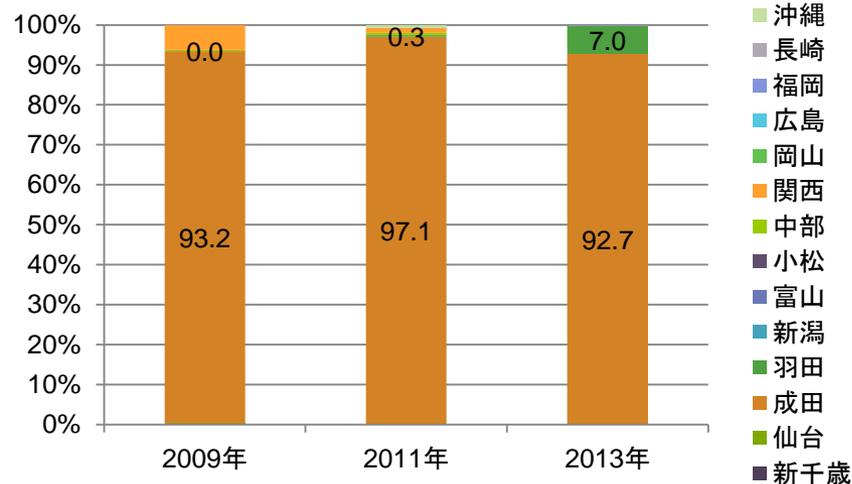
## 山形

単位: %(重量ベース)



## 福島

単位: %(重量ベース)



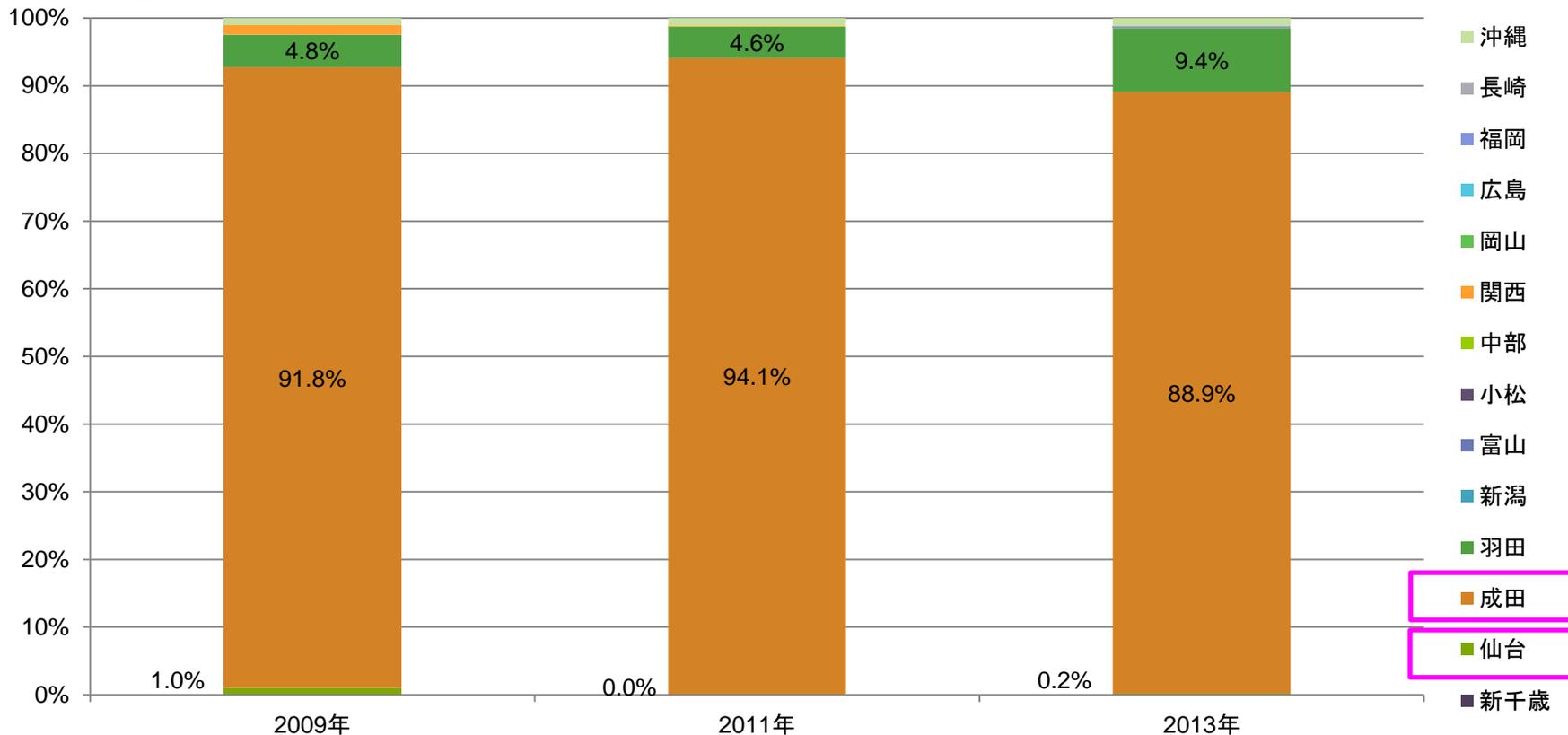
下記資料より日通総合研究所作成

・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。

# 利用空港(着):東北6県全体

- ほぼ全ての到着貨物は成田空港へ到着(成田空港から東北6県へ転送される)。
- 近年は羽田空港への到着貨物が増大傾向にあるものの全体に占める比率は1割未満。
- 仙台空港に到着する貨物はほとんどみられない。

単位: %(重量ベース)



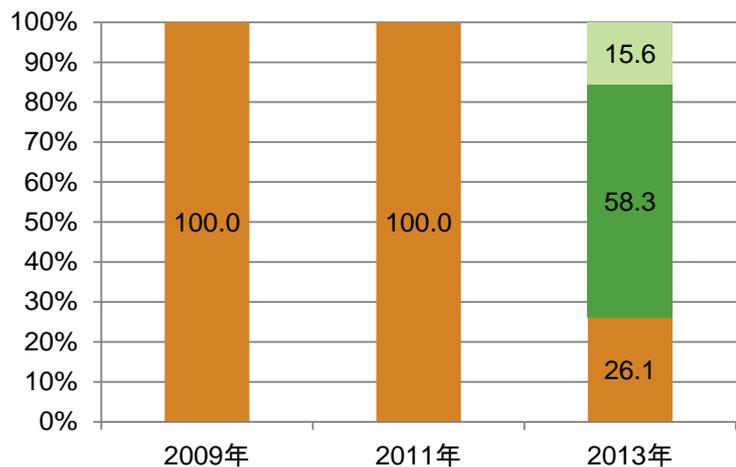
下記資料より日通総合研究所作成

・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。

# 利用空港(着): 県別

## 青森

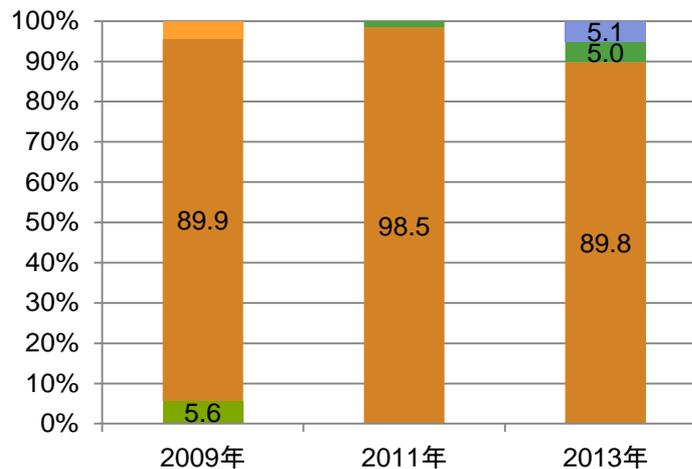
単位: %(重量ベース)



- 沖縄
- 長崎
- 福岡
- 広島
- 岡山
- 関西
- 中部
- 小松
- 富山
- 新潟
- 羽田
- 成田
- 仙台
- 新千歳

## 岩手

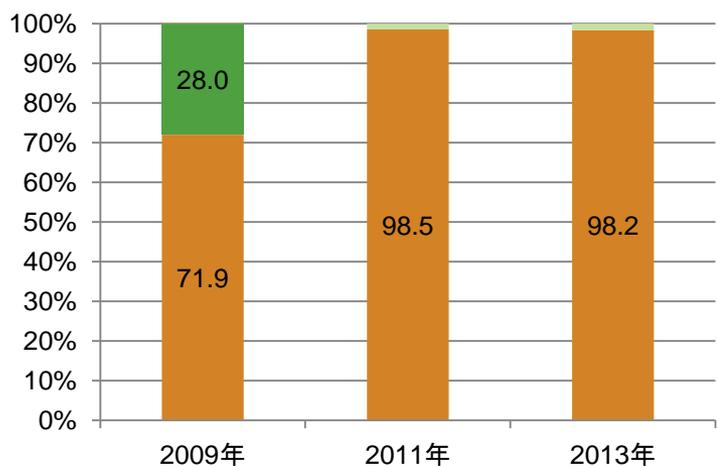
単位: %(重量ベース)



- 沖縄
- 長崎
- 福岡
- 広島
- 岡山
- 関西
- 中部
- 小松
- 富山
- 新潟
- 羽田
- 成田
- 仙台
- 新千歳

## 宮城

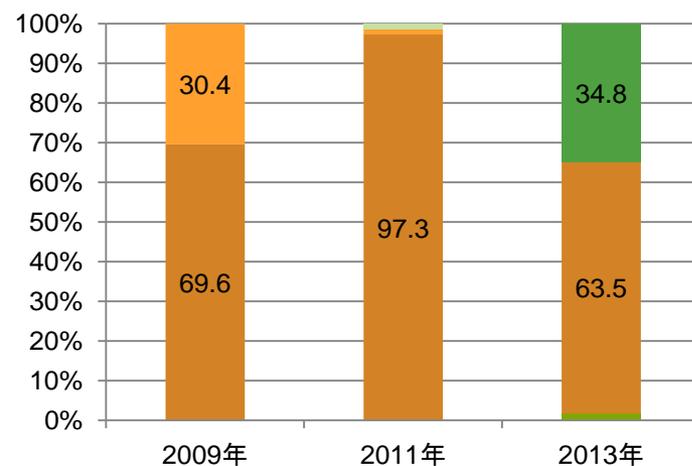
単位: %(重量ベース)



- 沖縄
- 長崎
- 福岡
- 広島
- 岡山
- 関西
- 中部
- 小松
- 富山
- 新潟
- 羽田
- 成田
- 仙台
- 新千歳

## 秋田

単位: %(重量ベース)

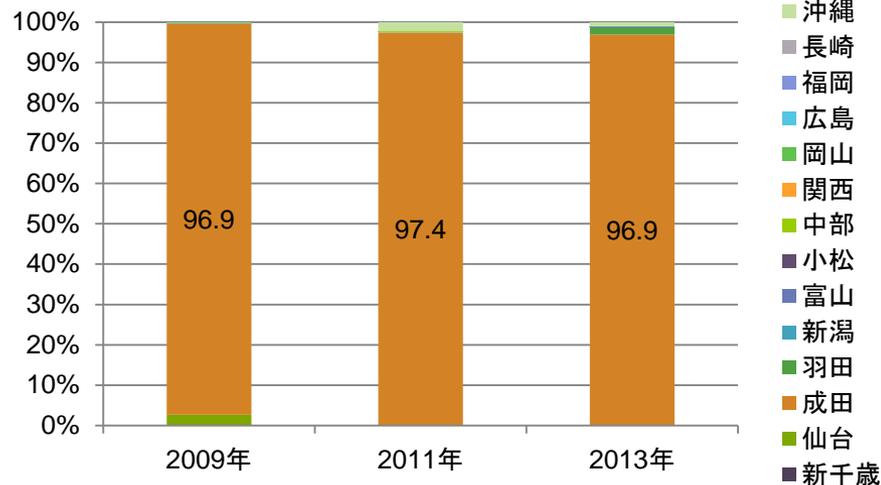


- 沖縄
- 長崎
- 福岡
- 広島
- 岡山
- 関西
- 中部
- 小松
- 富山
- 新潟
- 羽田
- 成田
- 仙台
- 新千歳

# 利用空港(着): 県別

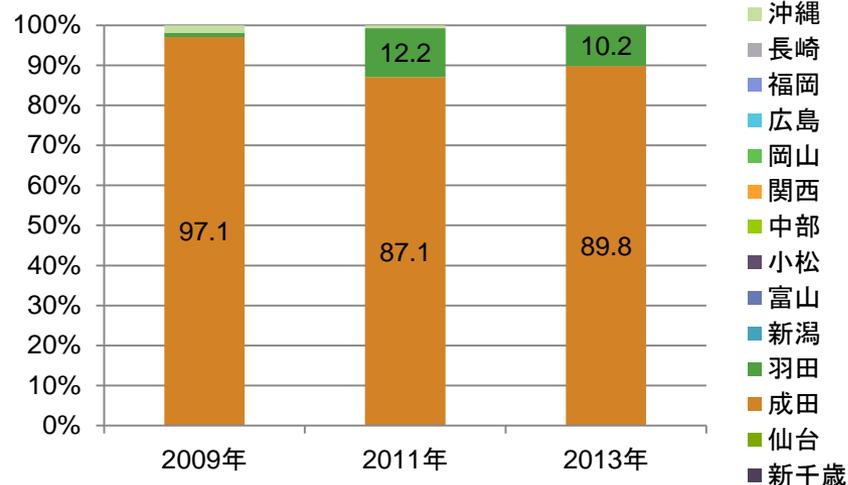
## 山形

単位: % (重量ベース)



## 福島

単位: % (重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。

(利用空港の把握)

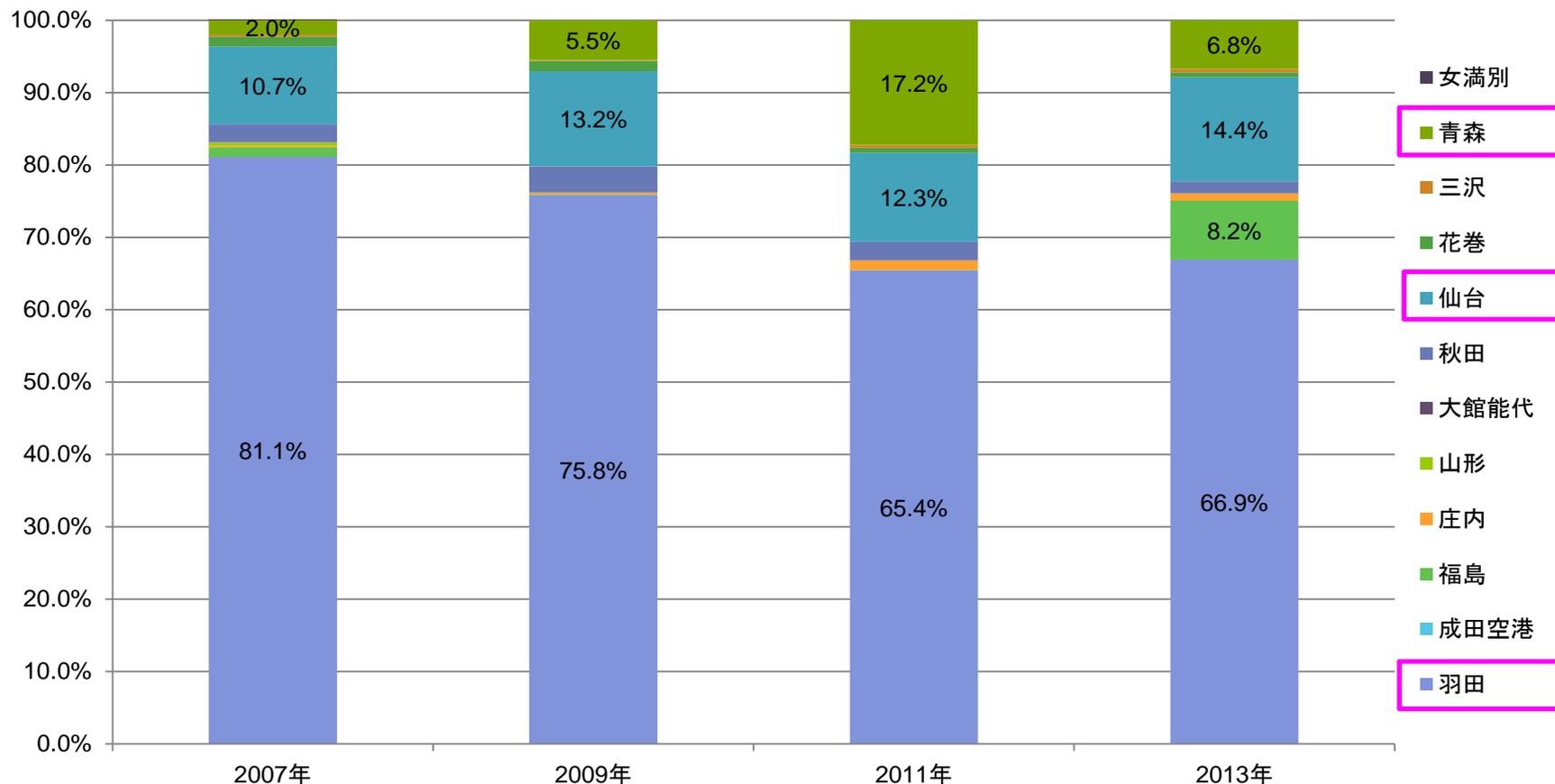
# 国内航空貨物

---

# 利用空港(発):東北6県全体

- 東北発貨物の多く(約7割~8割)は、羽田空港を利用。
- 東北地方の空港では仙台空港、青森空港が一定の比率を占める。

単位: %(重量ベース)



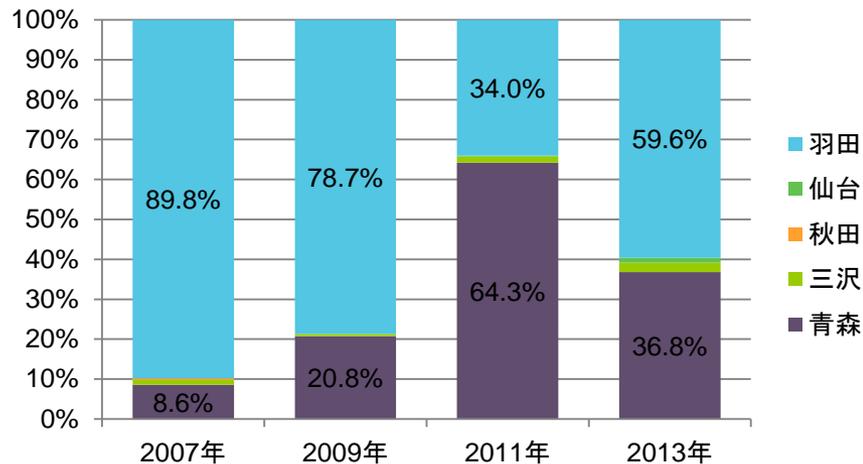
下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 利用空港(発): 県別

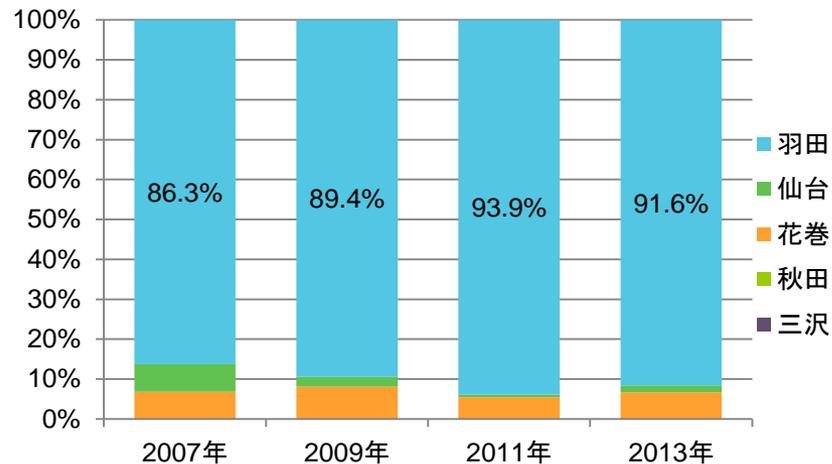
## 青森

単位: %(重量ベース)



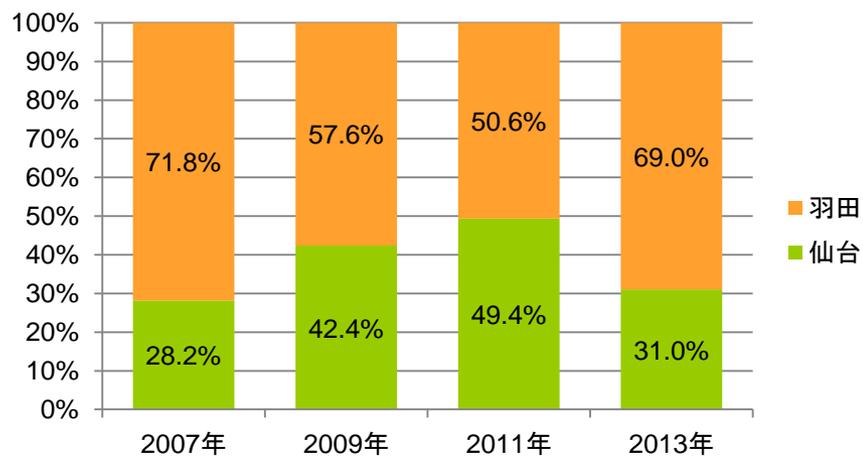
## 岩手

単位: %(重量ベース)



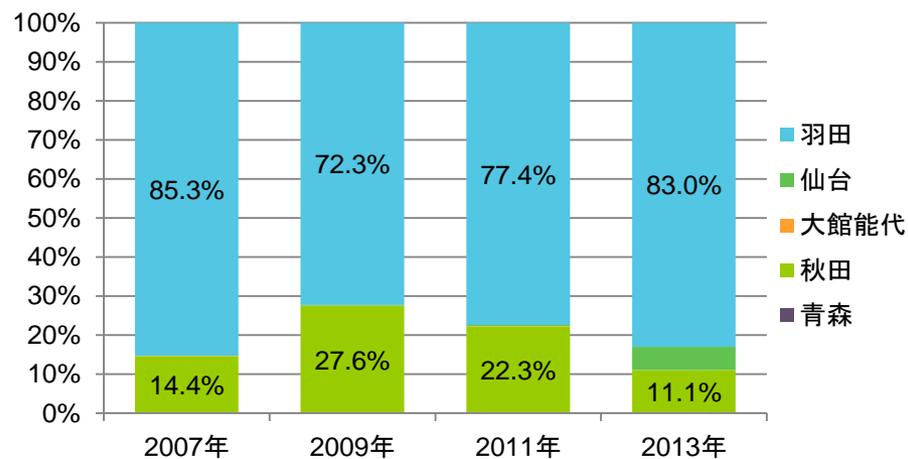
## 宮城

単位: %(重量ベース)



## 秋田

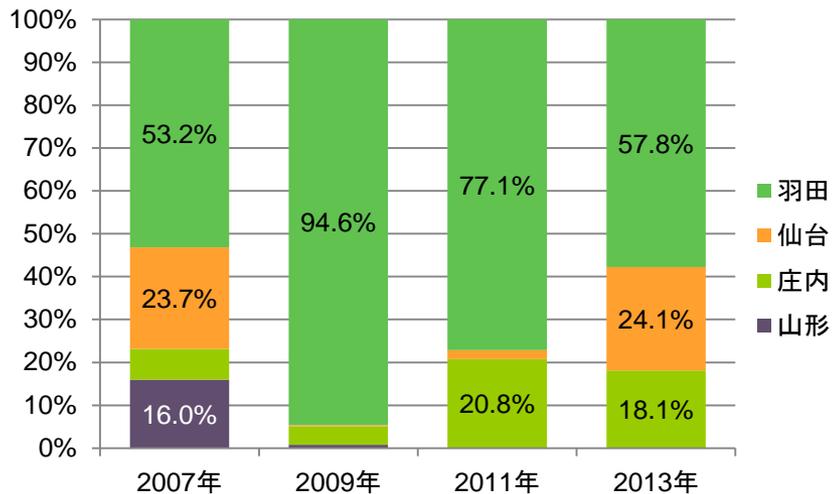
単位: %(重量ベース)



# 利用空港(発): 県別

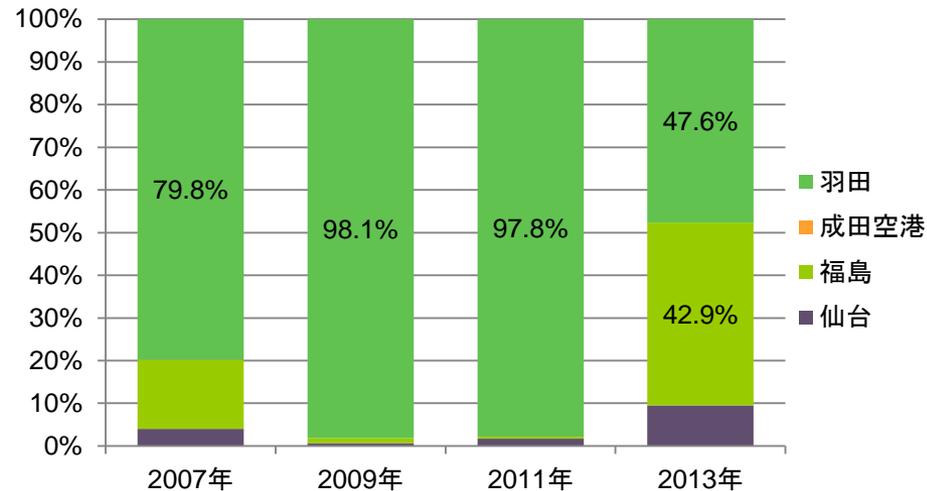
## 山形

単位: % (重量ベース)



## 福島

単位: % (重量ベース)



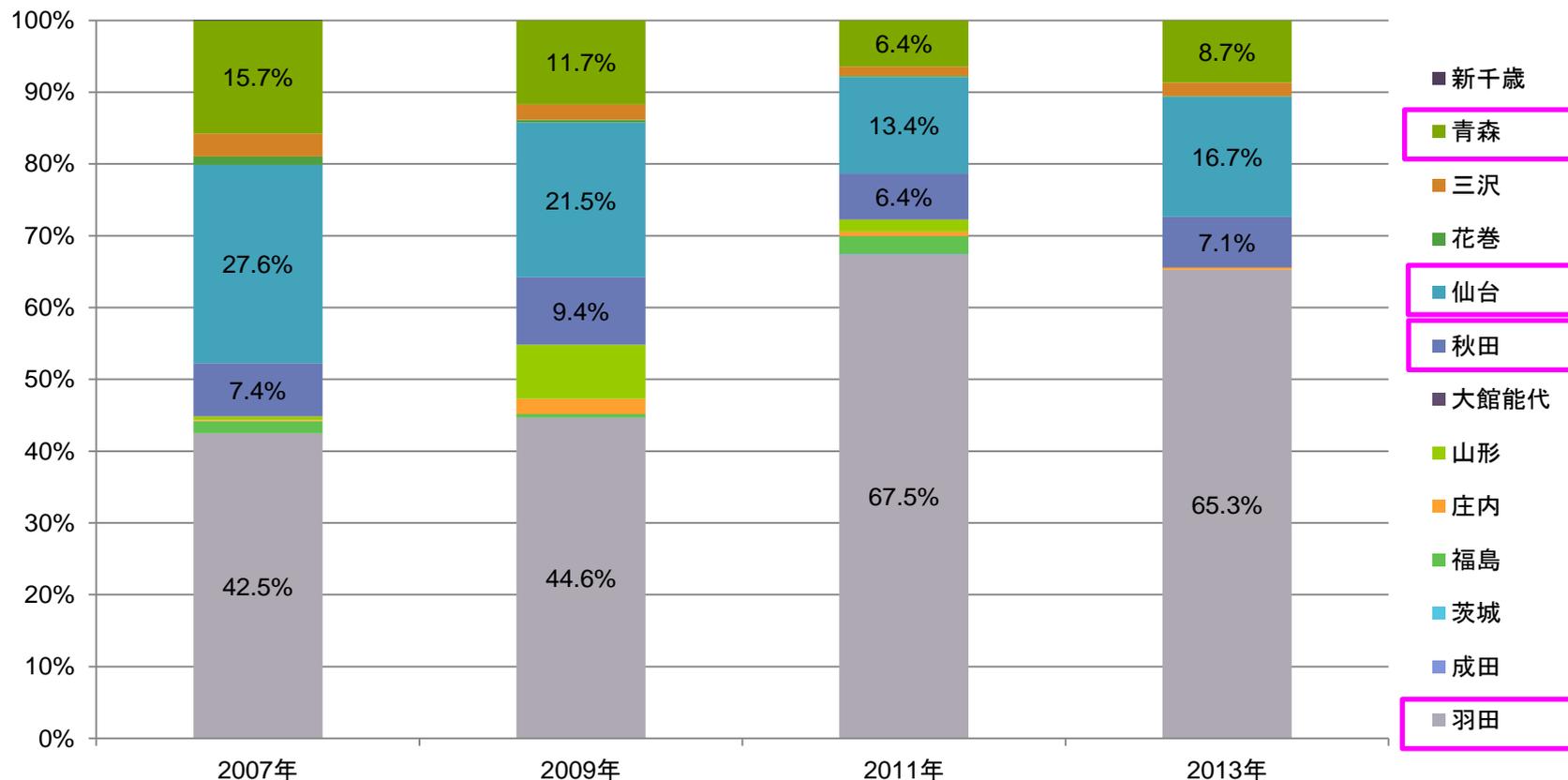
下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 利用空港(着):東北6県全体

- 東北着国内貨物の多く(約4割~7割)は、羽田空港を利用。
- 成田空港も一定の比率(1割未満)で利用されている。
- 東北地方では仙台空港、秋田空港、青森空港が比較的多くの到着貨物で利用されている。

単位: %(重量ベース)

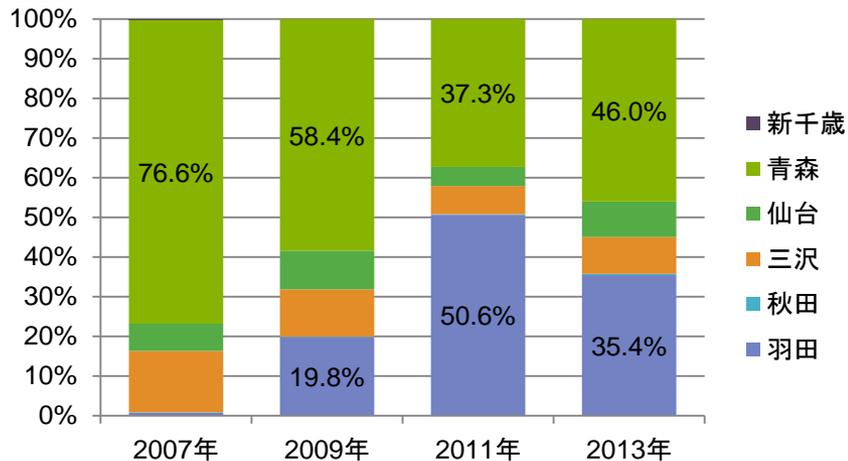


下記資料より日通総合研究所作成  
 ・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 利用空港(着): 県別

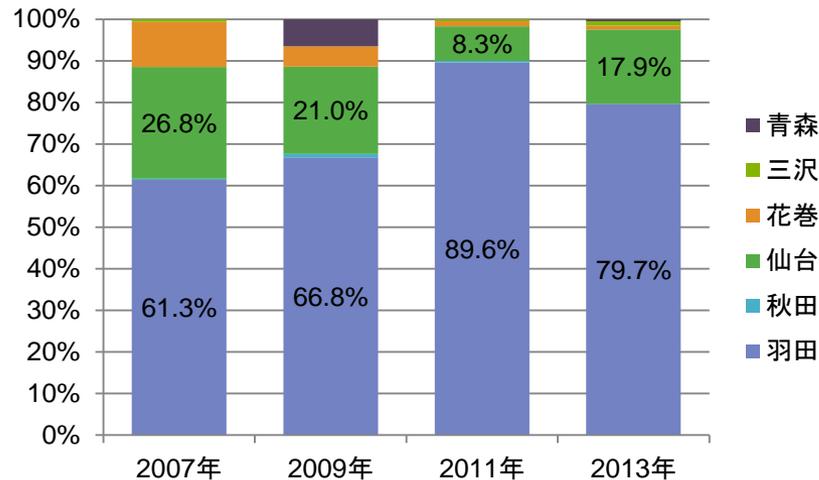
## 青森県

単位: % (重量ベース)



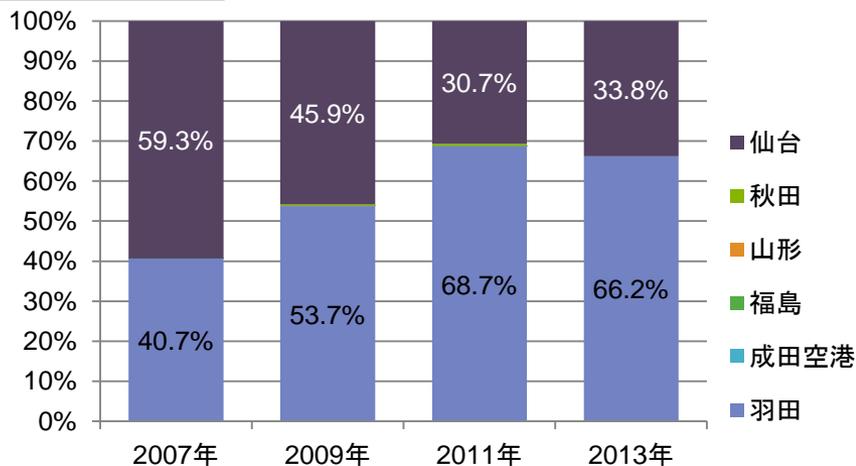
## 岩手県

単位: % (重量ベース)



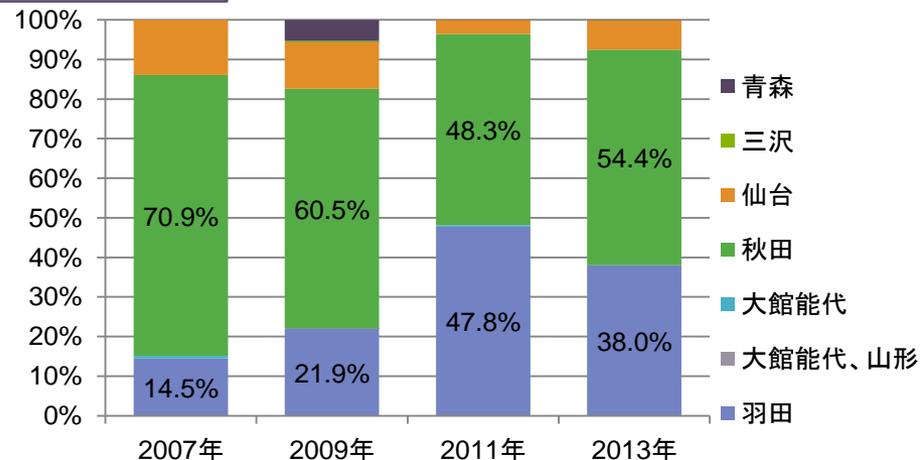
## 宮城県

単位: % (重量ベース)



## 秋田県

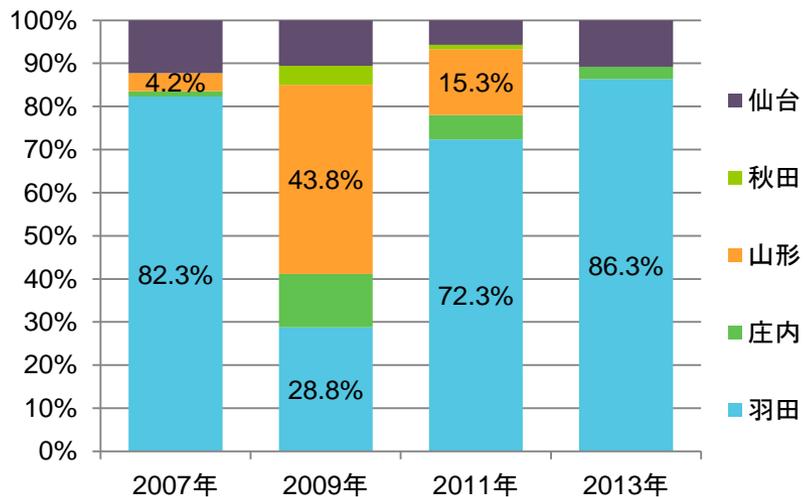
単位: % (重量ベース)



# 利用空港(着): 県別

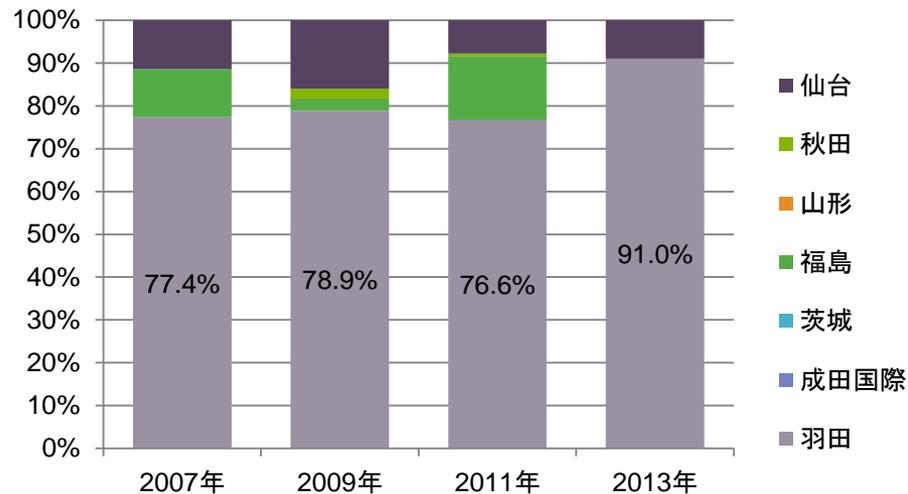
## 山形県

単位: % (重量ベース)



## 福島県

単位: % (重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 仕出、仕向国地域の把握

---

# 仕出、仕向国地域サマリ

- 国際航空貨物における仕出、仕向国の現状動向は以下の通り。  
(詳細次頁以降)

## 国際

### 東北発 仕向国地域

- アジア(極東及び東南アジア)向けの貨物が全体の約7割～8割を占める
- 特に極東(東アジア)地域向けの比率が最も高い
- アジア向け以外では、北米(約2割)、欧州(約2割)が占める

### 東北着 仕出国地域

- アジア(極東及び東南アジア)からの貨物が全体の約5割～7割を占める
- 特に極東(東アジア)地域向けの比率がおおよそ拮抗
- アジアから以外では北米(約1割)、欧州(約2割)が占める

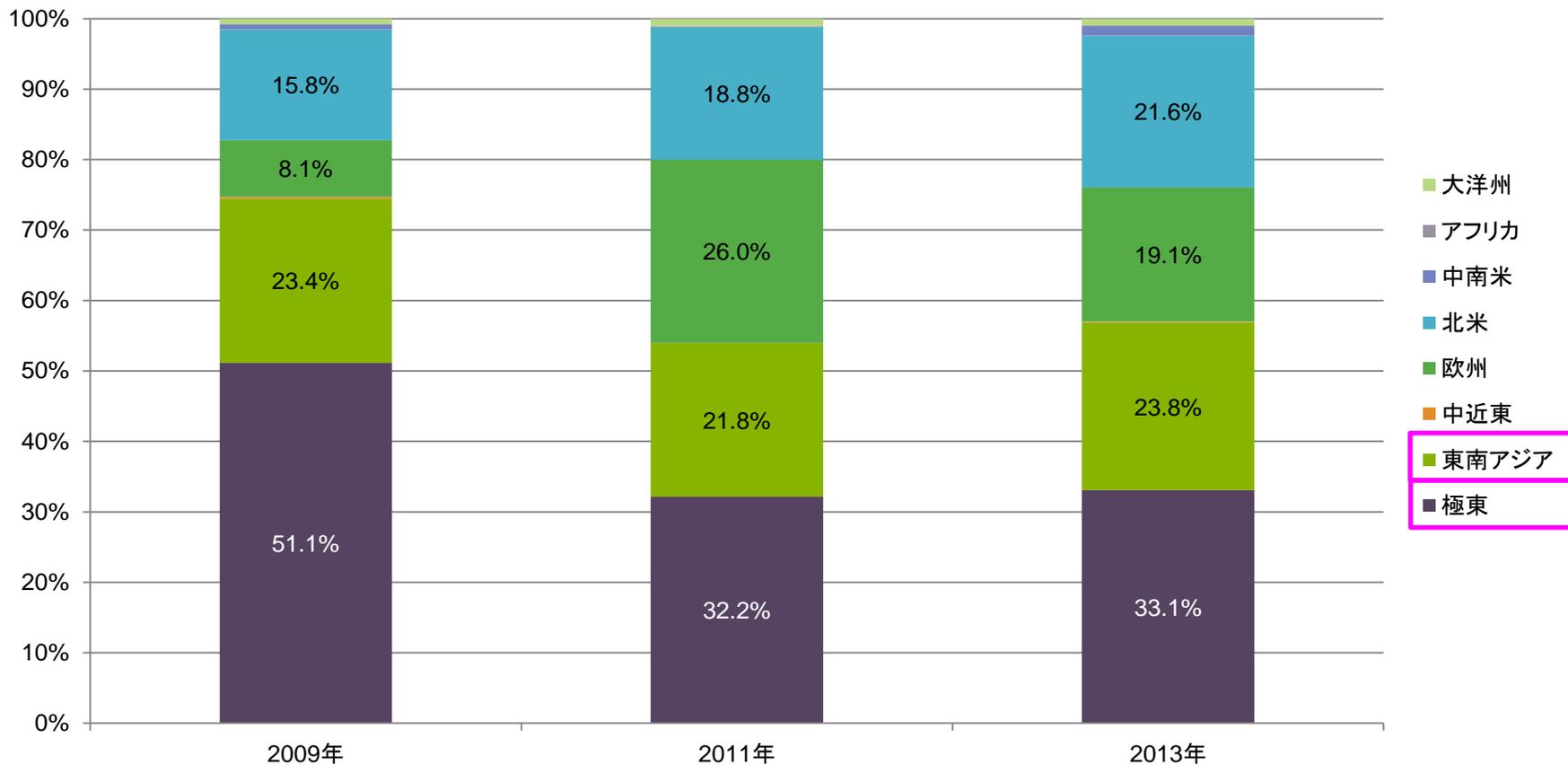
※極東...中国、台湾、韓国

※東南アジア...香港、シンガポール、タイ、フィリピン、インドネシア

# 仕向国地域：東北6県全体

- アジア（極東及び東南アジア）向けの貨物が全体約5割～7割を占める。
- 残りが北米（約2割）、欧州（約2割）となっている。

単位：%（重量ベース）



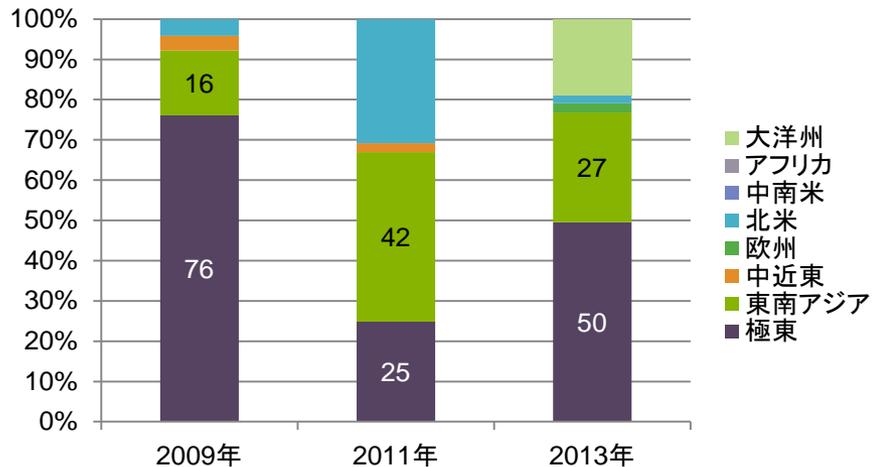
下記資料より日通総合研究所作成

・国際航空貨物動態調査（国土交通省航空局）2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。

# 仕向国地域：県別

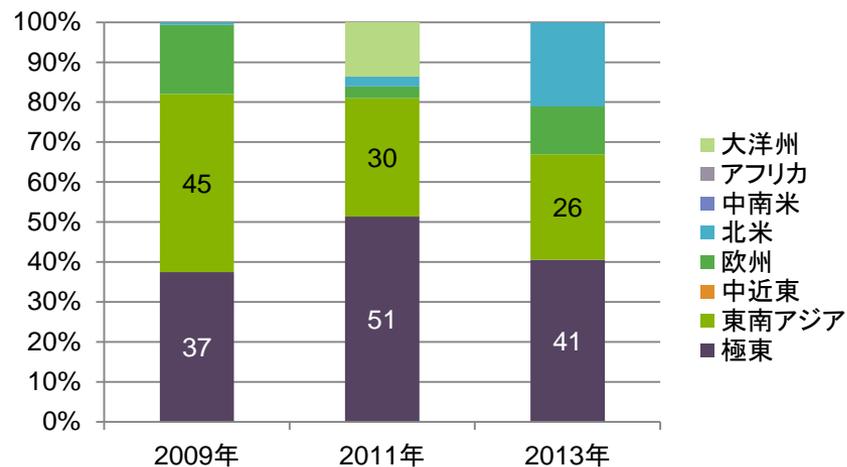
## 青森

単位：％(重量ベース)



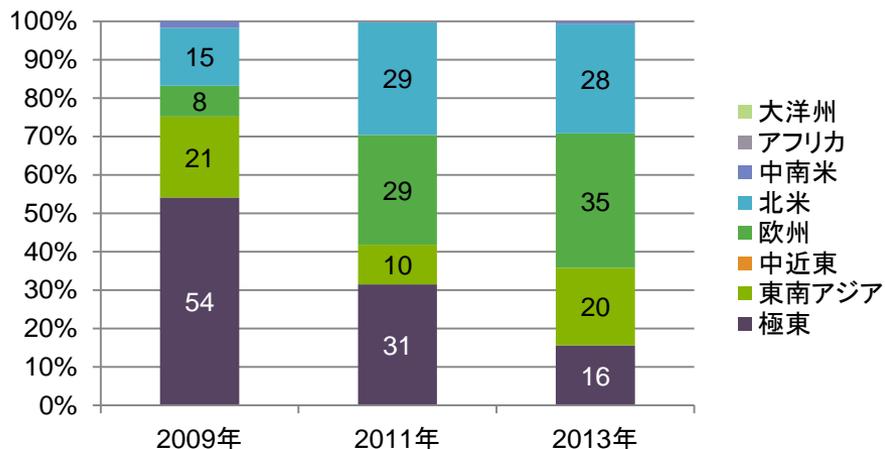
## 岩手

単位：％(重量ベース)



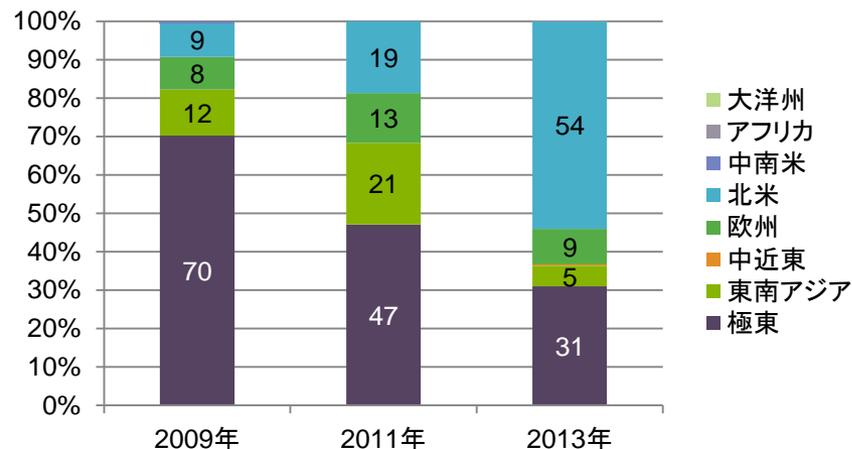
## 宮城

単位：％(重量ベース)



## 秋田

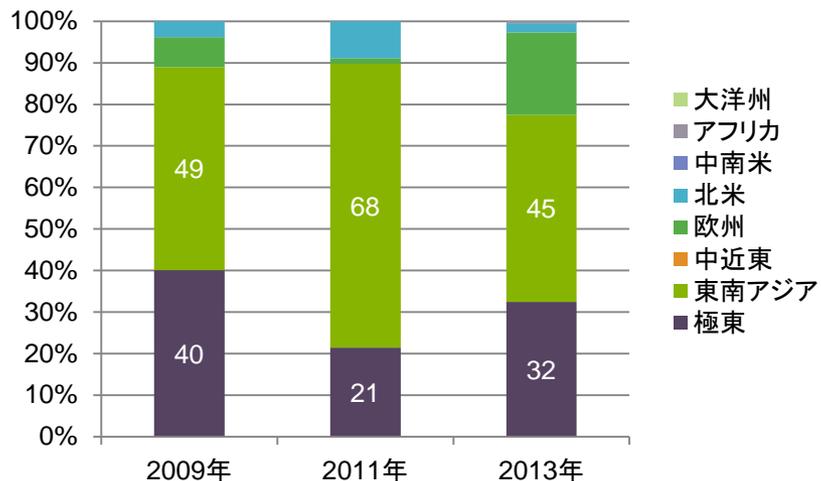
単位：％(重量ベース)



# 仕向国地域：県別

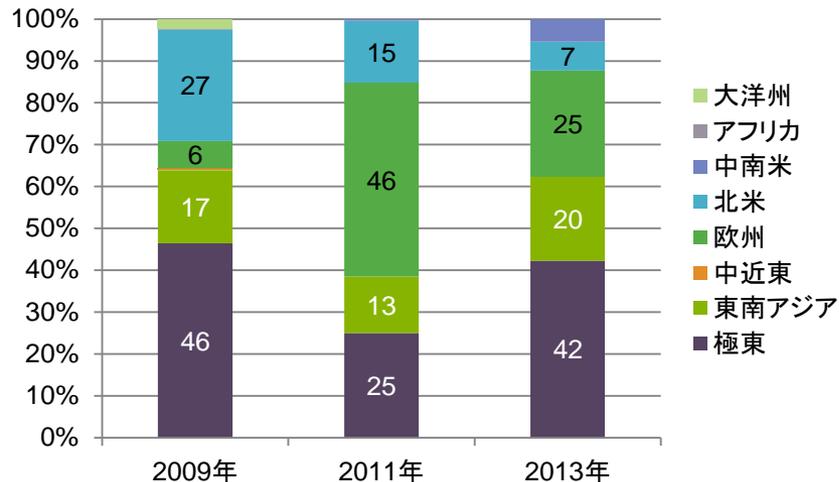
## 山形県

単位：％(重量ベース)



## 福島県

単位：％(重量ベース)



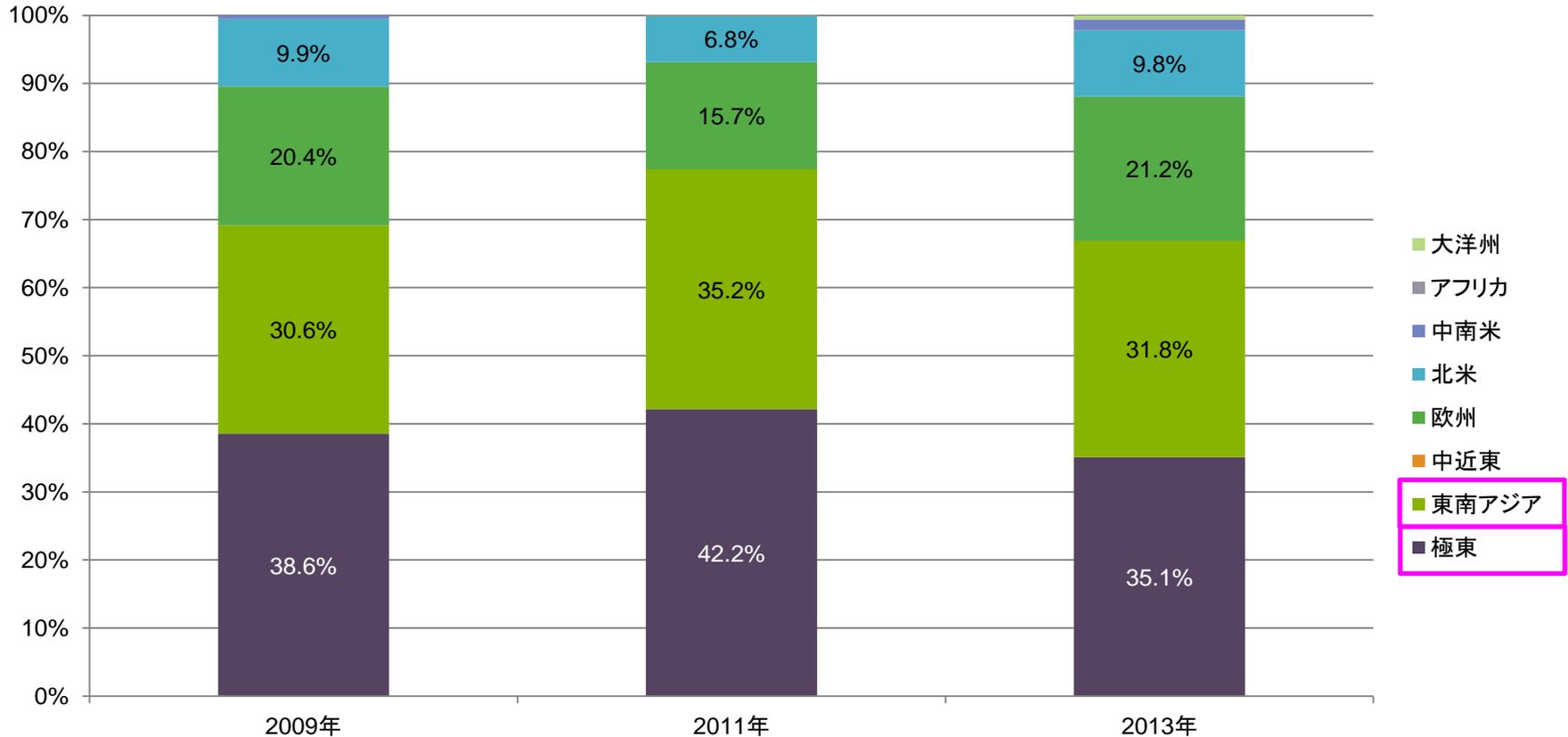
下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 仕出国地域：東北6県全体

- アジア（極東及び東南アジアの2方面）向けの貨物が全体の約7割～8割を占める。
- 残りは北米（約1割）、欧州（約2割）が占める

単位：％（重量ベース）



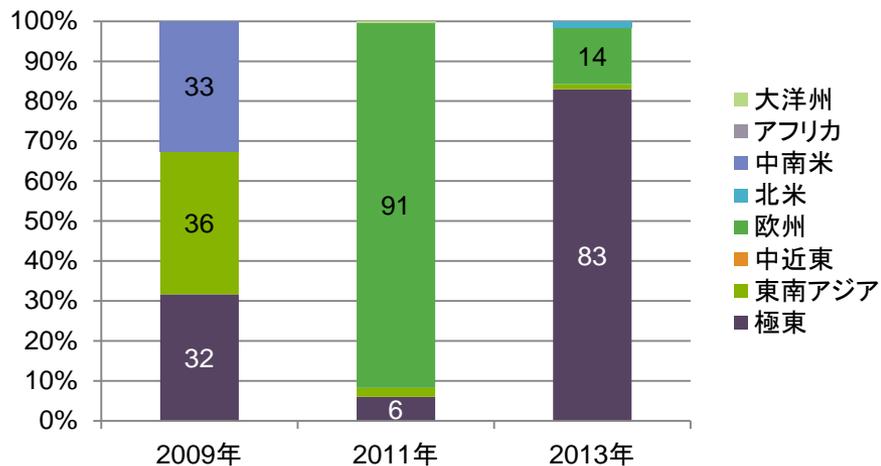
下記資料より日通総合研究所作成

・国際航空貨物動態調査（国土交通省航空局）2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。

# 仕出国地域：県別

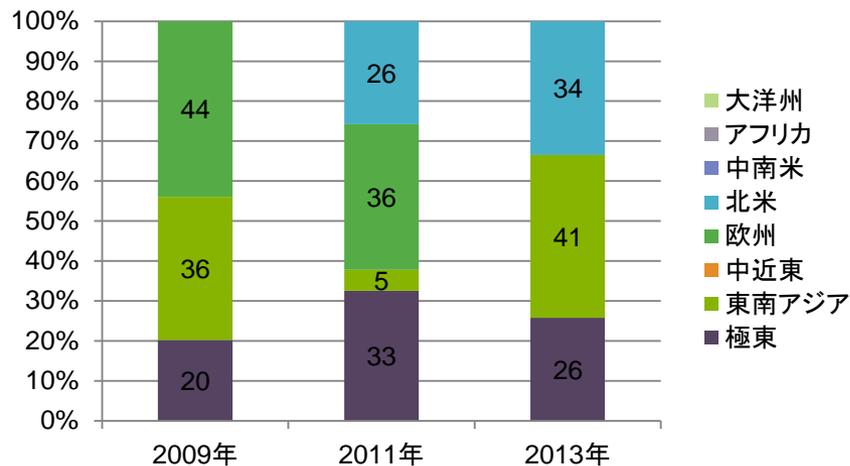
## 青森

単位：％(重量ベース)



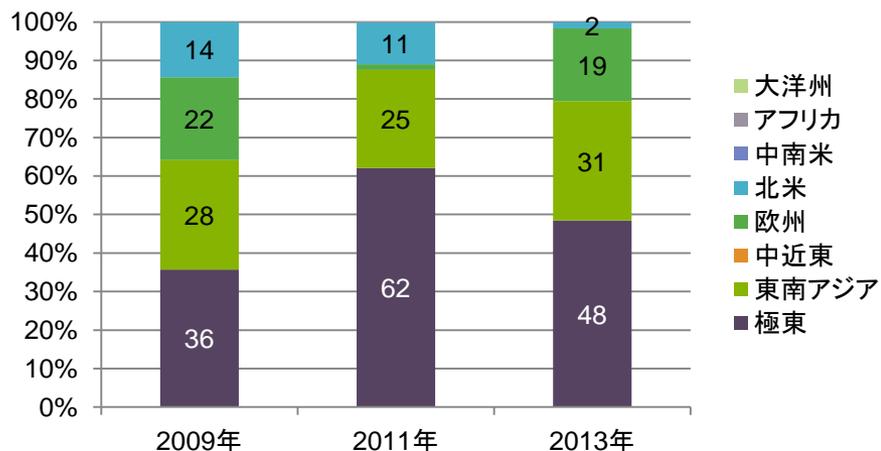
## 岩手

単位：％(重量ベース)



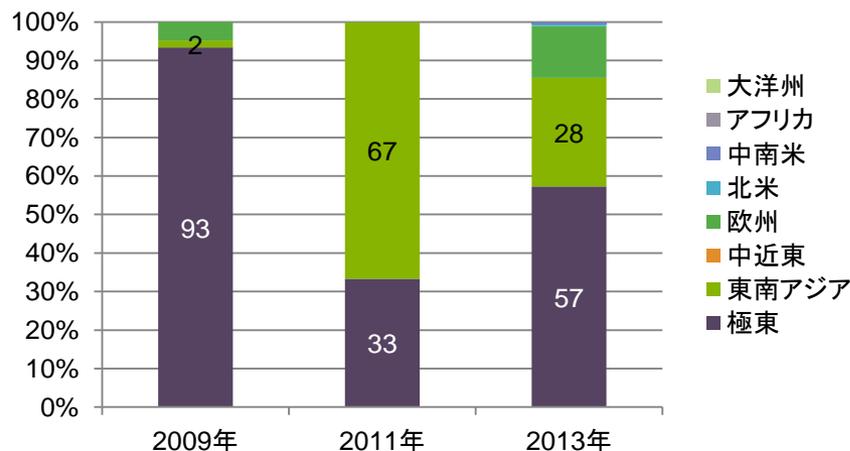
## 宮城

単位：％(重量ベース)



## 秋田

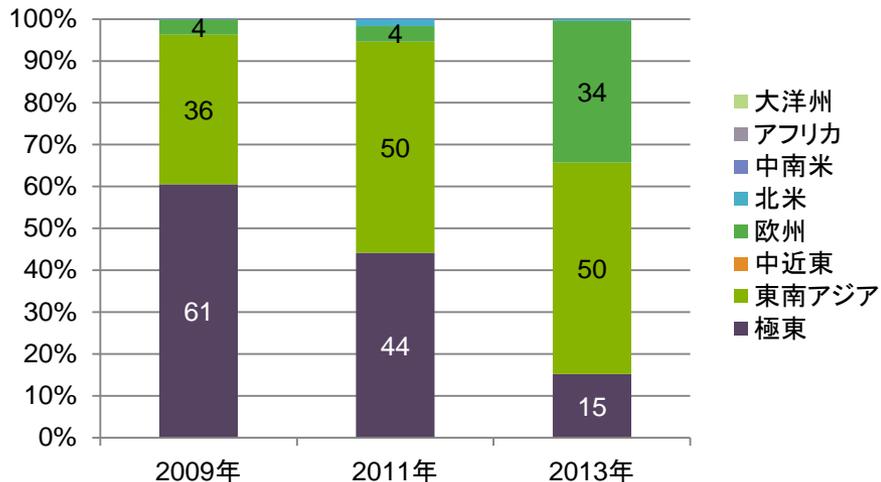
単位：％(重量ベース)



# 仕出国地域：県別

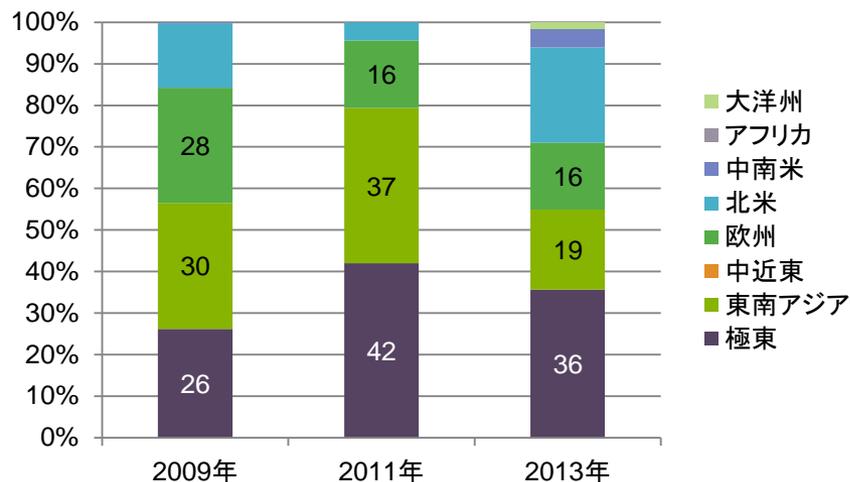
## 山形県

単位：％(重量ベース)



## 福島県

単位：％(重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 発着品目の把握

---

# 品目別動態サマリ(国際)

## 国際

### 発送品目(輸出)全体動向

- **機械機器が中心品目**といえる (約8割)
- 機械機器の中でも「**半導体等電子部品**」「**化学光学機器、カメラ、時計**」などの占める割合が高いものの**減少傾向**にある
- 各県ともおおむね類似の動向を示しているが、**山形県のみ化学製品の発送比率が比較的高い傾向**

詳細:P34-40参照

セルの色  
 : 中心品目(2013年のデータにおいて、全体に占める割合=30%以上)  
 : 一定比率を占める品目(2013年のデータにおいて、全体に占める割合=10%以上~29%)  
 : 小規模(全体に占める割合=10%未満)

国際/発	品目別動向					
	食料品	繊維・同製品	化学製品	非金属鉱物製品	金属・同製品	機械機器
青森	-	-	-	その他	-	医療用機械 半導体等電子部品 科学光学機器、カメラ、時計 その他
岩手	魚介類	-	医薬品 その他	-	金属製品	半導体等電子部品 科学光学機器、カメラ、時計 自動車 その他
宮城	-	-	その他	陶磁器	金属製品	映像機器、テレビ・VTR 半導体等電子部品 電気計測機器 医療用機械 自動車 その他
秋田	-	-	その他	-	金属製品	映像機器、テレビ・VTR 音響機器・ラジオ・テープレコーダ 半導体等電子部品 医療用機械 科学光学機器、カメラ、時計 自動車
山形	-	その他	その他	その他	その他	事務用機器、コンピューター 映像機器、テレビ・VTR 半導体等電子部品 医療用機械 科学光学機器、カメラ、時計 電気計測機器 自動車 その他
福島	-	織物 その他	その他	その他	-	事務用機器、コンピューター 映像機器、テレビ・VTR 音響機器・ラジオ・テープレコーダ 電気計測機器 半導体等電子部品 医療用機械 その他の機械機器 医療用機械 自動車 その他

# 品目別動態サマリ(国際)

## 国際

### 到着品目(輸入)全体動向

- **機械機器が中心品目**といえる (約8割)
- 機械機器の中でも「**半導体等電子部品**」「**事務用機器、コンピューター**」などの占める割合が高い
- 各県ともおおむね類似の動向を示しているが、**山形県のみ化学製品の発送比率が比較的高い傾向**

詳細:P41-47参照

セルの色

	: 中心品目(2013年のデータにおいて、全体に占める割合=30%以上)
	: 一定比率を占める品目(2013年のデータにおいて、全体に占める割合=10%以上~29%)
	: 小規模(全体に占める割合=10%未満)

国際/着	品目別動向					
	食料品	繊維・同製品	化学製品	非金属 鉱物製品	金属・ 同製品	機械機器
青森	-	衣類	医薬品	-	-	事務用機器、コンピューター 映像機器、テレビ・VTR 音響機器・ラジオ・テープレコーダ 半導体等電子部品 電気計測機器 科学光学機器、カメラ、時計 その他
岩手	-	衣類	-	-	-	事務用機器、コンピューター 半導体等電子部品 科学光学機器、カメラ、時計 自動車 その他
宮城	-	衣類	-	-	-	事務用機器、コンピューター 映像機器、テレビ・VTR 音響機器・ラジオ・テープレコーダ 半導体等電子部品 科学光学機器、カメラ、時計 自動車 その他
秋田	-	衣類	-	-	-	音響機器・ラジオ・テープレコーダ 半導体等電子部品 医療用機械 科学光学機器、カメラ、時計 自動車 その他
山形	-	衣類 その他	医薬品 その他	その他	-	事務用機器、コンピューター 映像機器、テレビ・VTR 音響機器・ラジオ・テープレコーダ 半導体等電子部品 医療用機械 科学光学機器、カメラ、時計 自動車 その他
福島	-	衣類	医薬品 その他	その他	金属製品 その他	事務用機器、コンピューター 映像機器、テレビ・VTR 半導体等電子部品 医療用機械 科学光学機器、カメラ、時計 自動車 その他

# 品目別動態サマリ(国内)

## 国内

### 発送品目 全体動向

- 食料品の発送はあるものの、明確に中心といえる品目は見受けられない
- 書類・印刷物といった、その他雑多な製品の占める比率が高い
- 機械機器の発送がある程度の比率で存在する県(岩手、山形、福島)とない県(青森、宮城、秋田)が存在する
- 食料品に関してでは、水産品、製造食品が多く見受けられる
- 機械機器に関してでは、部品系が多く見受けられる

詳細:P49-57参照

セルの色

	: 中心品目(2013年のデータにおいて、全体に占める割合=30%以上)
	: 一定比率を占める品目(2013年のデータにおいて、全体に占める割合=10%以上~29%)
	: 小規模(全体に占める割合=10%未満)

国内/発	品目別動向					その他
	食料品	繊維・同製品	化学製品	金属・同製品	機械機器	
青森	果物 水産品 製造食品・飲料	-	-	-	-	その他の日用品 書類・印刷物
岩手	製造食品・飲料	-	-	-	その他の機械部品	その他の製造工業品 その他の日用品 書類・印刷物
宮城	水産品 製造食品・飲料	-	-	-	-	その他の製造工業品 その他の日用品 書類・印刷物
秋田	水産品 製造食品・飲料	-	-	-	その他の機械部品	その他の製造工業品 書類・印刷物
山形	野菜 水産品 製造食品・飲料	-	-	-	自動車部品	不明
福島	製造食品・飲料	衣類	-	-	医療用機械	その他の日用品 書類・印刷物

# 品目別動態サマリ(国内)

## 国内

### 到着品目 全体動向

- 明確に中心といえる品目は見受けられない
- 書類・印刷物といった、その他雑多な製品の占める比率が高い
- 食料品に関してでは、水産品が多く見受けられる
- 機械機器に関してでは、部品系が多く見受けられる

詳細:P48-62参照

セルの色

	: 中心品目(2013年のデータにおいて、全体に占める割合=30%以上)
	: 一定比率を占める品目(2013年のデータにおいて、全体に占める割合=10%以上~29%)
	: 小規模(全体に占める割合=10%未満)

国内/着	品目別動向					
	食料品	繊維・同製品	化学製品	金属・同製品	機械機器	その他
青森	-	-	-	-	医療用機械 精密機械 その他の機械部品	書類・印刷物
岩手	-	衣類	-	-	半導体等電子部品	紙・パルプ その他の日用品 書類・印刷物
宮城	水産品	-	-	-	その他の機械部品	その他の日用品 書類・印刷物 その他・不明
秋田	水産品	-	-	-	精密機械 その他の機械部品	書類・印刷物
山形	水産品	-	-	-	精密機械 半導体等電子部品 その他の機械部品	書類・印刷物
福島	水産品 製造食品・飲料	-	-	-	半導体等電子部品 その他の機械部品	書類・印刷物



(品目別動態の把握)

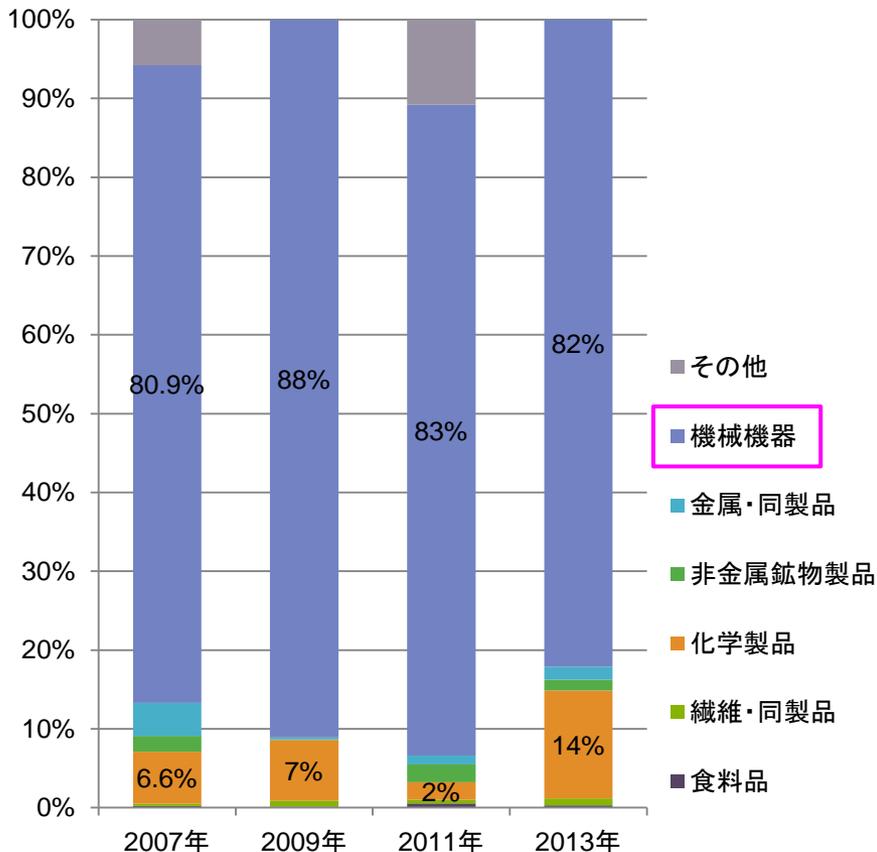
# 国際航空貨物

---

# 発着品目(輸出):東北6県全体

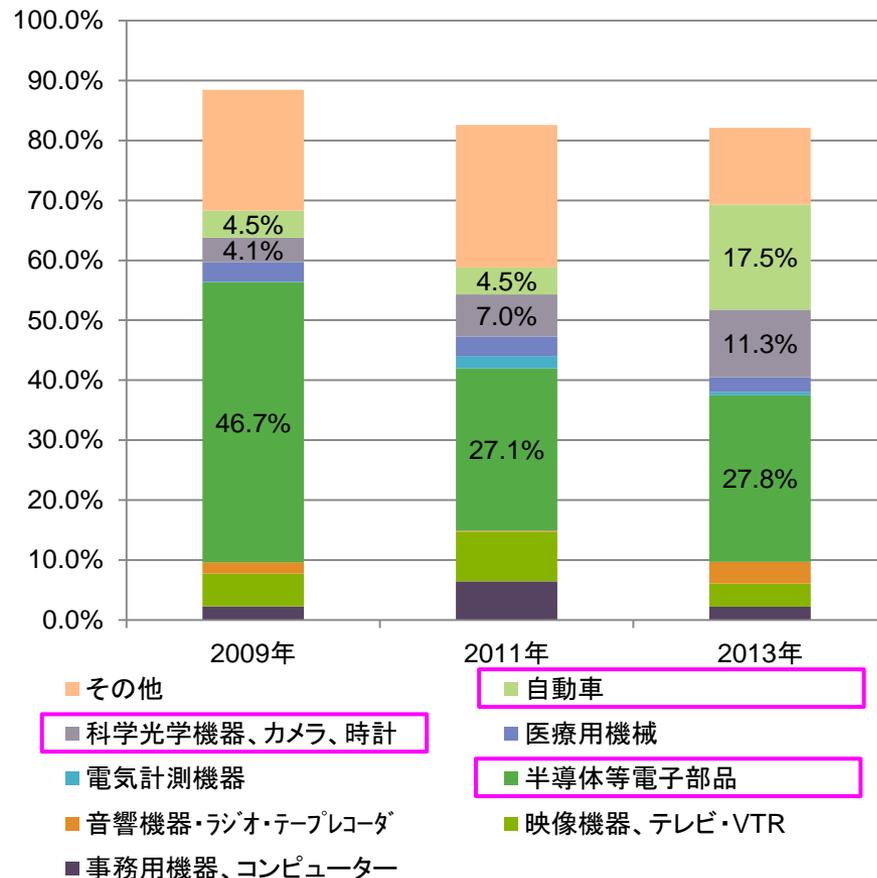
輸出動向 (東北6県全体)

単位: %(重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: %(重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

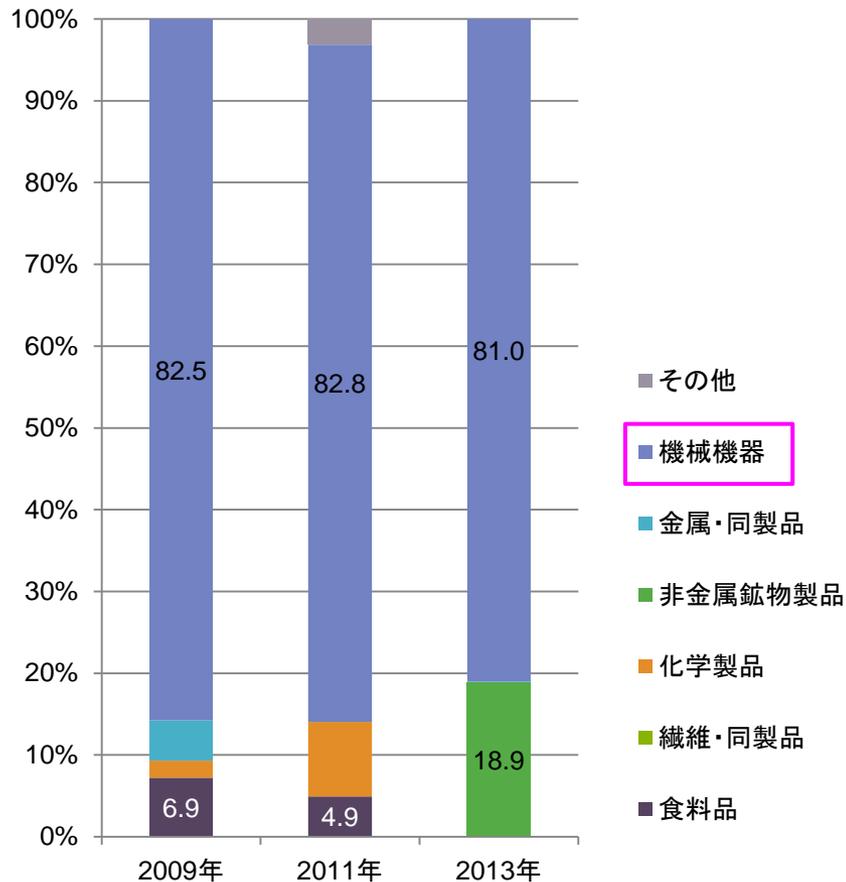
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。2007年調査は詳細品目データ無し。

# 発着品目(輸出): 県別

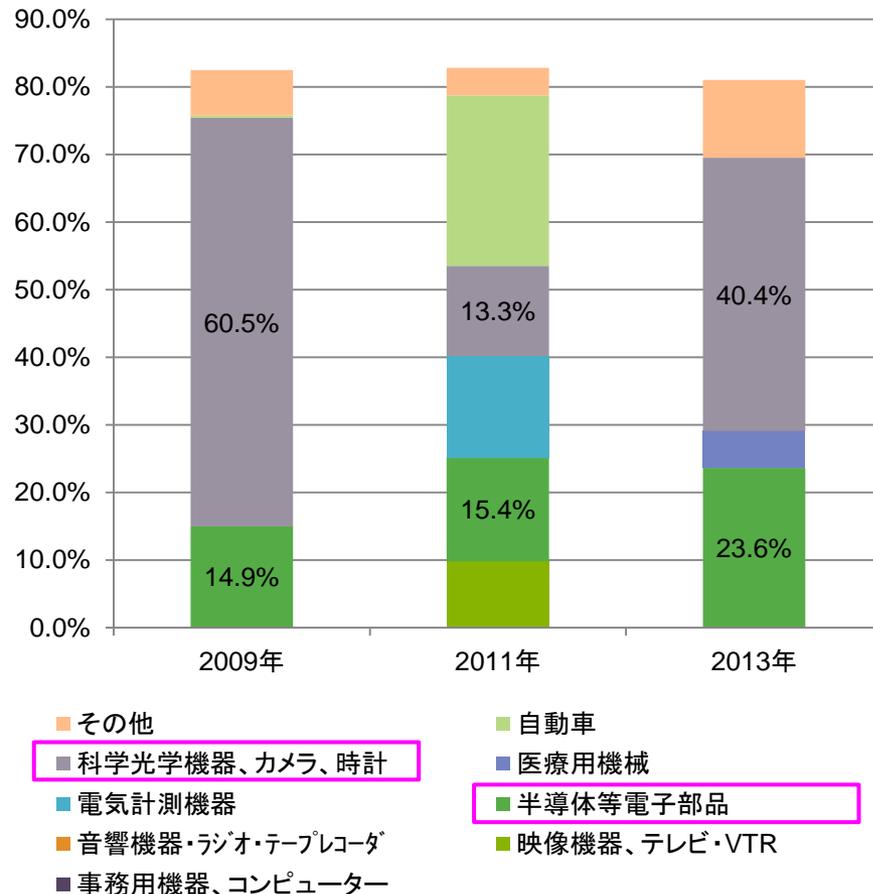
輸出動向 (青森)

単位: % (重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

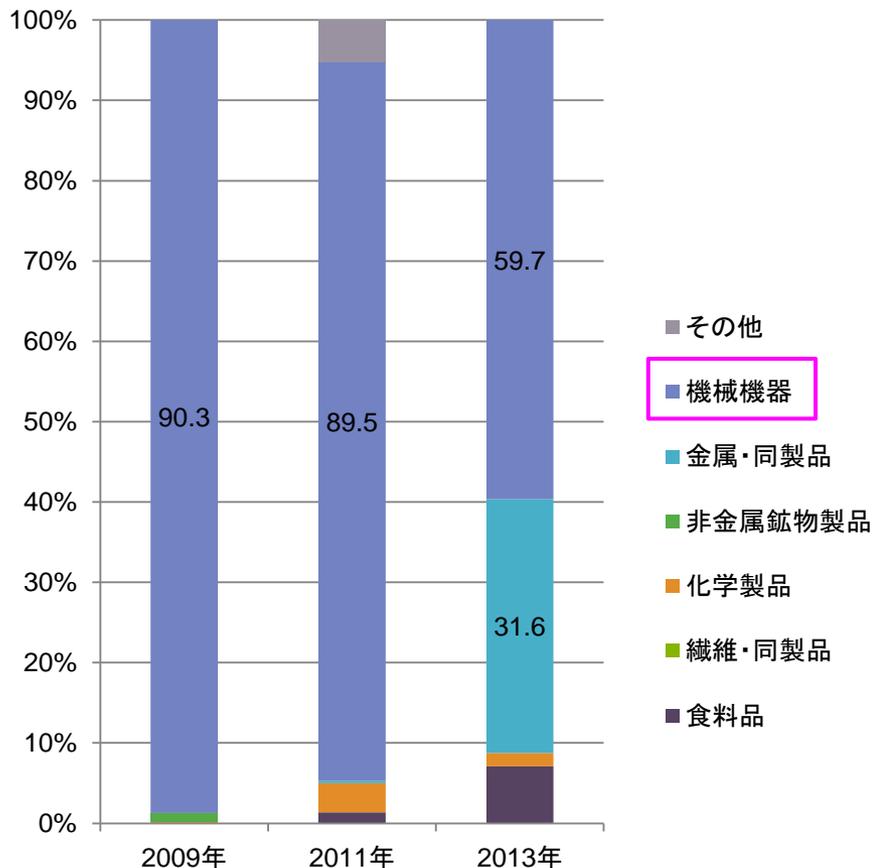
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。 2007年調査は県別データ無し。

# 発着品目(輸出): 県別

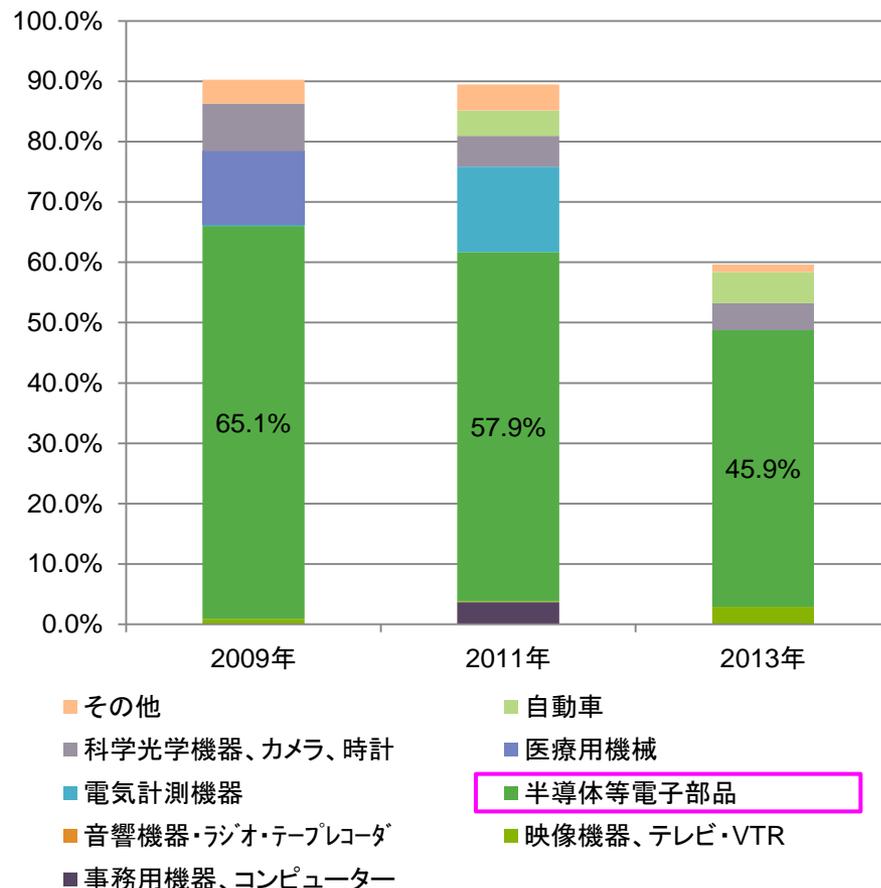
輸出動向 (岩手)

単位: % (重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

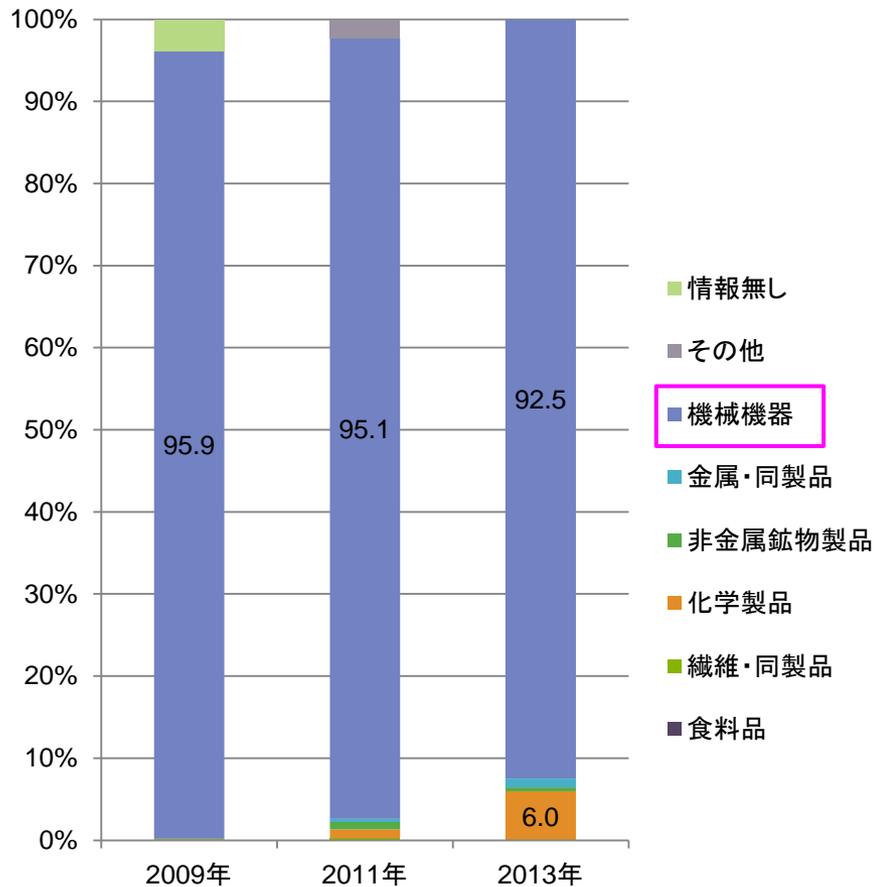
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。 2007年調査は県別データ無し。

# 発着品目(輸出): 県別

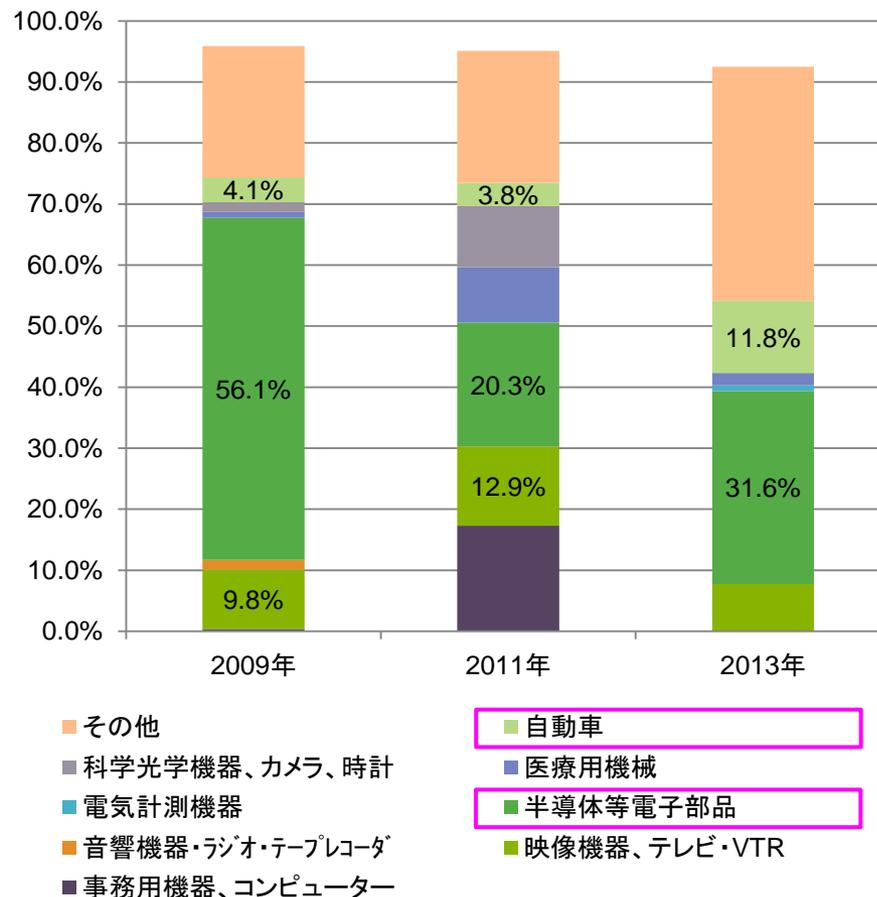
輸出動向 (宮城)

単位: % (重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

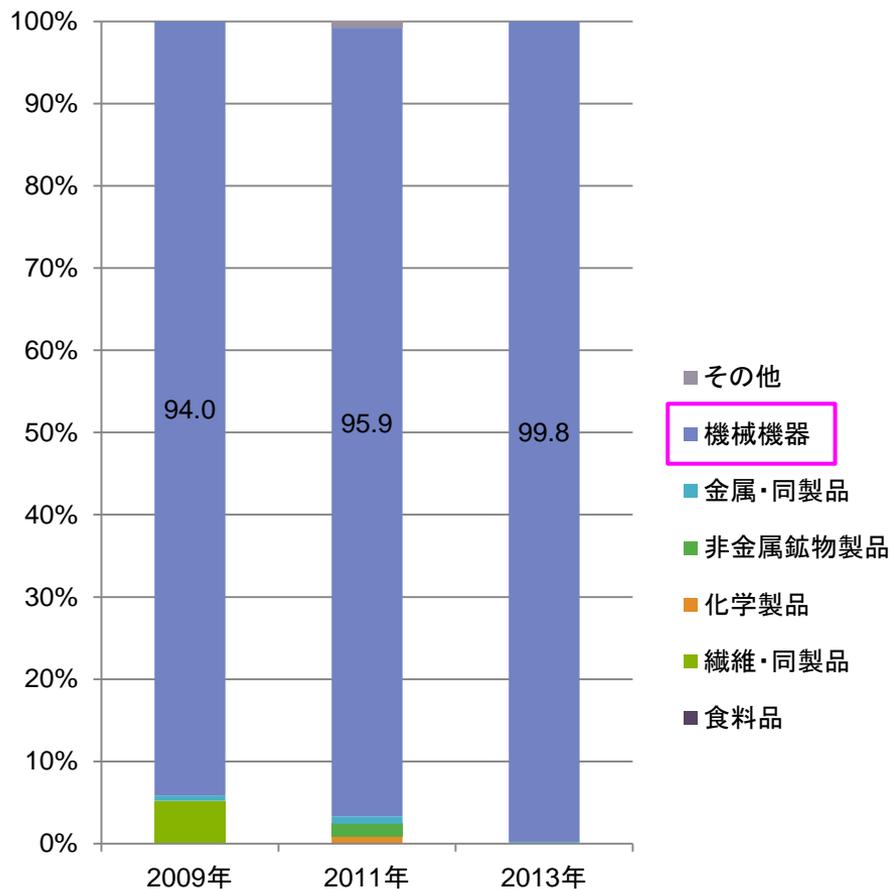
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。 2007年調査は県別データ無し。

# 発着品目(輸出): 県別

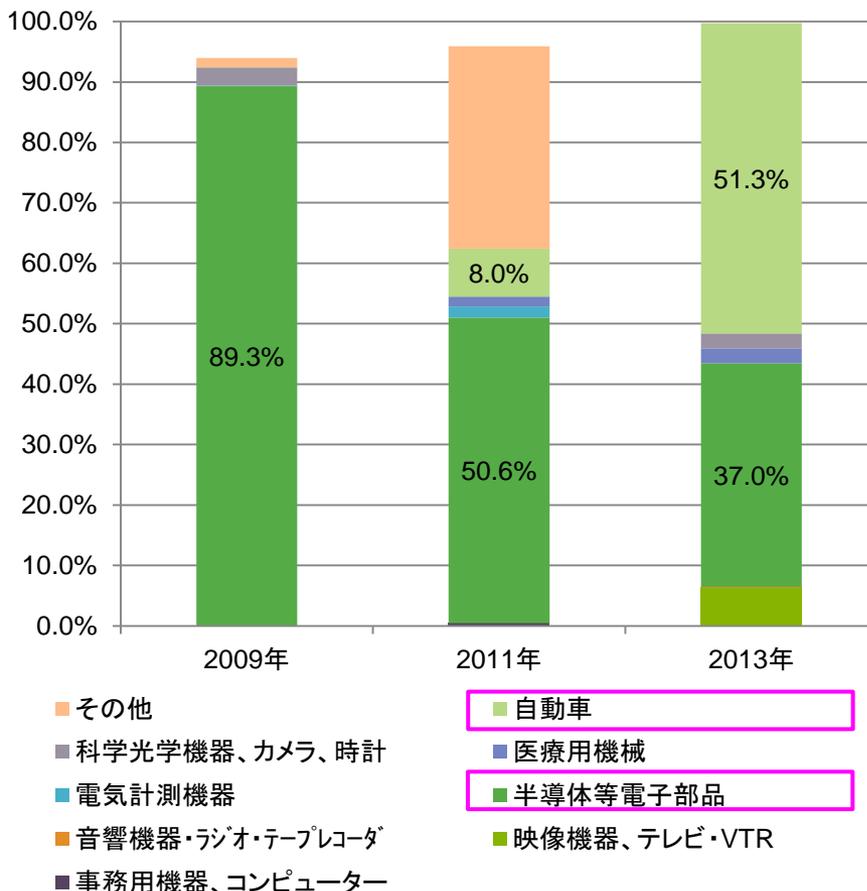
輸出動向 (秋田)

単位: % (重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

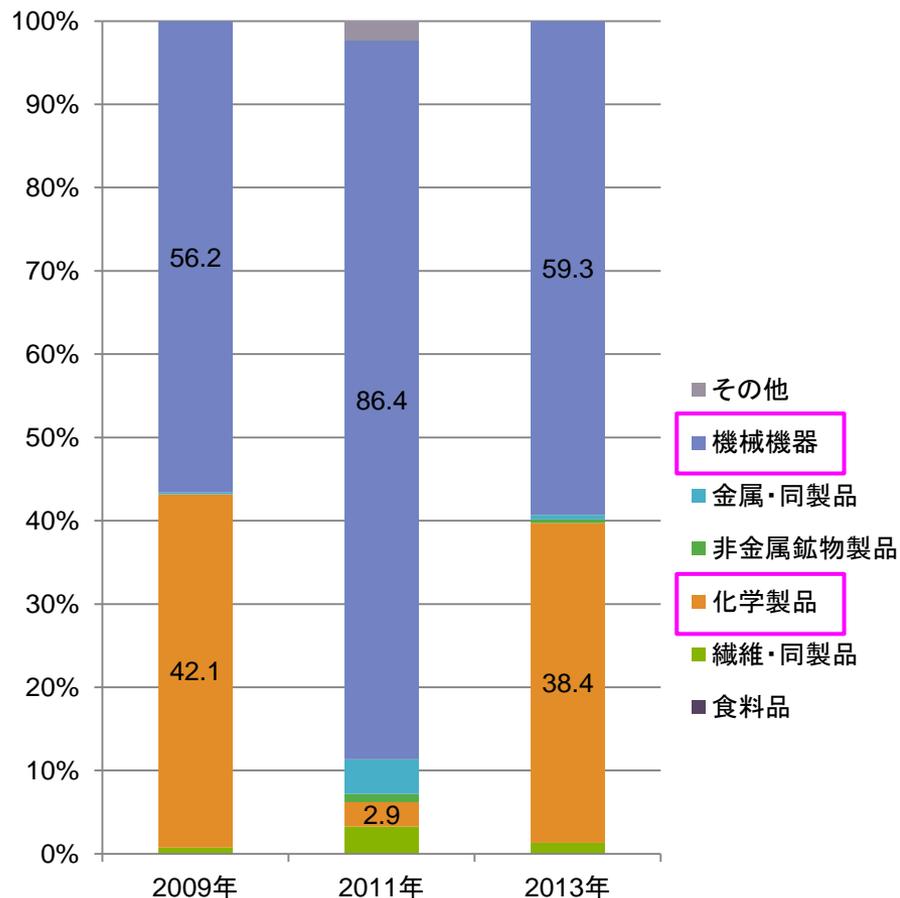
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。 2007年調査は県別データ無し。

# 発着品目(輸出): 県別

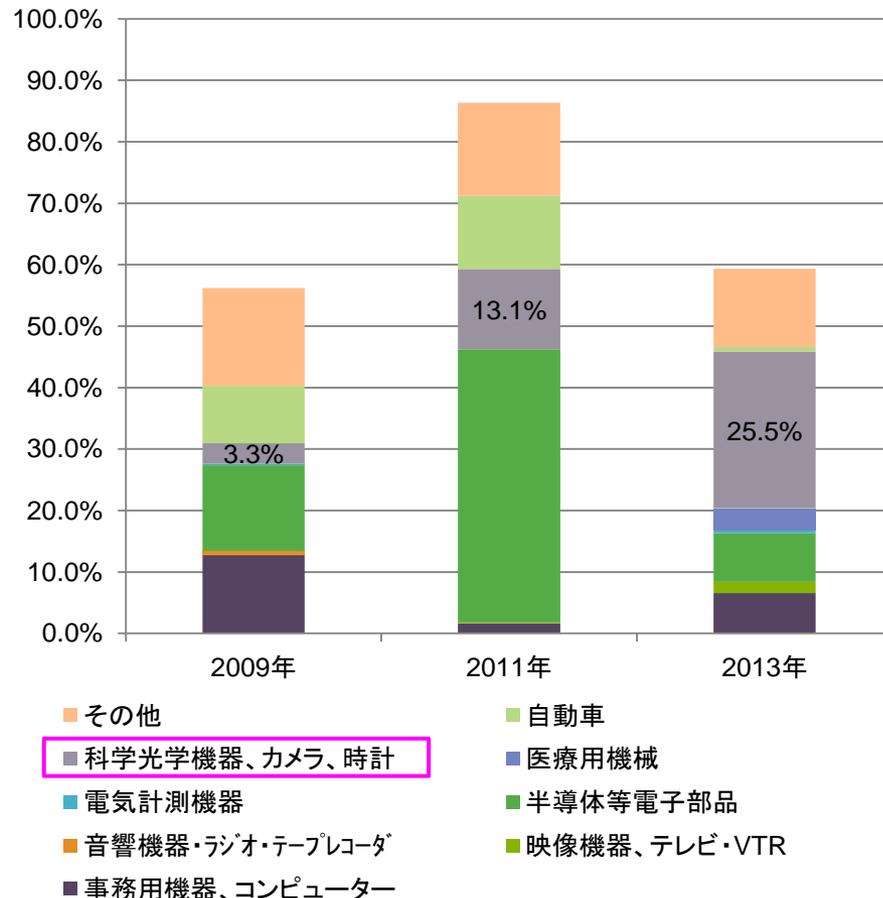
輸出動向 (山形)

単位: % (重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

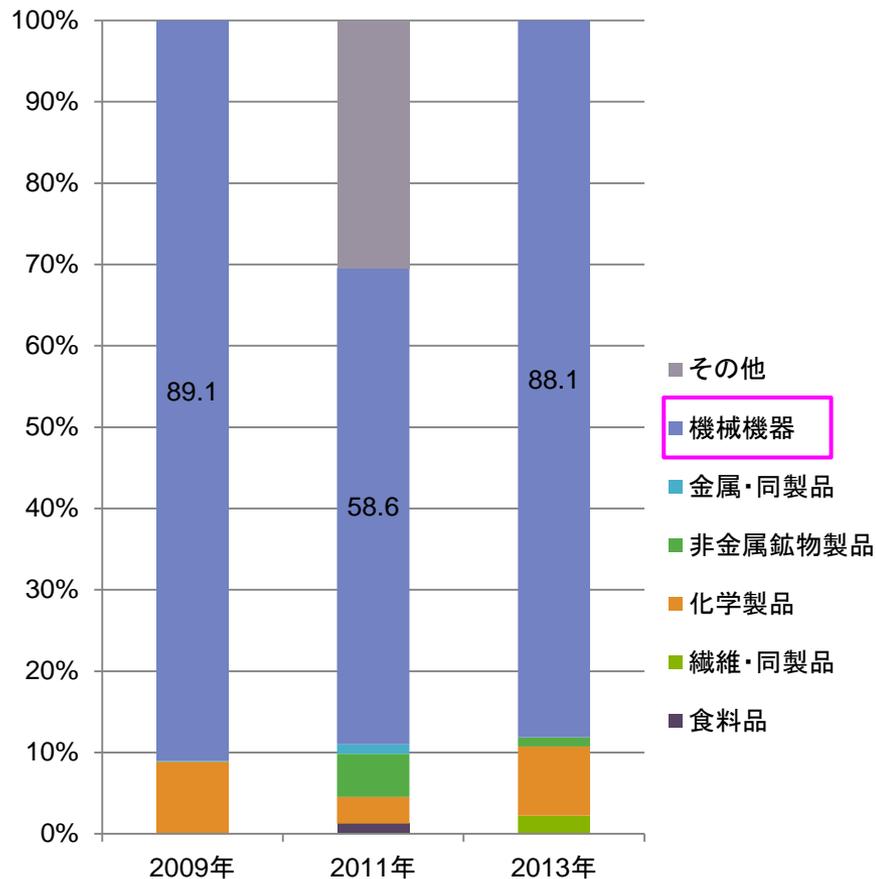
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。 2007年調査は県別データ無し。

# 発着品目(輸出): 県別

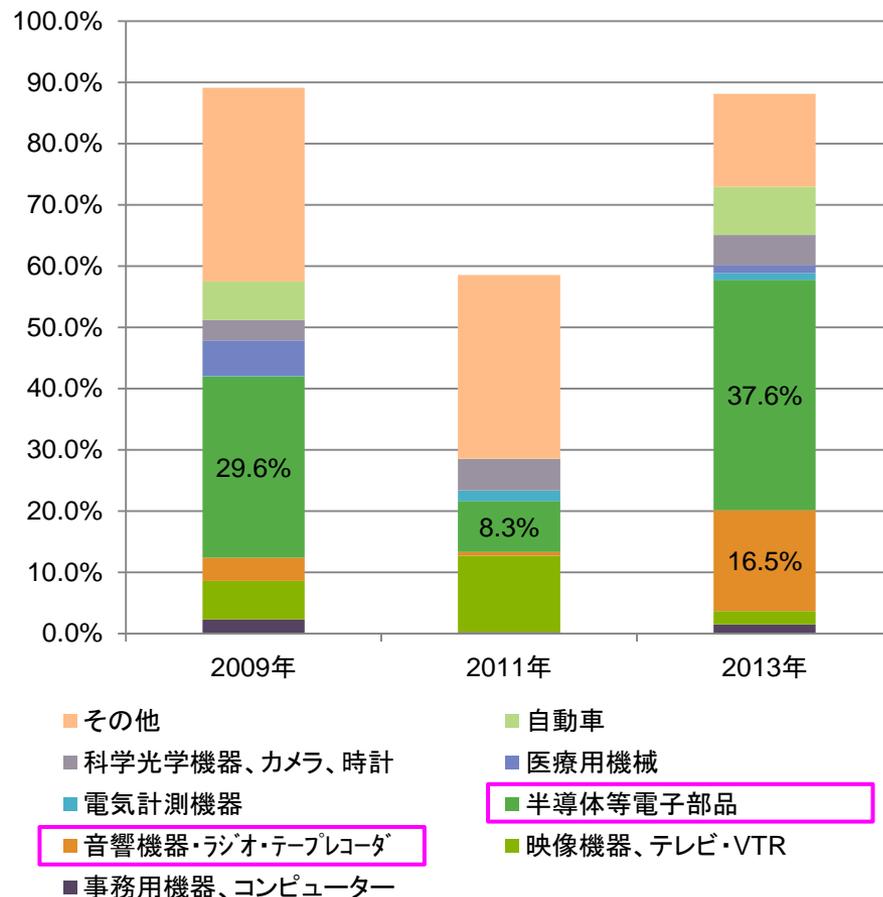
輸出動向 (福島)

単位: % (重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

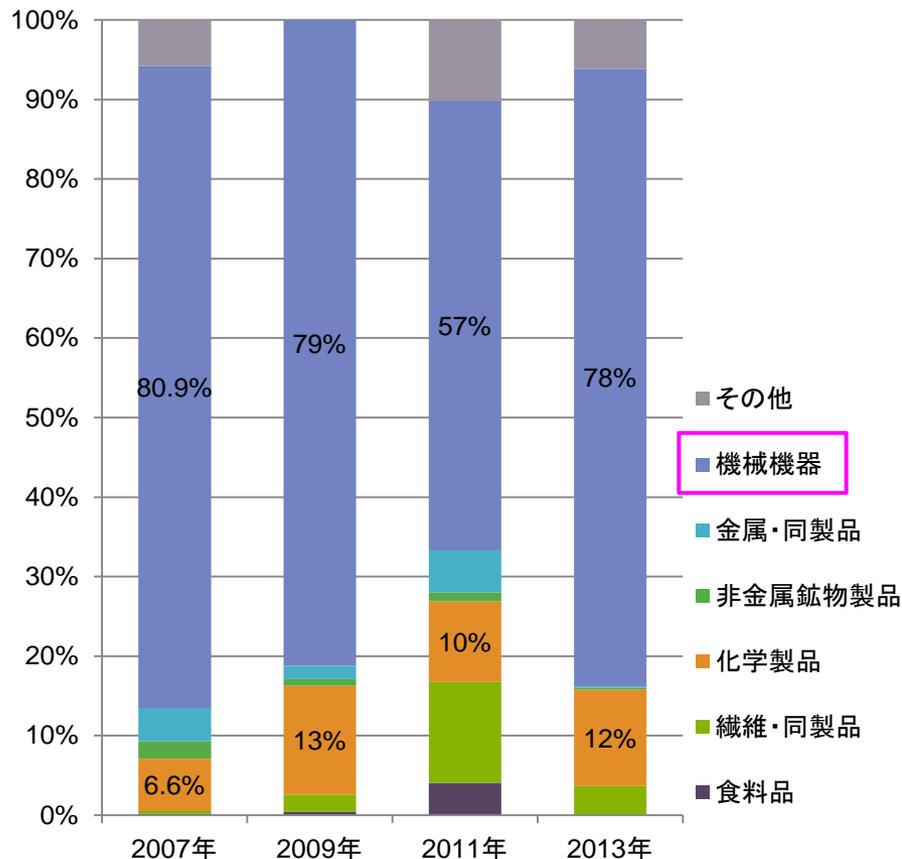
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。 2007年調査は県別データ無し。

# 発着品目(輸入):東北6県全体

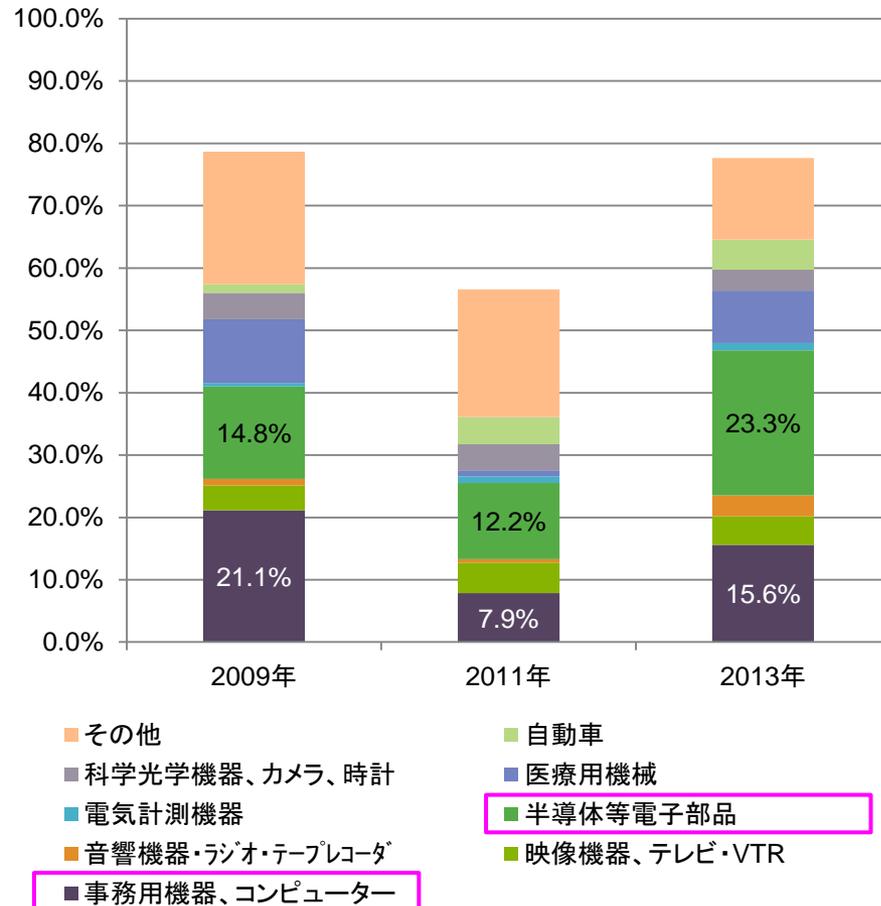
輸入動向 (東北6県全体)

単位: %(重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: %(重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

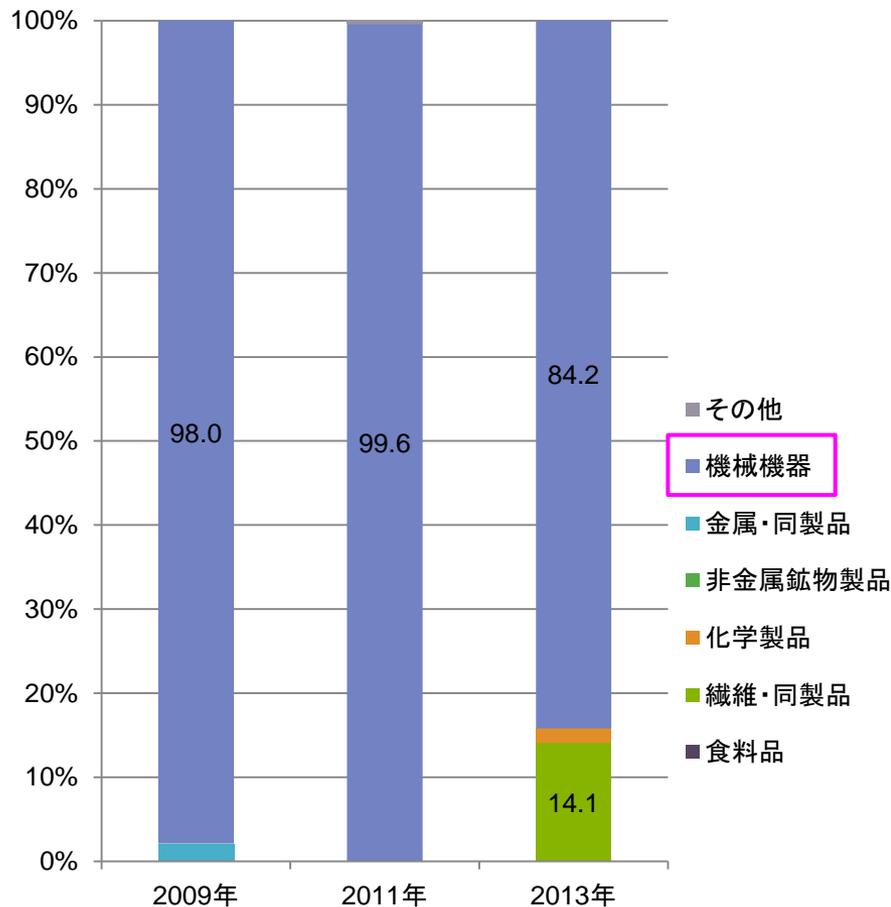
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。 2007年調査は県別データ無し。

# 発着品目(輸入): 県別

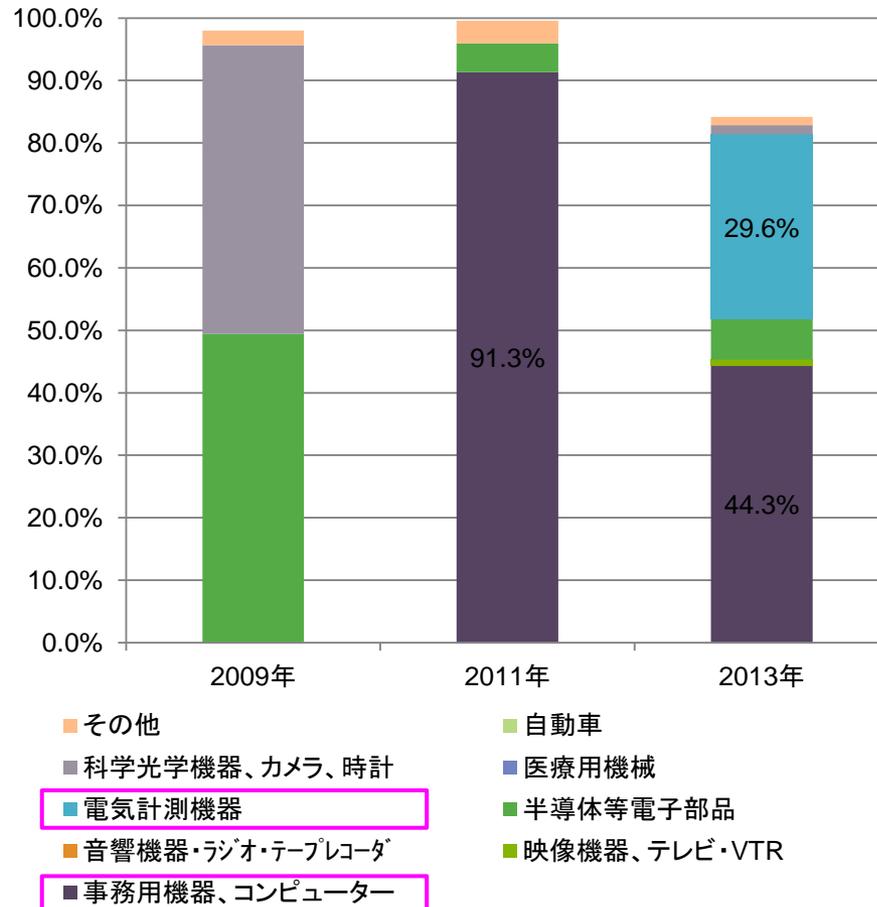
輸入動向 (青森)

単位: % (重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

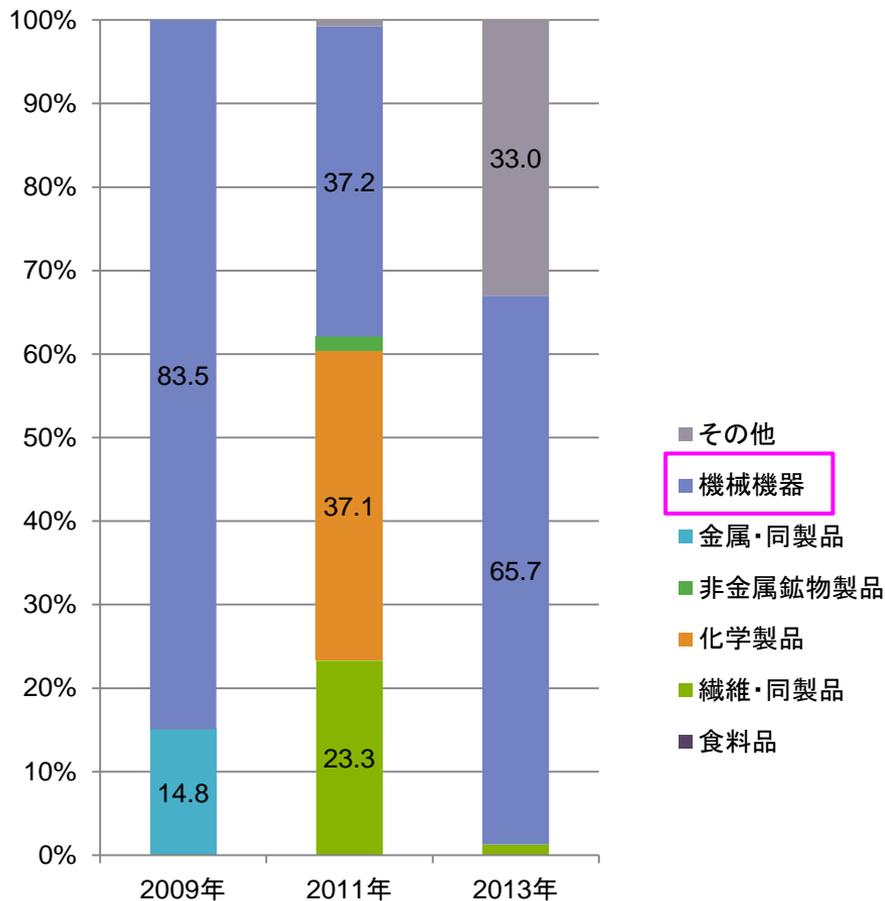
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。 2007年調査は県別データ無し。

# 発着品目(輸入): 県別

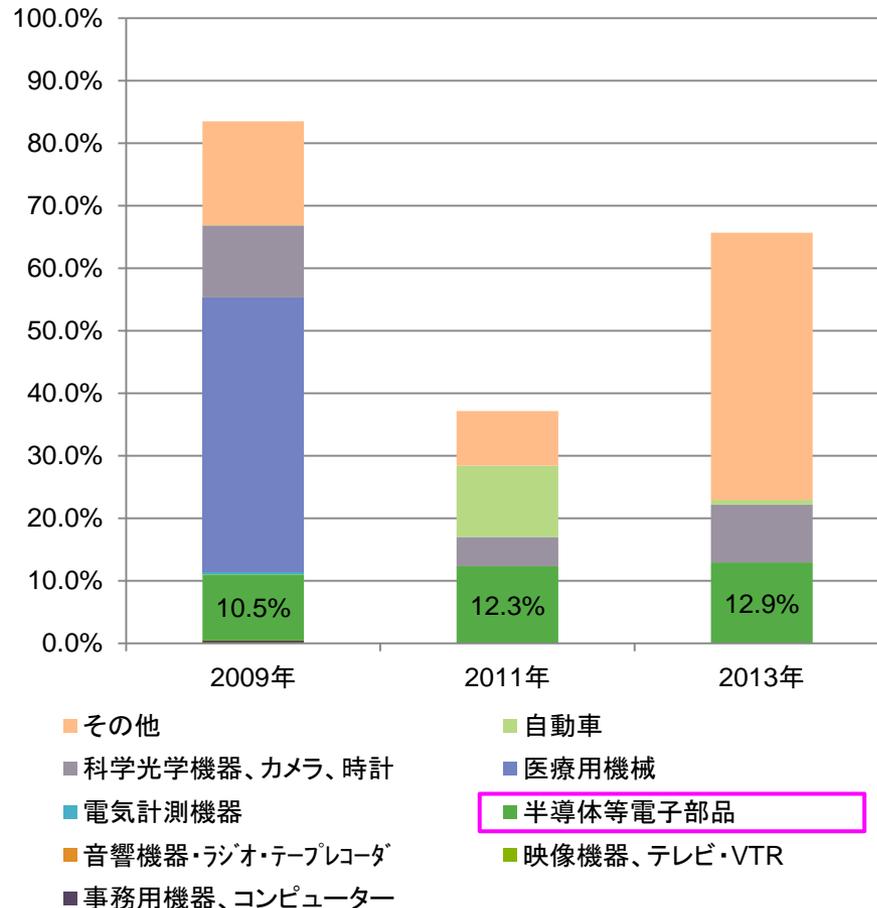
輸入動向 (岩手)

単位: % (重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

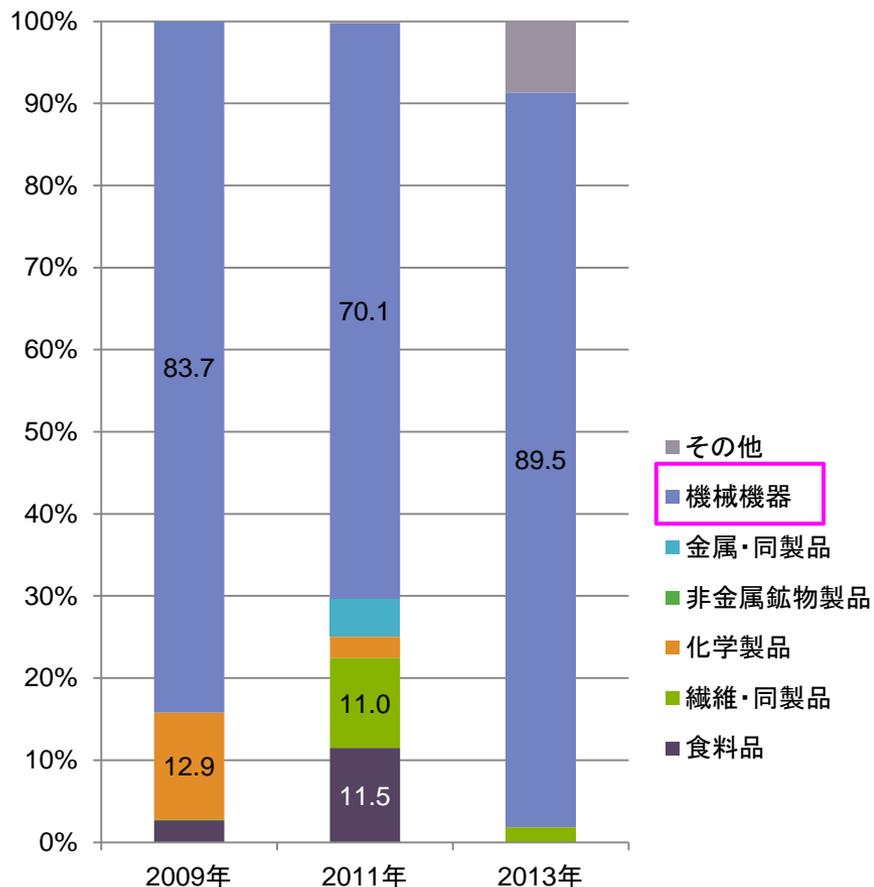
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。 2007年調査は県別データ無し。

# 発着品目(輸入): 県別

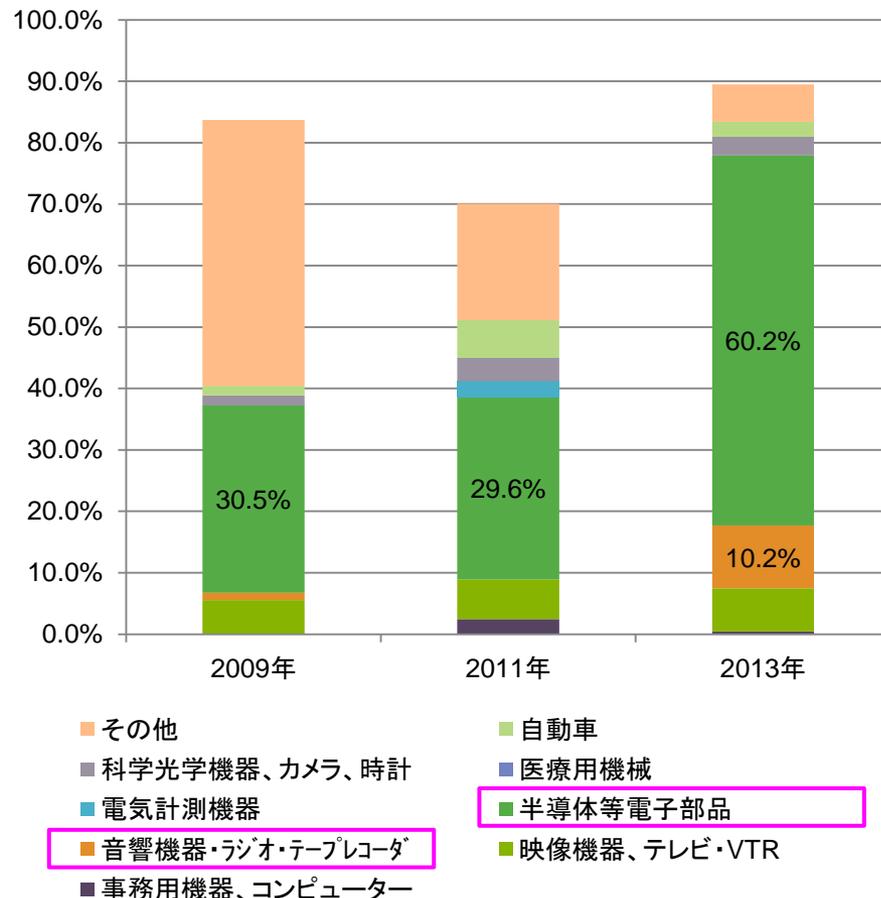
輸入動向 (宮城)

単位: % (重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

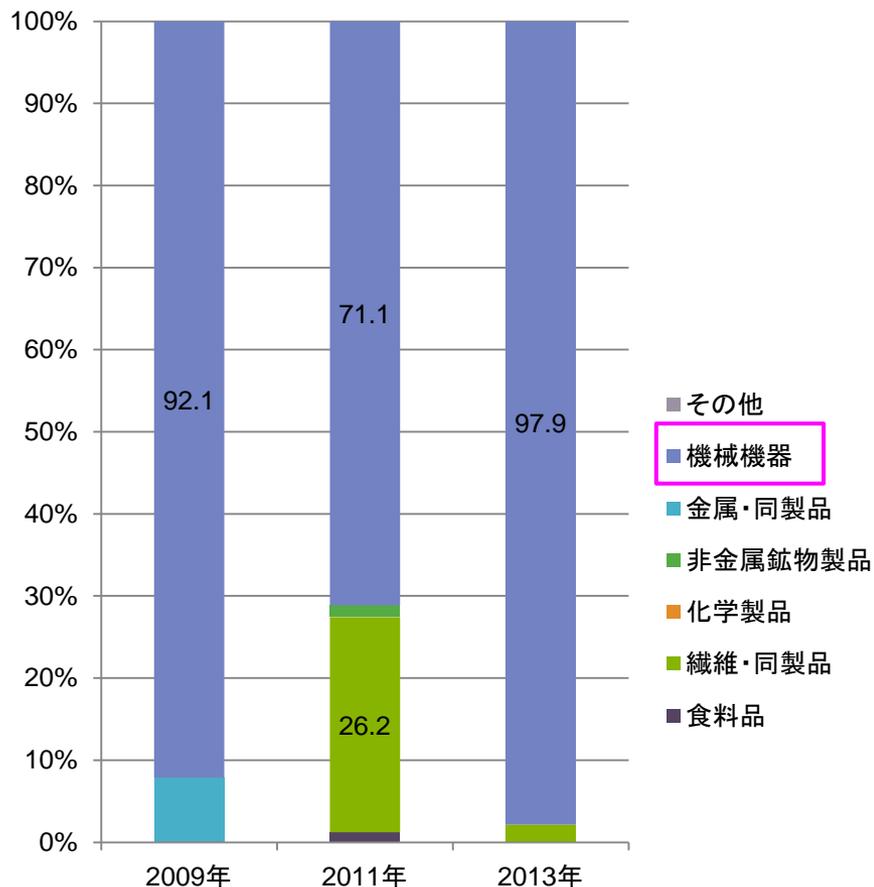
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。 2007年調査は県別データ無し。

# 発着品目(輸入): 県別

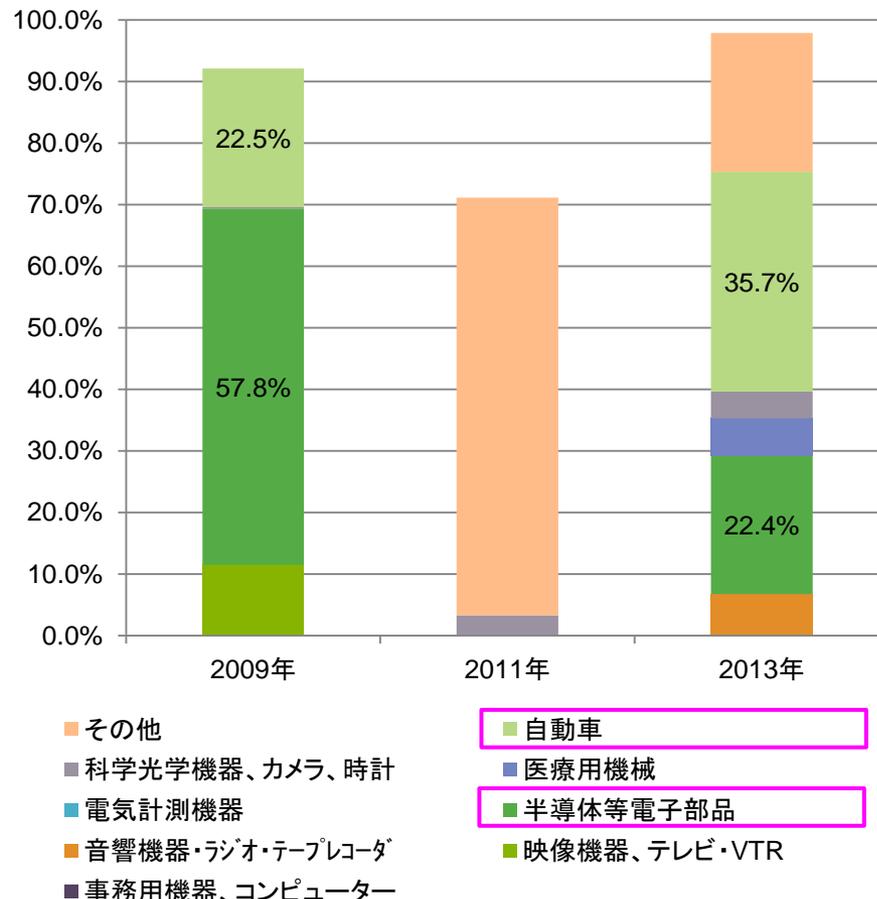
輸入動向 (秋田)

単位: % (重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

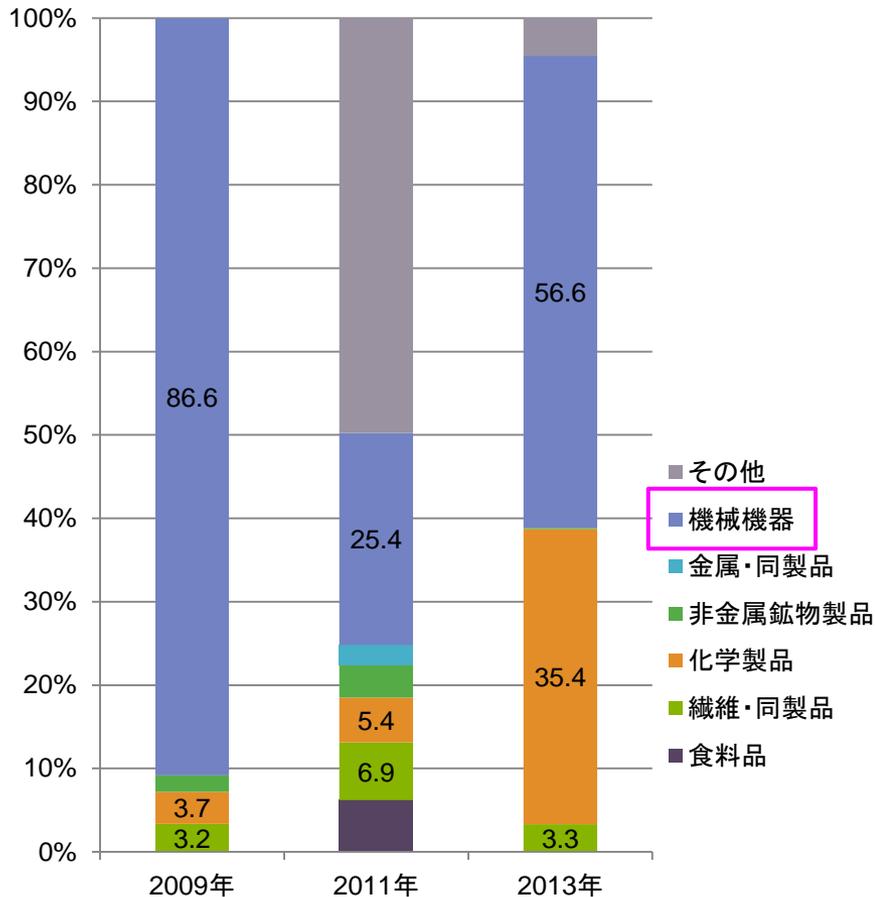
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。 2007年調査は県別データ無し。

# 発着品目(輸入): 県別

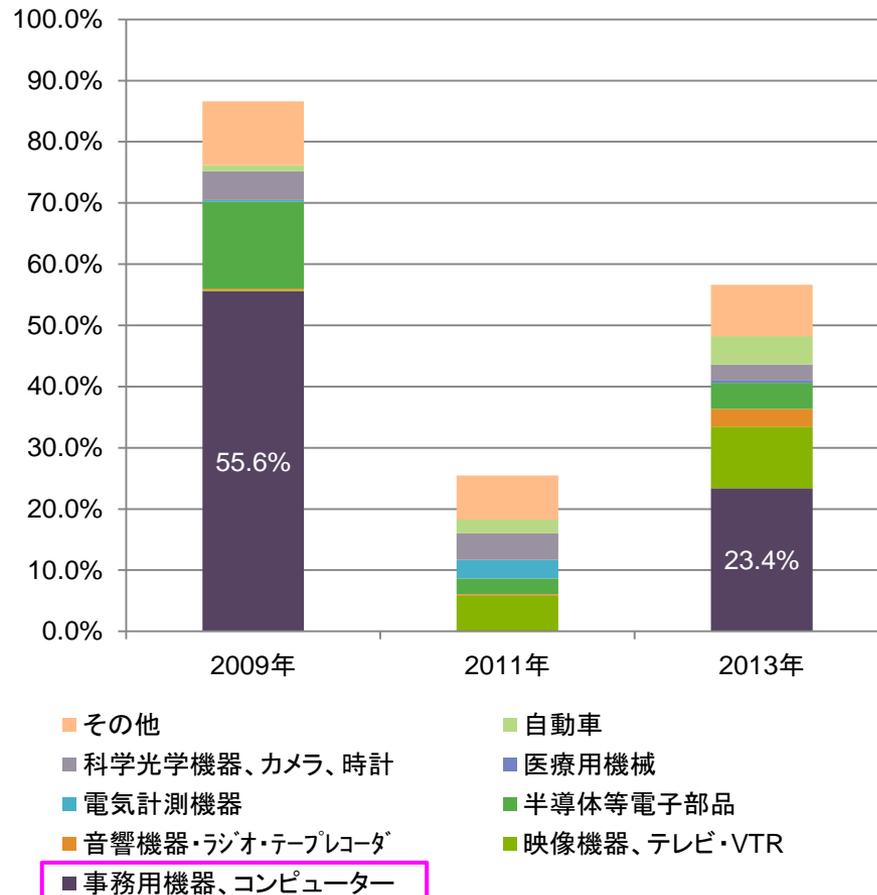
輸入動向 (山形)

単位: % (重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

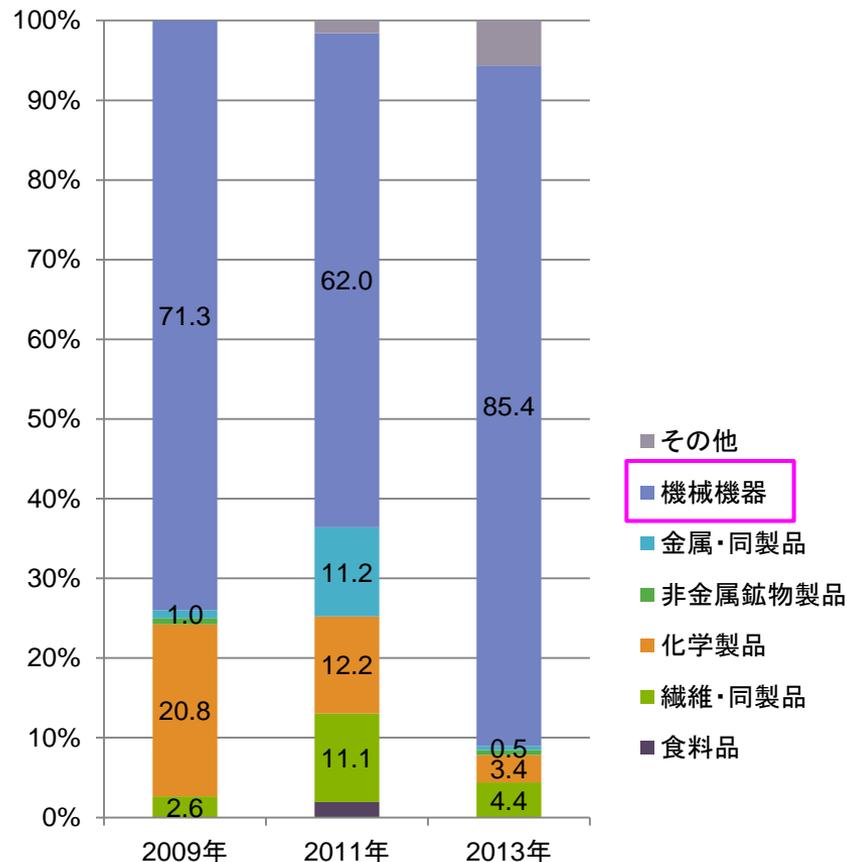
・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。 2007年調査は県別データ無し。

# 発着品目(輸入): 県別

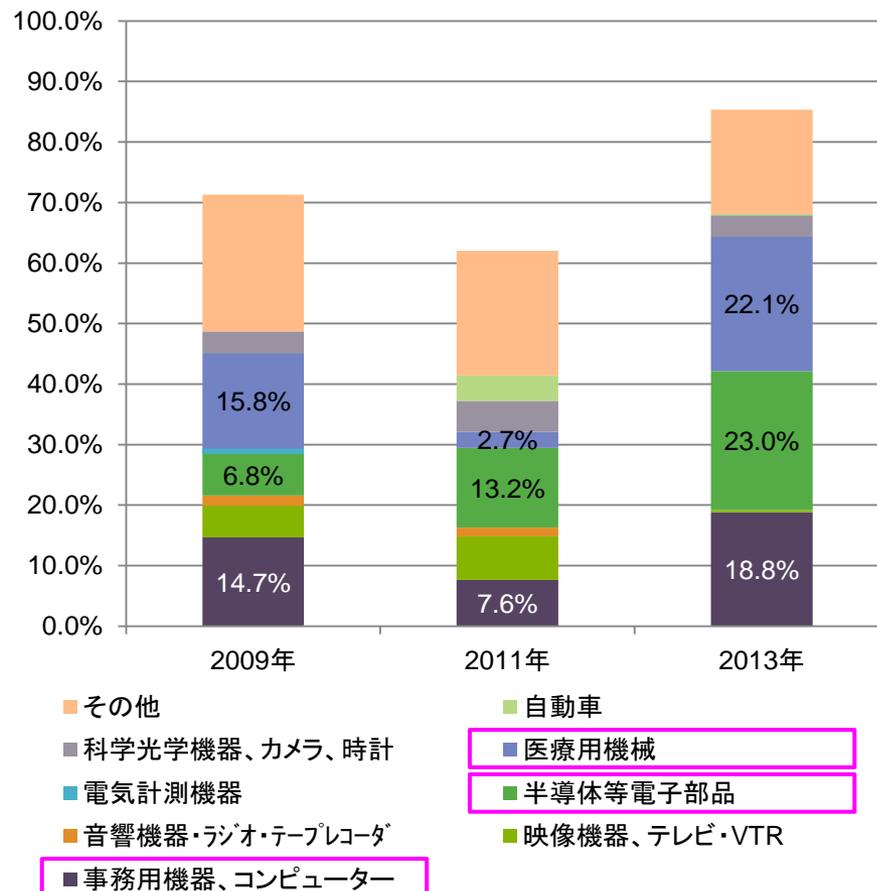
輸入動向 (福島)

単位: %(重量ベース)



機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: %(重量ベース)



下記資料より日通総合研究所作成

・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年

※隔年調査につき、2010、2012年の調査データ無し。 2007年調査は県別データ無し。

(品目別動態の把握)

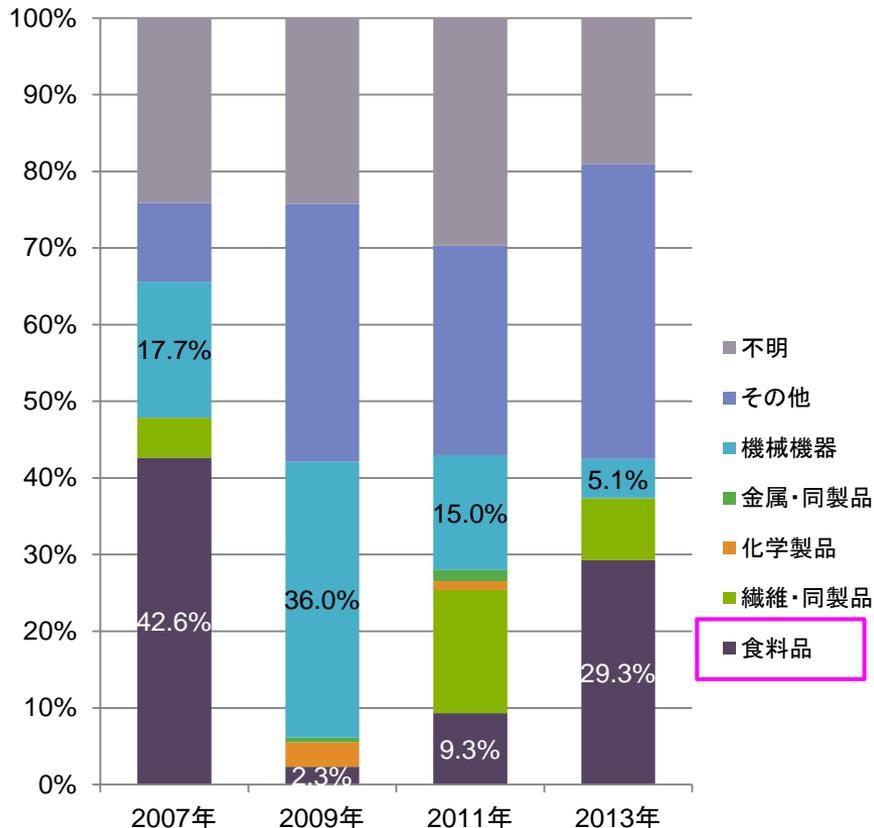
## 国内航空貨物

---

# 発着品目(発送):東北6県全体

発送動向 (東北6県全体)

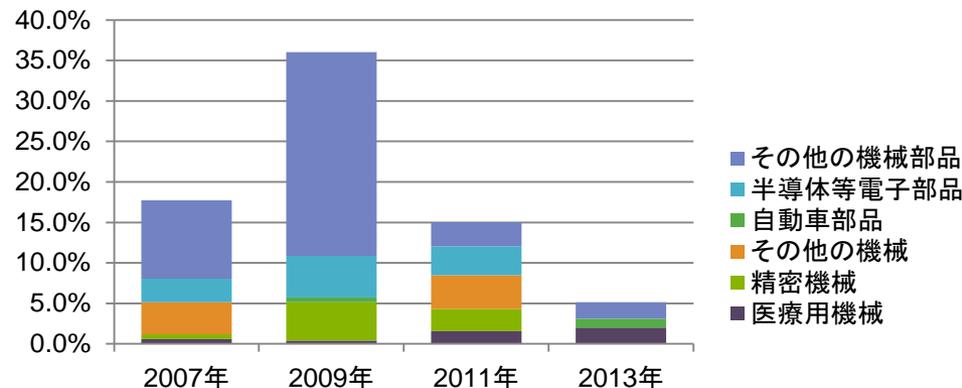
単位: %(重量ベース)



※その他:紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明:統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

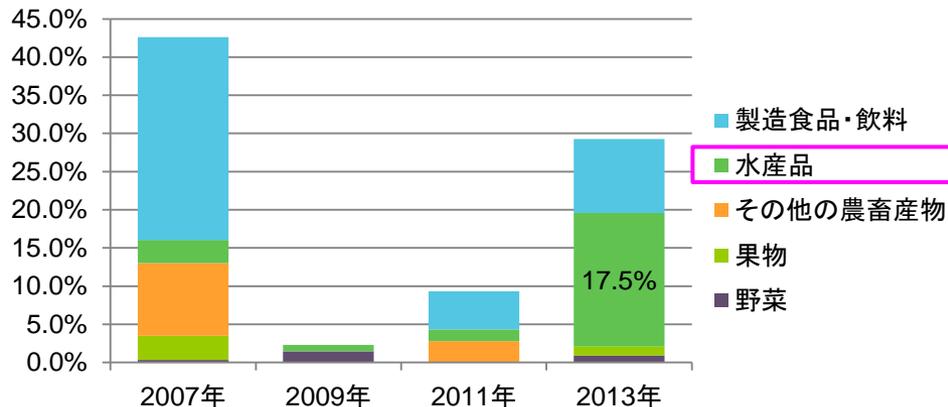
機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: %(重量ベース)



食料品 抜粋(詳細品目)

単位: %(重量ベース)



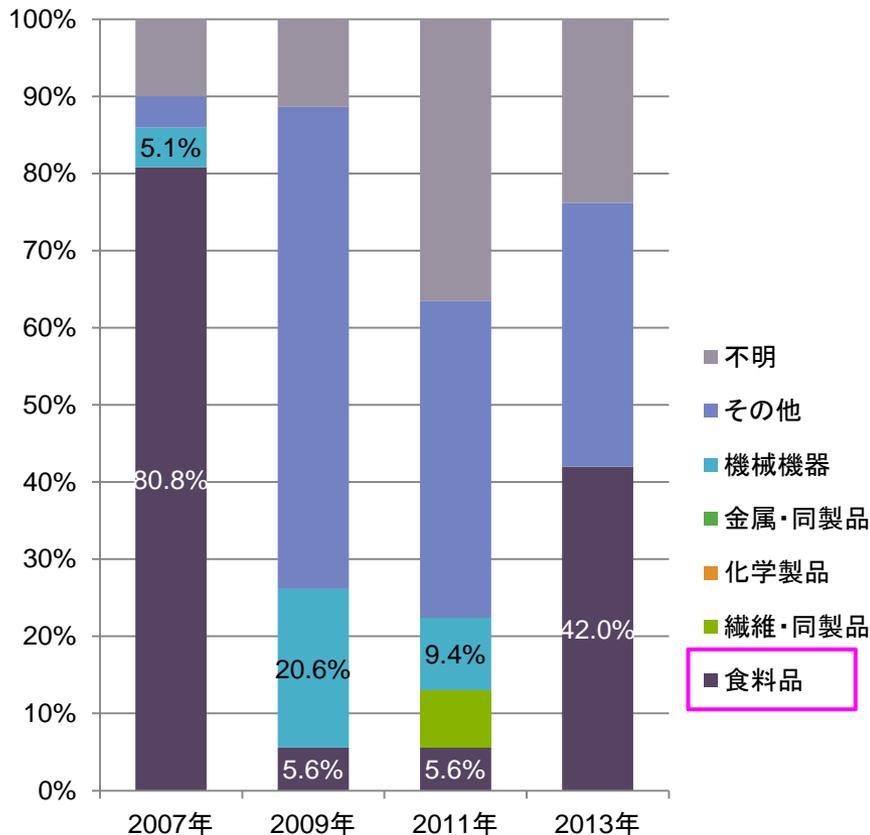
下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 発着品目(発送): 県別

## 発送動向 (青森)

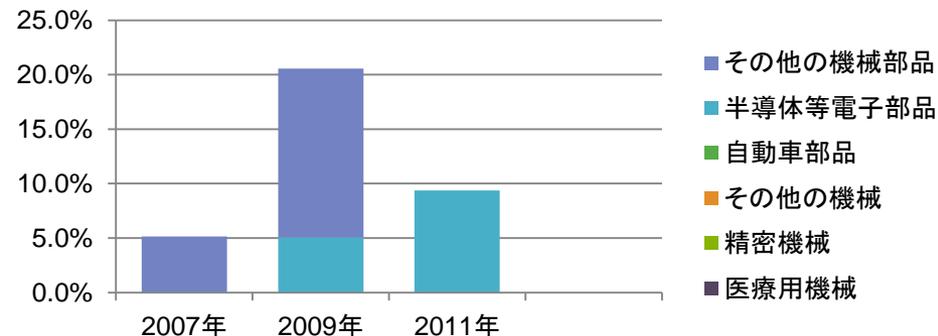
単位: % (重量ベース)



※その他: 紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明: 統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

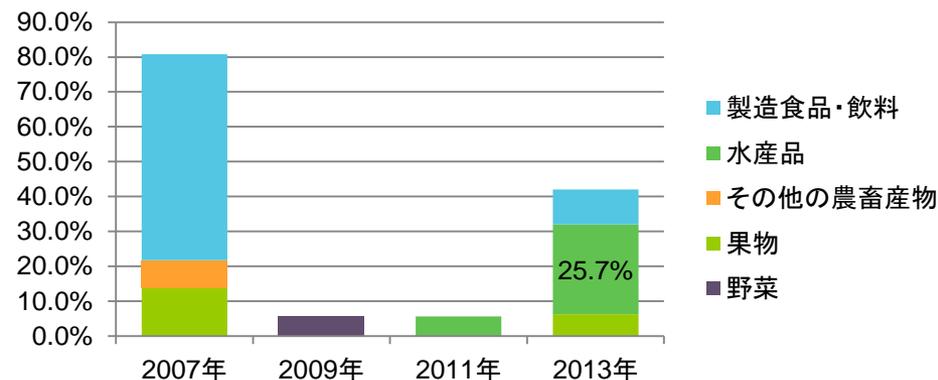
## 機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



## 食料品 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



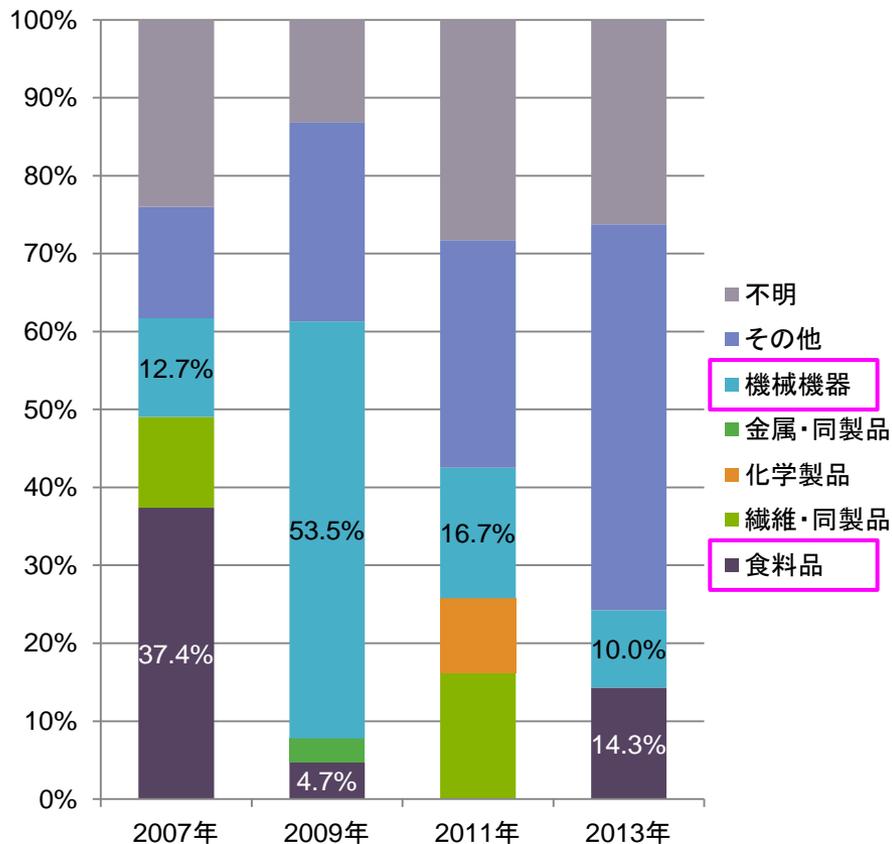
下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 発着品目(発送): 県別

## 発送動向 (岩手)

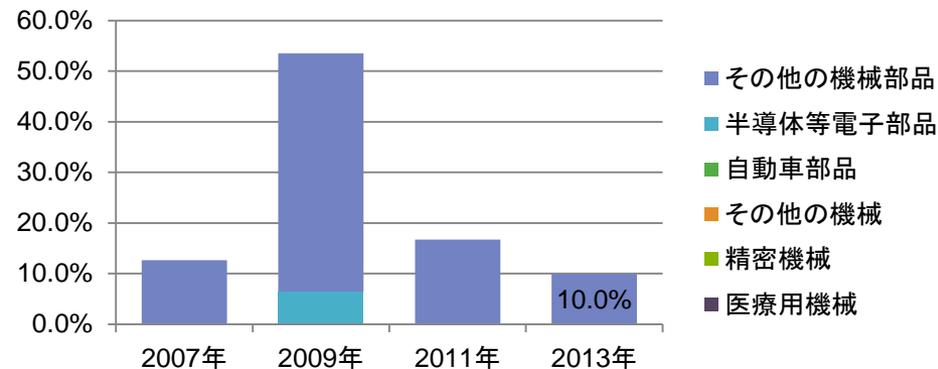
単位: % (重量ベース)



※その他: 紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明: 統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

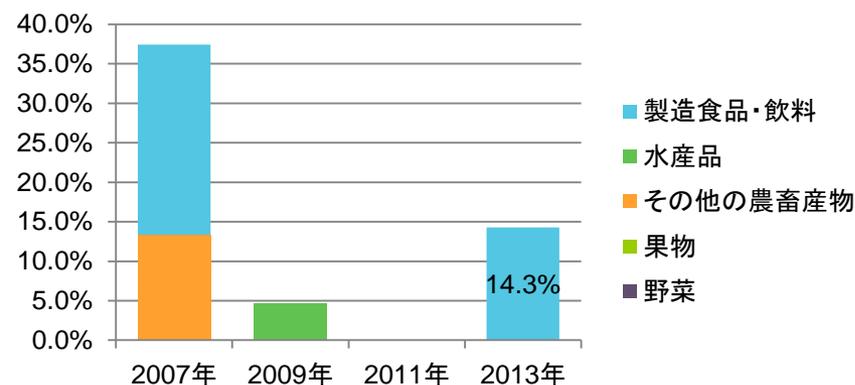
## 機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



## 食料品 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



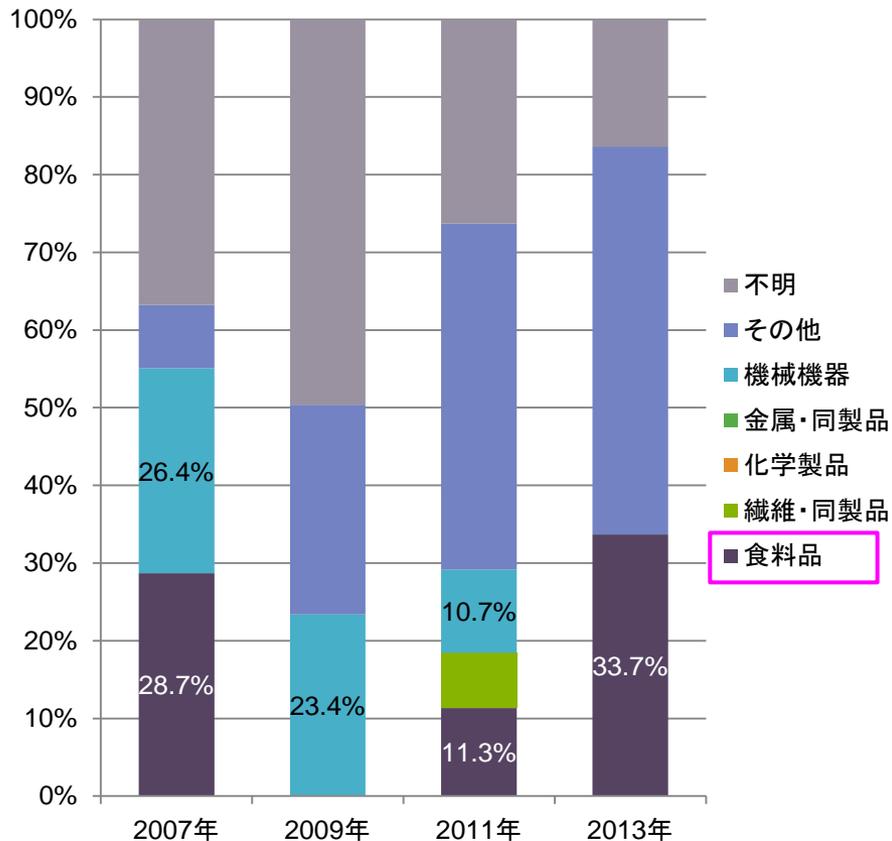
下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 発着品目(発送): 県別

## 発送動向 (宮城)

単位: % (重量ベース)



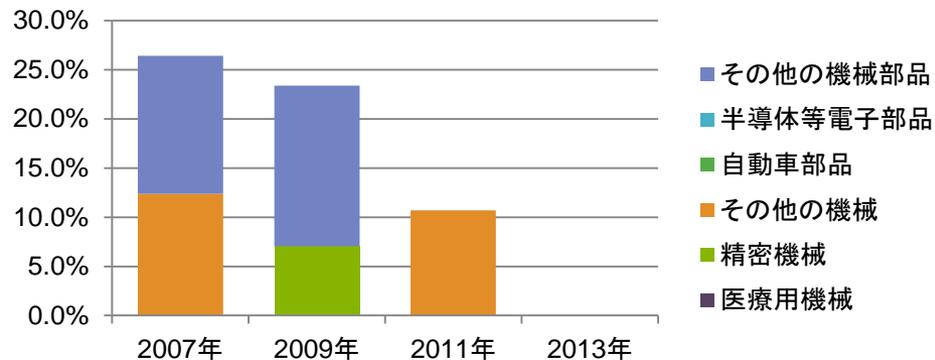
※その他: 紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明: 統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

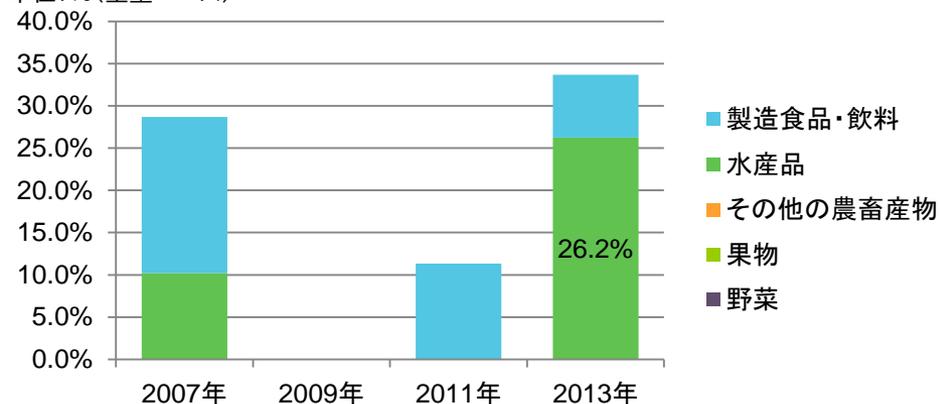
## 機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



## 食料品 抜粋(詳細品目)

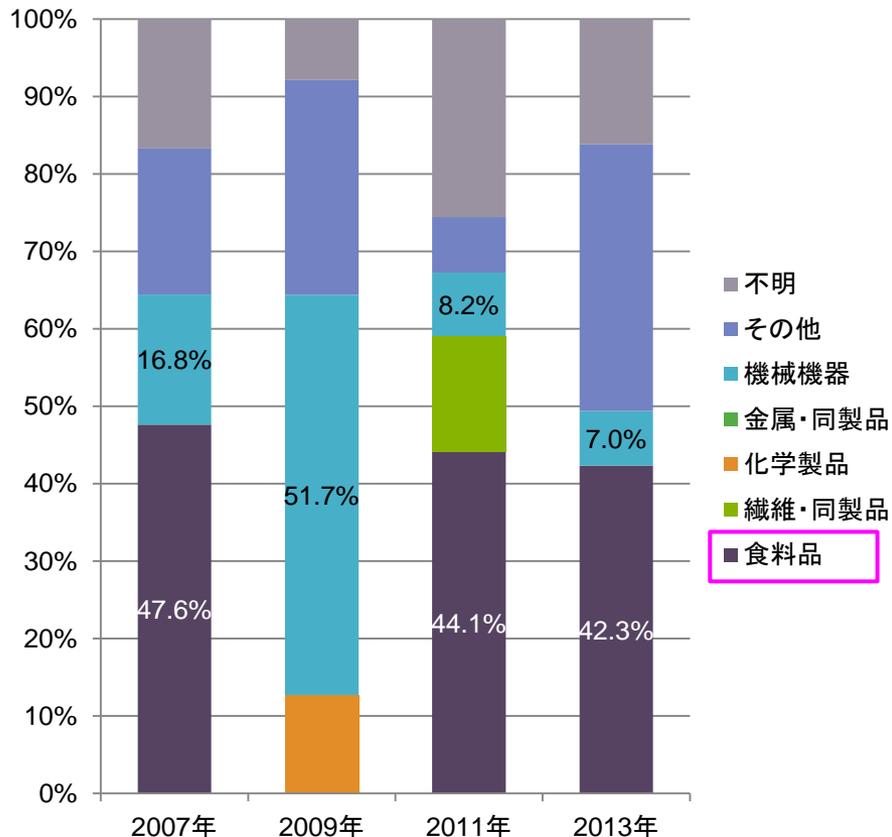
単位: % (重量ベース)



# 発着品目(発送): 県別

## 発送動向 (秋田)

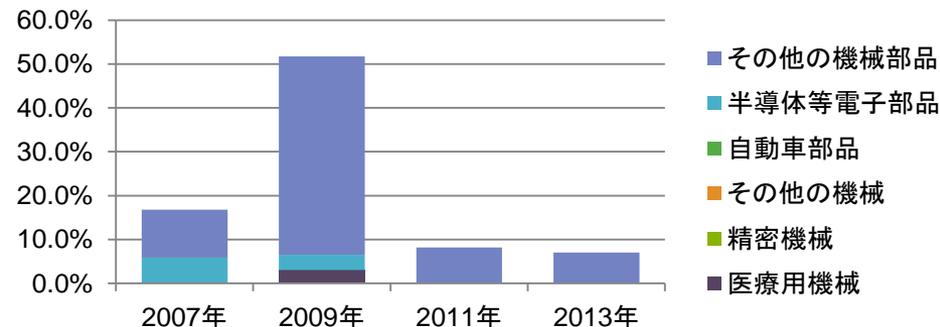
単位: % (重量ベース)



※その他: 紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明: 統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

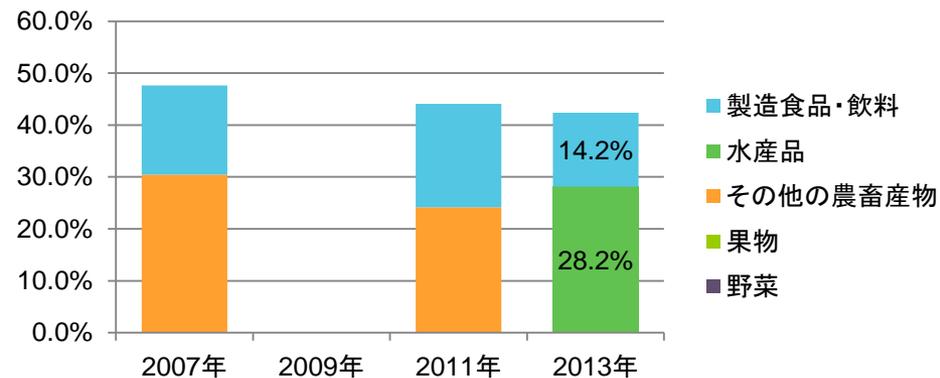
## 機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



## 食料品 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



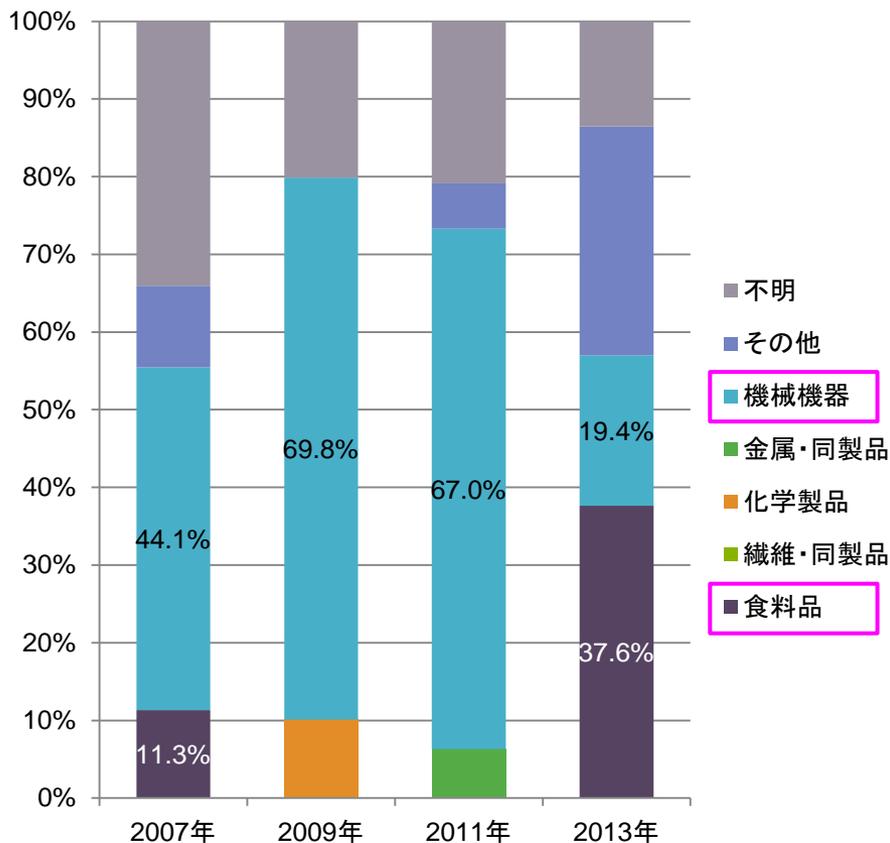
下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 発着品目(発送): 県別

## 発送動向 (山形)

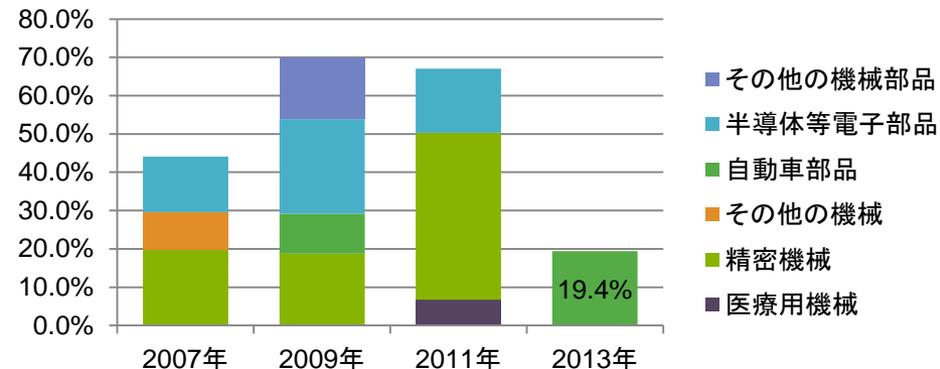
単位: % (重量ベース)



※その他: 紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明: 統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

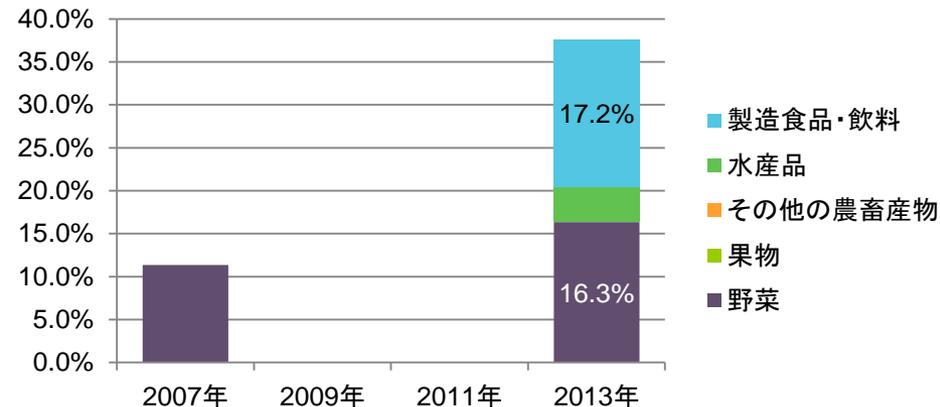
## 機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



## 食料品 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



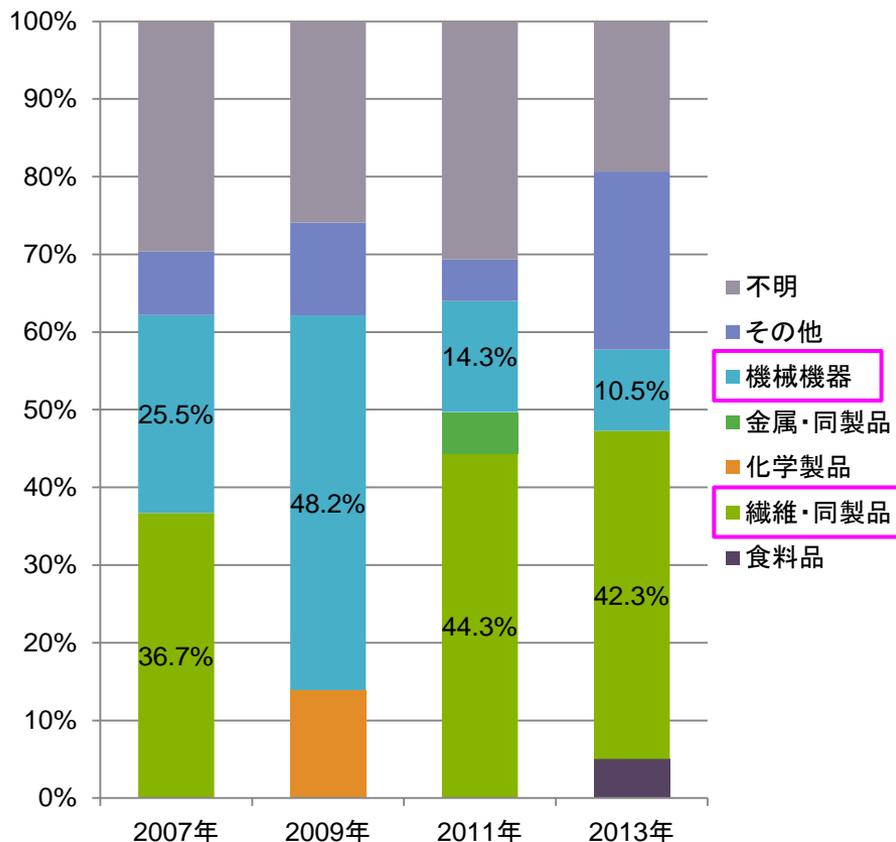
下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 発着品目(発送): 県別

## 発送動向 (福島)

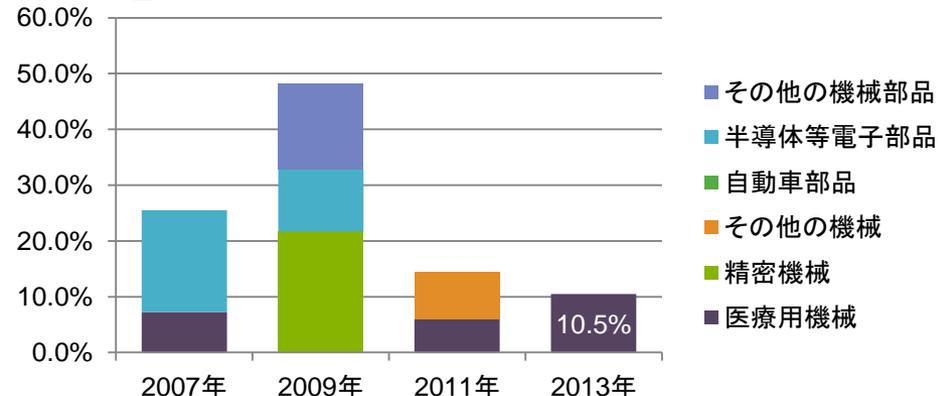
単位: % (重量ベース)



※その他: 紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明: 統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

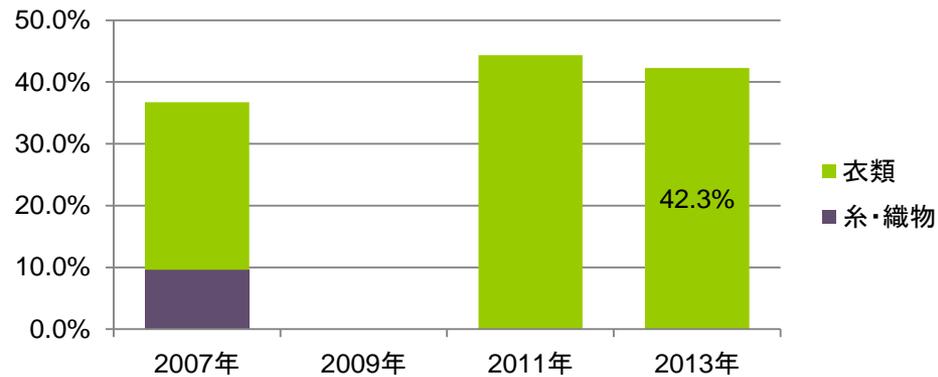
## 機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



## 繊維・同製品 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



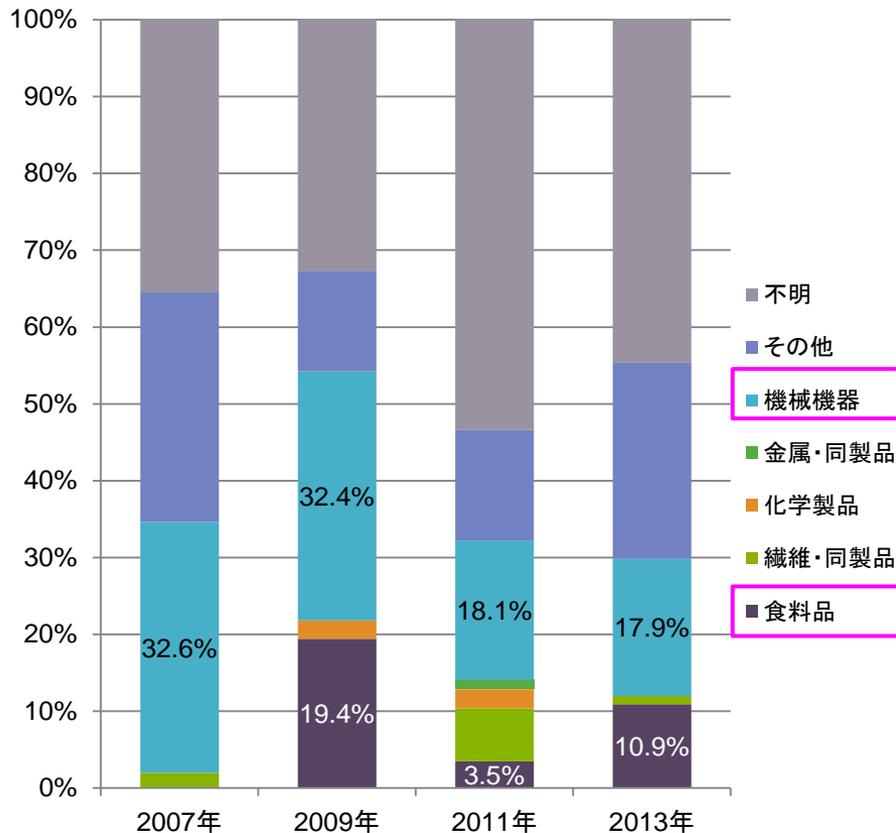
下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 発着品目(到着):東北6県全体

到着動向 (東北6県全体)

単位: %(重量ベース)



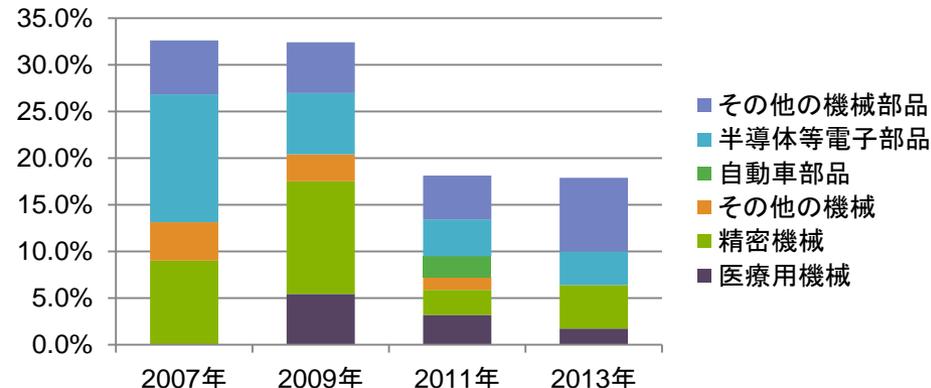
※その他:紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明:統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

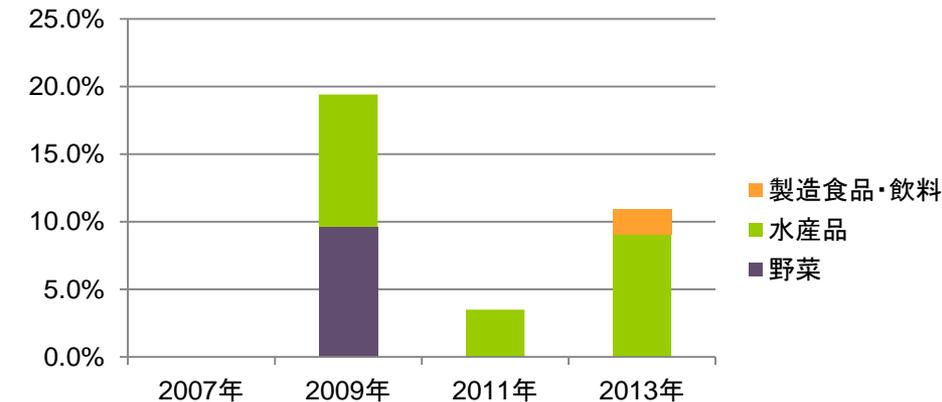
機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: %(重量ベース)



食料品 抜粋(詳細品目)

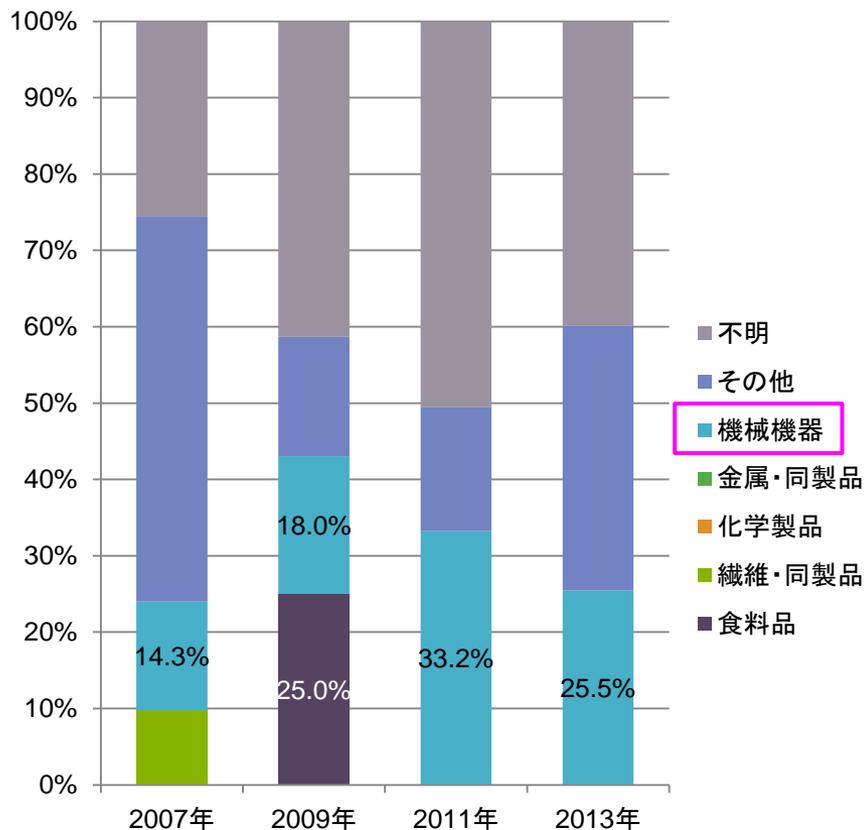
単位: %(重量ベース)



# 発着品目(到着): 県別

## 到着動向 (青森)

単位: % (重量ベース)



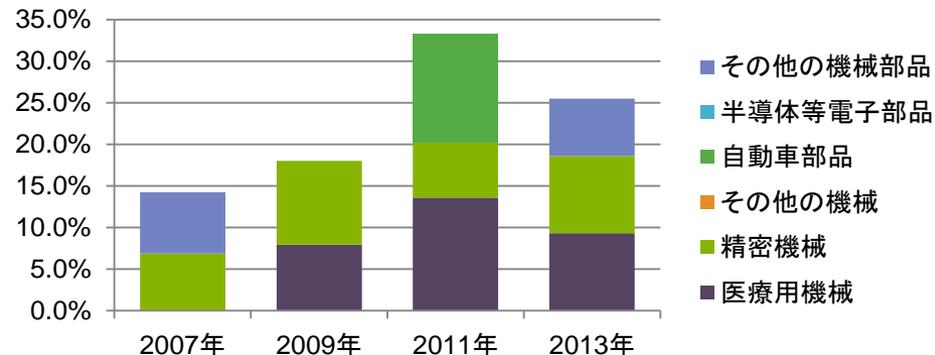
※その他: 紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明: 統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

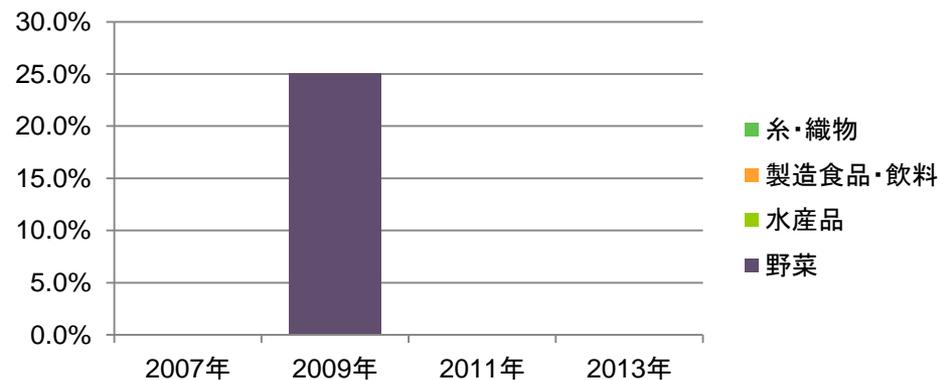
## 機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



## 食料品 抜粋(詳細品目)

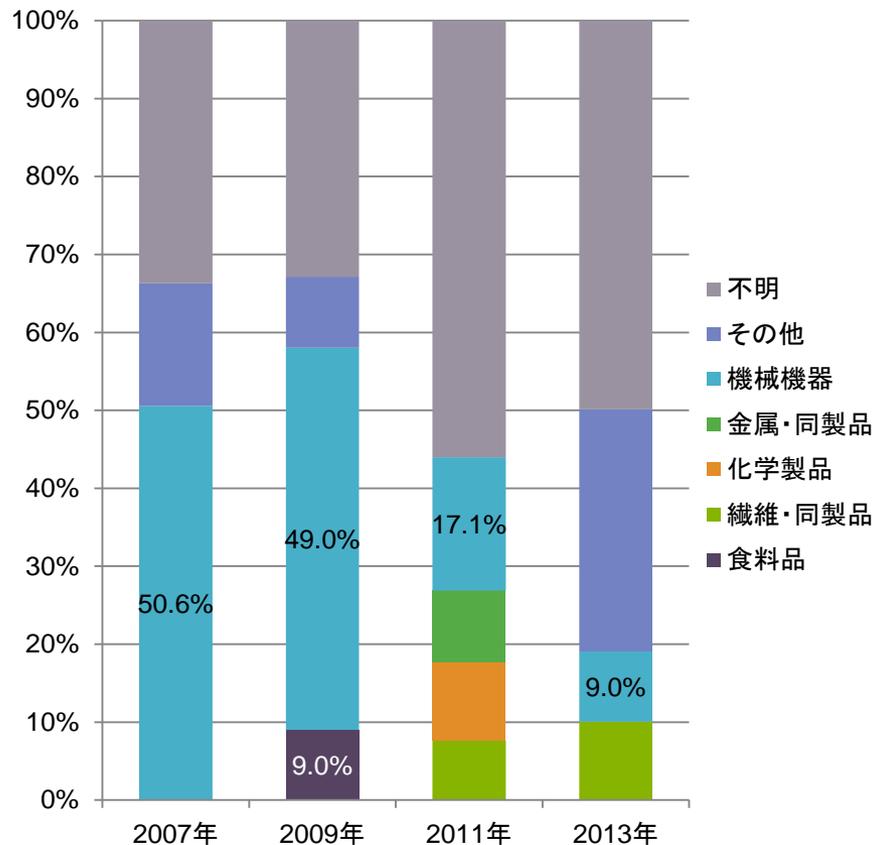
単位: % (重量ベース)



# 発着品目(到着): 県別

## 到着動向 (岩手)

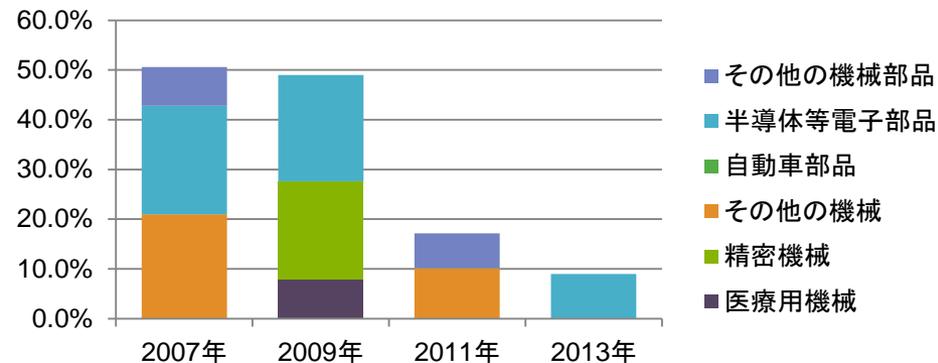
単位: % (重量ベース)



※その他: 紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明: 統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

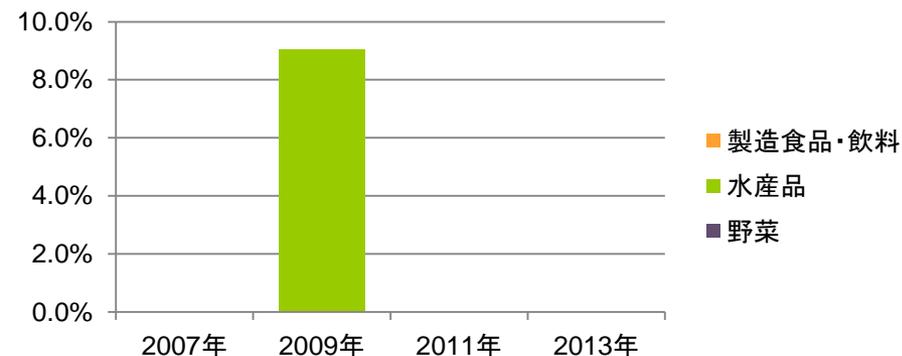
## 機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



## 食料品 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



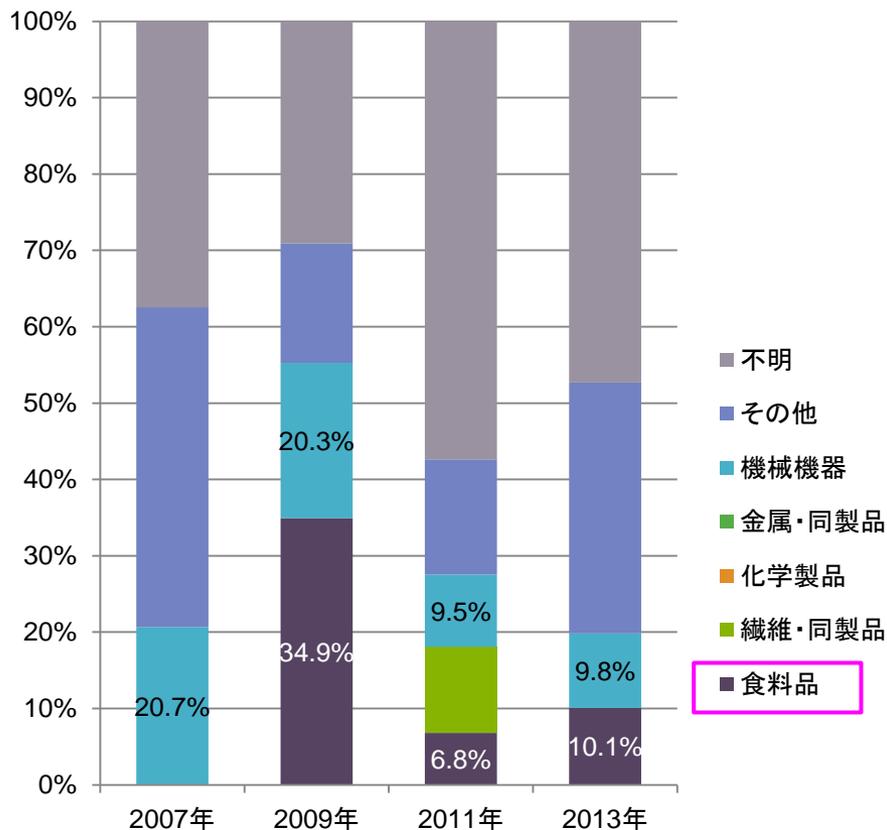
下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

# 発着品目(到着): 県別

## 到着動向 (宮城)

単位: % (重量ベース)



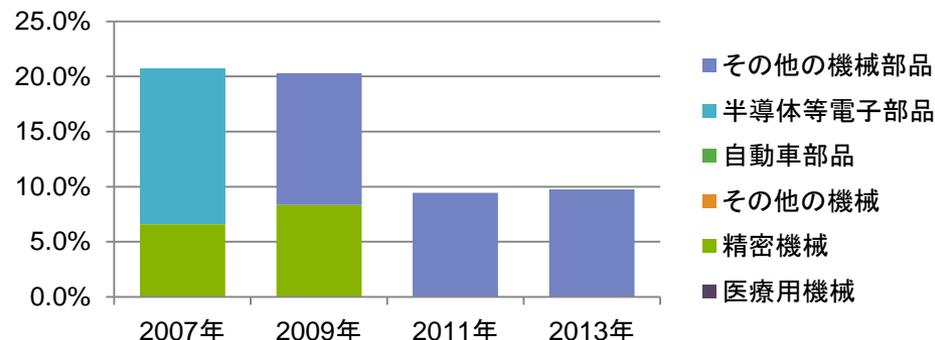
※その他: 紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明: 統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

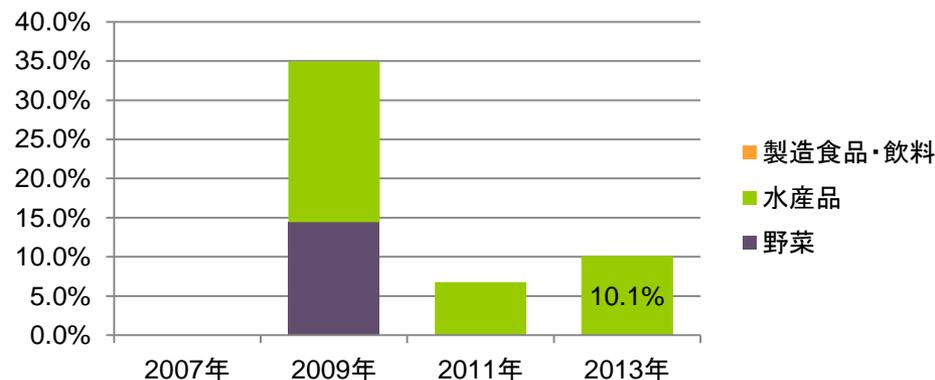
## 機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



## 食料品 抜粋(詳細品目)

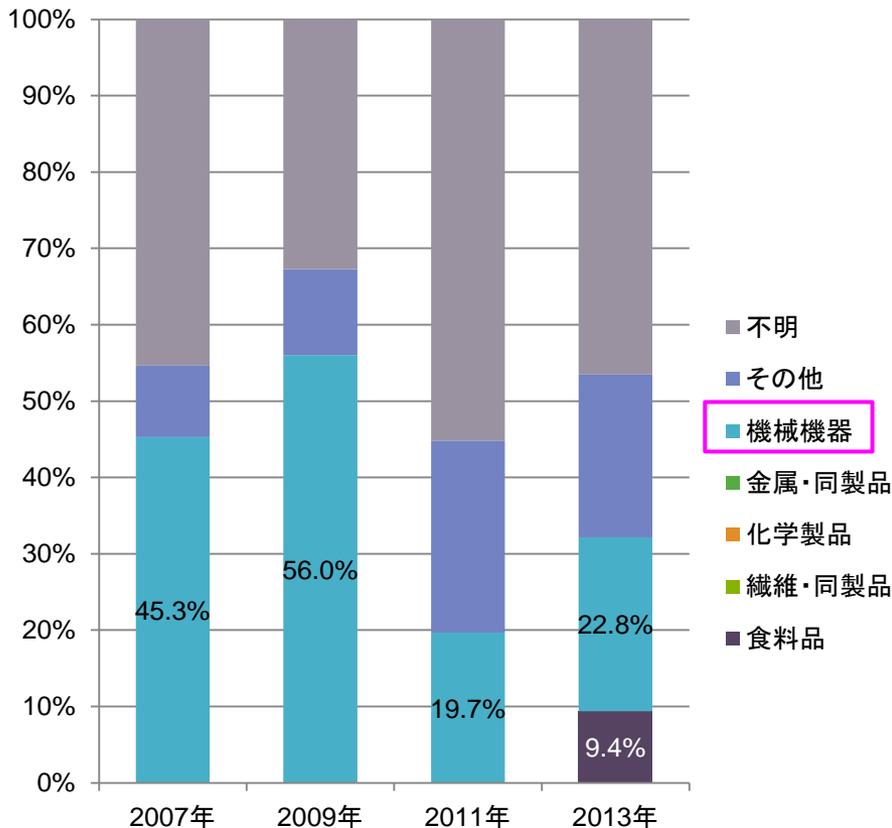
単位: % (重量ベース)



# 発着品目(到着): 県別

## 到着動向 (秋田)

単位: % (重量ベース)



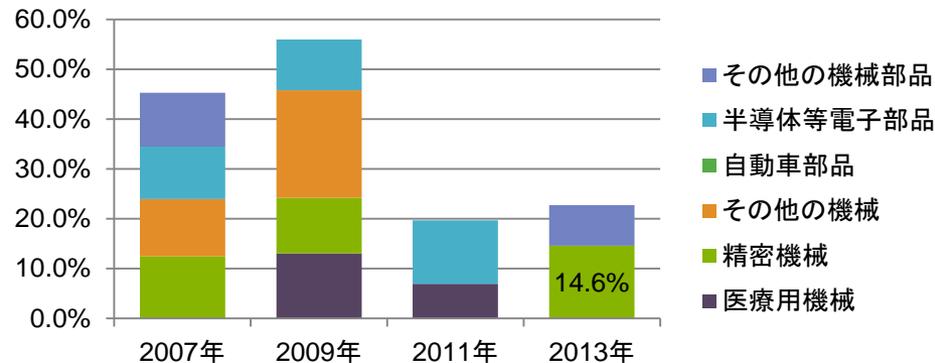
※その他: 紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明: 統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

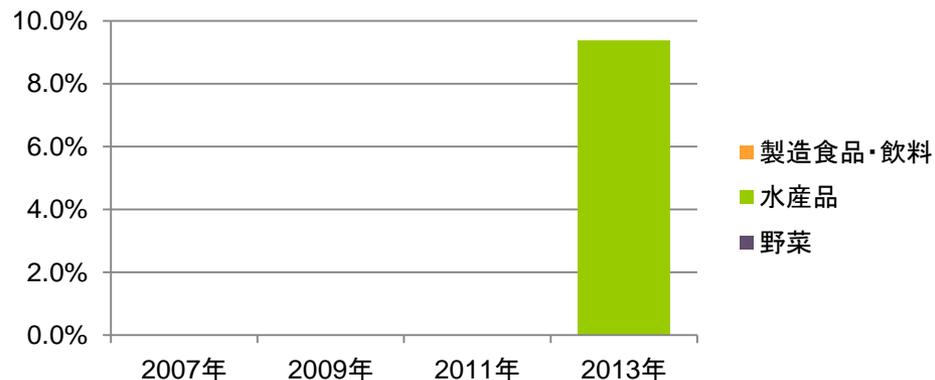
## 機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



## 食料品 抜粋(詳細品目)

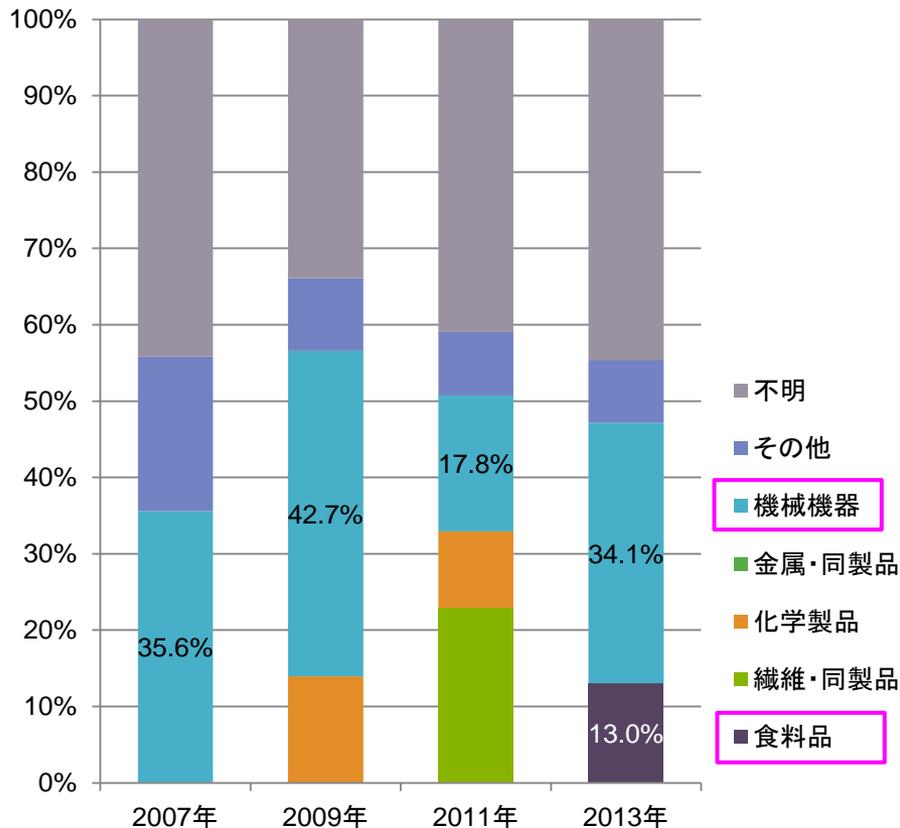
単位: % (重量ベース)



# 発着品目(到着): 県別

## 到着動向 (山形)

単位: % (重量ベース)



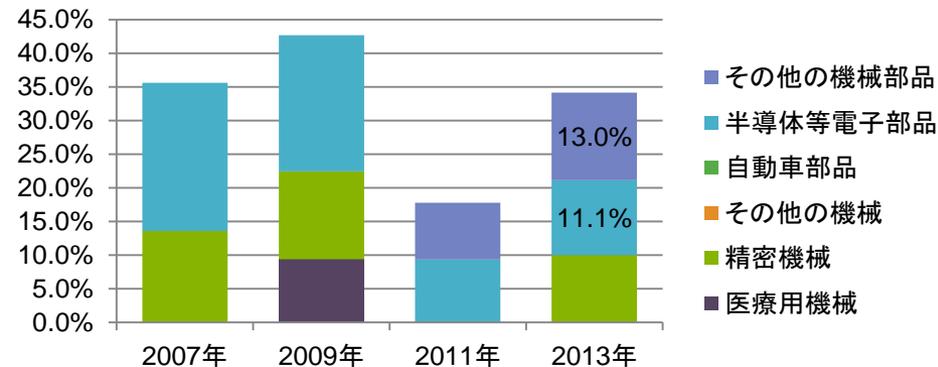
※その他: 紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明: 統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

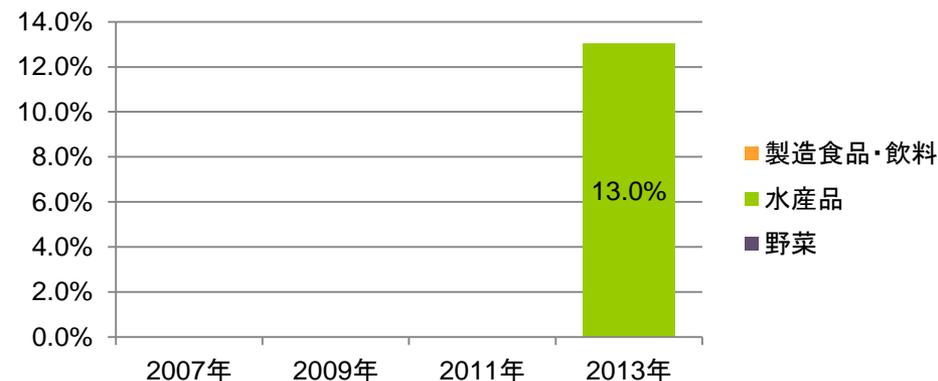
## 機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



## 食料品 抜粋(詳細品目)

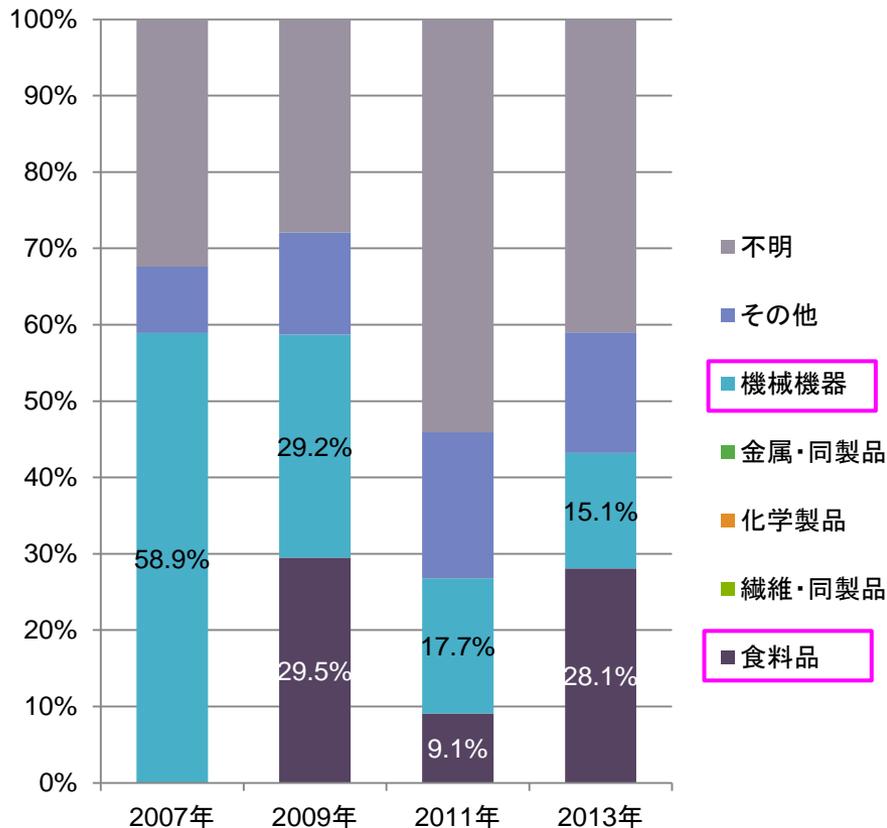
単位: % (重量ベース)



# 発着品目(到着): 県別

## 到着動向 (福島)

単位: % (重量ベース)



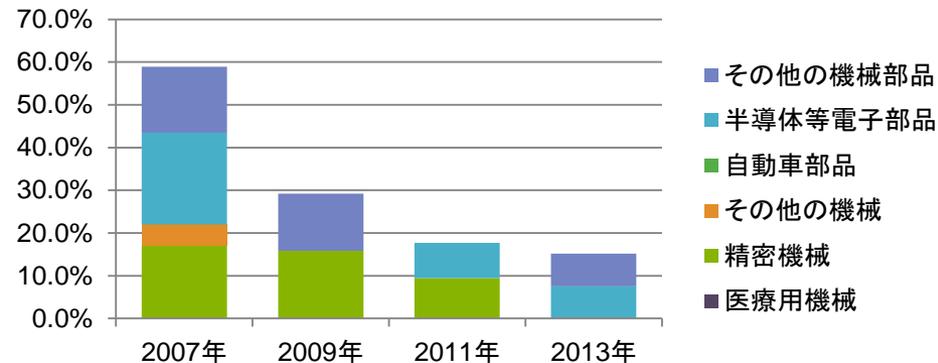
※その他: 紙・パルプ、その他の製造工業品、その他の日用品、CD等電子媒体書類・印刷物  
 ※不明: 統計データから品目特定できない部分(物量上位5品目該当せず)

下記資料より日通総合研究所作成

・航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年 ※隔年調査につき、2008、2010、2012年の調査データ無し。

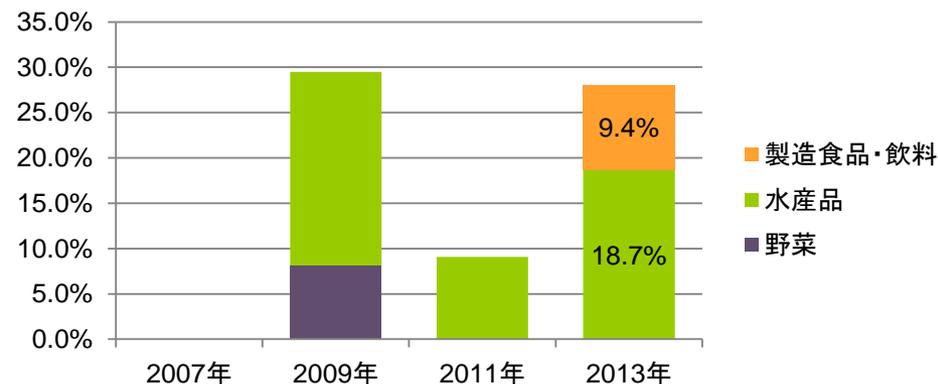
## 機械機器 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



## 食品品 抜粋(詳細品目)

単位: % (重量ベース)



# 潜在需要の推定

---

# 推計結果サマリ

- 東北6県および、宮城県単独の潜在需要(推計値)は以下の通り  
(算出方法:次頁以降にて説明)

		合計	国際		国内	
東北 6県	成田・羽田 転送	<b>114,100トン/年</b>  発:53,400トン/年 着:60,700トン/年	<b>78,900トン/年</b> 発:37,700トン/年 着:41,200トン/年	P66 -69	<b>29,300トン/年</b> 発:12,900トン/年 着:16,400トン/年 (※羽田転送のみ)	P70 -73
	域内 他空港				<b>5,900トン/年</b> 発:2,800トン/年 着:3,100トン/年	P71
宮城県	成田・羽田 転送	<b>26,900トン/年</b>  発:14,800トン/年 着:12,100トン/年	<b>19,000トン/年</b> 発:11,700トン/年 着: 7,300トン/年	P66 -69	<b>7,900トン/年</b> 発:3,100トン/年 着:4,800トン/年 (※羽田転送のみ)	P70 -73

# 推計方法(国際)

- 以下の要領で、国際航空貨物の潜在需要(推定値)を算出。  
「潜在需要」⇒東北発着の貨物のうち、**成田・羽田両空港へ／から転送されているもの**(需要が成田・羽田へ流出していると捉える)

参照資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本出入航空貨物路線別取扱実績(国土交通省航空局) 2013年</li> <li>・国際航空貨物動態調査(国土交通省航空局) 2007、2009、2011、2013年</li> </ul>
------	--

<b>使用 データ</b>	成田・羽田発 年間輸出力	成田・羽田着 年間輸入量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>路線別取扱実績</b>より、成田・羽田発着の年間取り扱い実績 (発空港:成田空港・羽田空港 仕向先路線:全て)</li> </ul>
			<p><b>【データ抽出条件】</b> 発空港:成田空港・羽田空港 仕向先路線:韓国・台湾・中国向けのみ (理由...現在仙台空港にて就航している仕向け先路線に限定)</p>
	県別- 1日あたり成田・羽田 経由輸出力	県別- 1日あたり成田・羽田 経由輸入量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>国際航空貨物動態調査</b>より、発着地県別の取り扱い実績を抽出 ※元調査の性質上、調査日1日分の実績情報となる</li> </ul>
			<p><b>【データ抽出条件】</b> 発着地(荷送人／荷受人住所):東北6県のみ抽出(県別集計) 利用空港:成田空港・羽田空港</p>
	1日あたり 成田・羽田輸出総量	1日あたり 成田・羽田輸入総量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>国際航空貨物動態調査</b>より、空港別の取り扱い実績を抽出 ※元調査の性質上、1日分の実績となる</li> </ul>
			<p><b>【データ抽出条件】</b> 発着地(荷送人／荷受人住所):東北6県のみ抽出(県別集計) 利用空港:成田空港・羽田空港</p>

# 推計方法(国際)

成田・羽田発 年間輸出货量(2013年度)

## 路線別内訳

(単位:トン)		年計
成田	北米	98,499
	大洋州	9,875
	中南米	358
	欧州	83,754
	中国	90,659
	香港	47,177
	台湾	44,451
	韓国	62,818
	シンガポール	14,338
	ASEAN	56,298
	他アジア	5,216
	中東,ア,他	11,951
	合計	525,394
	羽田	北米
大洋州		263
中南米		0
欧州		5,438
中国		3,324
香港		5,042
台湾		2,070
韓国		2,096
シンガポール		6,886
ASEAN		7,896
他アジア		0
中東,ア,他		3,046
合計		40,864
成田・羽田		合計

中国・台湾・韓国のみ  
(現在の仙台空港就航先)

20万5,000トン

アジア全域

34万8,000トン

全世界

56万6,000トン

成田・羽田着 年間輸入量(2013年度)

## 路線別内訳

(単位:トン)		年計
成田	北米	160,984
	大洋州	12,085
	中南米	567
	欧州	139,434
	中国	128,679
	香港	86,257
	台湾	44,990
	韓国	52,248
	シンガポール	15,528
	ASEAN	85,232
	他アジア	5,251
	中東,ア,他	16,848
	合計	748,103
	羽田	北米
大洋州		235
中南米		0
欧州		3,397
中国		4,122
香港		5,152
台湾		4,130
韓国		3,231
シンガポール		4,986
ASEAN		5,959
他アジア		0
中東,ア,他		863
合計		36,509
成田・羽田		合計

中国・台湾・韓国のみ  
(現在の仙台空港就航先)

23万7,000トン

アジア全域

44万6,000トン

全世界

78万5,000トン

# 推計方法(国際)

成田・羽田発  
利用率

=

県別-1日あたり  
成田・羽田経由輸出货量

÷

1日あたり  
成田・羽田輸出総量

<輸出> (単位:KG)	2007		2007		2009		2011		2013	
	成田	羽田	成・羽	比率(%)	成・羽	比率(%)	成・羽	比率(%)	成・羽	比率(%)
青森県			データ無		4,139	0.2%	1,194	0.1%	7,793	0.5%
岩手県					16,771	0.9%	7,829	0.4%	6,268	0.4%
宮城県					78,894	4.1%	42,606	2.3%	18,983	1.1%
秋田県					30,140	1.6%	19,192	1.0%	41,025	2.5%
山形県					17,822	0.9%	14,225	0.8%	42,875	2.6%
福島県					79,123	4.1%	37,794	2.0%	33,013	2.0%
東北6県計	201,000	0	201,000	8.1%	226,889	11.7%	122,840	6.7%	149,957	9.0%

総量	2,459,000	19,000	2,478,000	100.0%	1,940,286	100.0%	1,843,633	100.0%	1,668,482	100.0%
----	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------

(単位:%)	2007/2009/2011/2013	
	中央値	調整値
青森県	0.2%	<b>0.2%</b>
岩手県	0.4%	<b>0.4%</b>
宮城県	2.3%	<b>2.1%</b>
秋田県	1.6%	<b>1.4%</b>
山形県	0.9%	<b>0.8%</b>
福島県	2.0%	<b>1.8%</b>
東北6県計	7.5%	<b>6.7%</b>

※東北6県計の比率は「ミニマム値」を使用  
※各県の比率は東北6県計の比率を「中央値」の比率で按分

成田・羽田着  
利用率

=

県別-1日あたり  
成田・羽田経由輸入力

÷

1日あたり  
成田・羽田輸入総量

<輸入> (単位:KG)	2007		2007		2009		2011		2013	
	成田	羽田	成・羽	比率(%)	成・羽	比率(%)	成・羽	比率(%)	成・羽	比率(%)
青森県			データ無		991	0.1%	4,894	0.3%	3,433	0.2%
岩手県					5,754	0.3%	10,970	0.7%	3,329	0.2%
宮城県					17,932	1.0%	16,879	1.0%	19,379	1.0%
秋田県					3,432	0.2%	9,665	0.6%	8,248	0.4%
山形県					28,883	1.6%	17,547	1.1%	31,438	1.6%
福島県					59,075	3.3%	34,076	2.1%	36,532	1.9%
東北6県計	124,000	5,000	129,000	5.5%	116,067	6.4%	94,031	5.8%	102,359	5.3%

総量	2,333,000	5,000	2,338,000	100.0%	1,812,356	100.0%	1,618,752	100.0%	1,949,021	100.0%
----	-----------	-------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------	-----------	--------

(単位:%)	2007/2009/2011/2013	
	中央値	調整値
青森県	0.2%	<b>0.2%</b>
岩手県	0.3%	<b>0.3%</b>
宮城県	1.0%	<b>0.9%</b>
秋田県	0.4%	<b>0.4%</b>
山形県	1.6%	<b>1.5%</b>
福島県	2.1%	<b>2.0%</b>
東北6県計	5.6%	<b>5.3%</b>

※東北6県計の比率は「ミニマム値」を使用  
※各県の比率は東北6県計の比率を「中央値」の比率で按分

# 推計方法(国際)

推計方法 = 航空貨物潜在需要 東北発(国際) × 成田・羽田発 年間輸出物量 × 成田・羽田発 利用率

中国・台湾・韓国のみ (単位:トン)	成・羽 利用率 (単位:%)		中国・台湾・韓国のみ (単位:トン)	アジア全域 (単位:トン)	全世界 (単位:トン)
205,000	青森県	0.2%	400	700	1,100
アジア全域 (単位:トン)	岩手県	0.4%	800	1,300	2,100
	宮城県	2.1%	4,200	7,200	11,700
348,000	秋田県	1.4%	2,800	4,800	7,800
全世界 (単位:トン)	山形県	0.8%	1,700	2,900	4,600
	福島県	1.8%	3,700	6,400	10,300
566,000	東北6県計	6.7%	13,700	23,200	37,700

	中国・台湾・韓国のみ	アジア全域	全世界
東北6県	約1万3,700トン	約2万3,200トン	約3万7,700トン
うち宮城県	約4,200トン	約7,200トン	約1万1,700トン

※100トン単位で四捨五入

推計方法 = 航空貨物潜在需要 東北着(国際) × 成田・羽田着 年間輸入物量 × 成田・羽田発 利用率

中国・台湾・韓国のみ (単位:トン)	成・羽 利用率 (単位:%)		中国・台湾・韓国のみ (単位:トン)	アジア全域 (単位:トン)	全世界 (単位:トン)
237,000	青森県	0.2%	400	700	1,300
アジア全域 (単位:トン)	岩手県	0.3%	700	1,300	2,300
	宮城県	0.9%	2,200	4,200	7,300
446,000	秋田県	0.4%	900	1,800	3,100
全世界 (単位:トン)	山形県	1.5%	3,500	6,700	11,700
	福島県	2.0%	4,700	8,800	15,500
785,000	東北6県計	5.3%	12,400	23,400	41,200

	中国・台湾・韓国のみ	アジア全域	全世界
東北6県	約1万2,400トン	約2万3,400トン	約4万1,200トン
うち宮城県	約2,200トン	約4,200トン	約7,300トン

※100トン単位で四捨五入

# 推計方法(国内)

- 以下の要領で、国内航空貨物の潜在需要(推定値)を算出。  
 「潜在需要」⇒東北発着の貨物のうち、羽田両空港へ／から転送されているもの(需要が羽田へ流出していると捉える)  
 ⇒東北域内の他空港から発着しているもの(空港利用が分散していると捉える)

参照資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空輸送統計 国内定期航空空港間貨物流動表(年度)(国土交通省)2013年</li> <li>・航空貨物動態調査報告書(国土交通省航空局)2007、2009、2011、2013年</li> </ul>
------	--

使用 データ	羽田発 年間発送量	羽田着 年間到着量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>空港間貨物流動表</b>より、羽田発着の年間取り扱い実績を抽出</li> </ul>
			<b>【データ抽出条件】</b> 発空港:羽田空港 仕向先路線:国内全路線
	域内他空港 年間発送量	域内他空港 年間到着量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>空港間貨物流動表</b>より、地方空港発着の年間取り扱い実績を抽出</li> </ul>
			<b>【データ抽出条件】</b> 発空港:東北6県所在の地方空港(仙台空港除く) 仕向先路線:国内全路線
県別- 1日あたり羽田経由 発送量	県別- 1日あたり羽田経由 到着量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>航空貨物動態調査</b>より、発着地県別の取り扱い実績を抽出            ※元調査の性質上、1日分の実績となる</li> </ul>	
		<b>【データ抽出条件】</b> 発地:東北6県のみ抽出(県別集計) 利用空港:羽田空港 ※成田空港取り扱い実績は非常に僅少につき、使用可能なデータ無し	
1日あたり 羽田発送総量	1日あたり 羽田到着総量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>航空貨物動態調査</b>より、羽田空港の取り扱い実績を抽出            ※元調査の性質上、1日分の実績となる</li> </ul>	
		<b>【データ抽出条件】</b> 利用空港:羽田空港 仕向先路線:国内全路線	

# 推計方法(国内)

## 羽田発 年間発送量(2013年度)

発空港	羽田
年間	345,192,172

単位:KG  
仕向先:全国

約34万5,000トン

## 羽田着 年間到着量(2013年度)

着空港	羽田
年間	387,660,759

単位:KG  
仕向先:全国

約38万8,000トン

## 域内他空港 年間発送量(2013年度)

2013/平成25年(年度)  
(単位:KG)

発空港	着空港								
	合計	新千歳	丘珠	成田	羽田	中部	大阪	福岡	那覇
青森	940,092	27,068			880,316		32,708		
八戸	0								
三沢	156,142		310		155,283		549		
花巻	117,056	10,531					102,068	4,457	
仙台	3,984,344	574,428		23,103		80,190	2,031,150	102,188	1,173,285
秋田	1,125,643	7,945			1,104,785	1,937	10,976		
大館	9,877				9,877				
山形	0								
庄内	415,768				415,768				
福島	38,728	36,245					2,483		
地区空港計	6,787,650	656,217	310	23,103	2,566,029	82,127	2,179,934	106,645	1,173,285
地区空港(仙台除く)	<b>2,803,306</b>	81,789	310	0	2,566,029	1,937	148,784	4,457	0

約2,800トン

## 域内他空港 年間到着量(2013年度)

2013/平成25年(年度)  
(単位:KG)

着空港	発空港									
	合計	函館	新千歳	丘珠	成田	羽田	中部	大阪	福岡	那覇
青森	1,302,757		5,117			1,255,834		41,806		
八戸	0									
三沢	274,659	41		109		271,508		3,001		
花巻	40,100		2,573					37,093	434	
仙台	2,421,098		365,171		1,570		365,573	1,319,272	26,270	343,242
秋田	1,116,457		2,454			1,052,764	23,510	37,729		
大館	45,446					45,446				
山形	0									
庄内	303,961					303,961				
福島	5,804		4,241					1,563		
地区空港計	5,510,282	41	379,556	109	1,570	2,929,513	389,083	1,440,464	26,704	343,242
地区空港(仙台除く)	<b>3,089,184</b>	41	14,385	109	0	2,929,513	23,510	121,192	434	0

約3,100トン

# 推計方法(国内)

羽田発  
利用率

=

県別-1日あたり  
羽田経由発送量

÷

1日あたり  
羽田発送総量

<発送> (単位:KG)	H19		H21		H23		H25	
	2007		2009		2011		2013	
	羽田	比率	羽田	比率	羽田	比率	羽田	比率
青森県	37,774	3.9%	18,783	2.7%	5,049	0.7%	5,458	0.6%
岩手県	30,878	3.2%	14,172	2.1%	6,277	0.8%	4,618	0.5%
宮城県	39,250	4.0%	15,507	2.3%	6,630	0.9%	11,063	1.2%
秋田県	26,383	2.7%	8,472	1.2%	4,989	0.7%	6,069	0.7%
山形県	2,962	0.3%	4,726	0.7%	2,675	0.4%	1,640	0.2%
福島県	11,963	1.2%	6,631	1.0%	10,621	1.4%	4,525	0.5%
東北6県計	149,210	15.3%	68,291	10.0%	36,241	4.8%	33,373	3.7%

総量	975,504	100.0%	683,886	100.0%	753,707	100.0%	891,689	100.0%
----	---------	--------	---------	--------	---------	--------	---------	--------

※東北6県から、成田空港の利用は非常に僅少につきデータ無し、除外

(単位:%)	2007/2009/2011/2013	
	中央値	調整値
青森県	1.7%	<b>0.9%</b>
岩手県	1.5%	<b>0.7%</b>
宮城県	1.8%	<b>0.9%</b>
秋田県	1.0%	<b>0.5%</b>
山形県	0.3%	<b>0.2%</b>
福島県	1.1%	<b>0.6%</b>
東北6県計	7.3%	<b>3.7%</b>

※東北6県計の比率は「ミニマム値」を使用

※各県の比率は東北6県計の比率を「中央値」の比率で按分

羽田着  
利用率

=

県別-1日あたり  
羽田経由到着量

÷

1日あたり  
羽田到着総量

<到着> (単位:KG)	H19		H21		H23		H25	
	2007		2009		2011		2013	
	羽田	比率	羽田	比率	羽田	比率	羽田	比率
青森県	112	0.0%	1,544	0.3%	7,889	1.1%	4,326	0.7%
岩手県	4,180	0.7%	2,391	0.5%	10,952	1.5%	5,607	0.9%
宮城県	8,489	1.5%	6,068	1.3%	18,445	2.5%	11,868	1.8%
秋田県	986	0.2%	1,273	0.3%	5,305	0.7%	3,199	0.5%
山形県	6,386	1.1%	2,159	0.5%	7,184	1.0%	5,781	0.9%
福島県	7,804	1.3%	6,039	1.3%	11,193	1.5%	11,840	1.8%
東北6県計	27,957	4.8%	19,474	4.2%	60,968	8.3%	42,621	6.6%

総量	578,783	100.0%	459,361	100.0%	733,125	100.0%	644,443	100.0%
----	---------	--------	---------	--------	---------	--------	---------	--------

※東北6県から、成田空港の利用は非常に僅少につきデータ無し、除外

(単位:%)	2007/2009/2011/2013	
	中央値	調整値
青森県	0.5%	<b>0.4%</b>
岩手県	0.8%	<b>0.6%</b>
宮城県	1.7%	<b>1.2%</b>
秋田県	0.4%	<b>0.3%</b>
山形県	0.9%	<b>0.7%</b>
福島県	1.4%	<b>1.1%</b>
東北6県計	5.7%	<b>4.2%</b>

※東北6県計の比率は「ミニマム値」を使用

※各県の比率は東北6県計の比率を「中央値」の比率で按分

# 推計方法(国内)

推計方法

潜在需要 東北発  
(国内)羽田転送

=

羽田発 年間発送量

×

県別-羽田発  
利用率

羽田発 総量 (単位:トン)	羽田 利用率 (単位:%)		潜在需要 推計 (単位:トン)
345,000	青森県	0.9%	3,000
※年間	岩手県	0.7%	2,600
	宮城県	0.9%	3,100
	秋田県	0.5%	1,700
	山形県	0.2%	600
	福島県	0.6%	1,900
	東北6県計	3.7%	12,900

※100トン単位で四捨五入

東北6県

約1万2,900トン

宮城県

約3,100トン

推計方法

潜在需要 東北着  
(国内)羽田転送

=

羽田着 年間到着量

×

県別-羽田着  
利用率

羽田着 総量 (単位:トン)	羽田 利用率 (単位:%)		潜在需要 推計 (単位:トン)
388,000	青森県	0.4%	1,400
※年間	岩手県	0.6%	2,300
	宮城県	1.2%	4,800
	秋田県	0.3%	1,100
	山形県	0.7%	2,700
	福島県	1.1%	4,100
	東北6県計	4.2%	16,400

※100トン単位で四捨五入

東北6県

約1万6,400トン

宮城県

約4,800トン

# 東北6県の産業動向

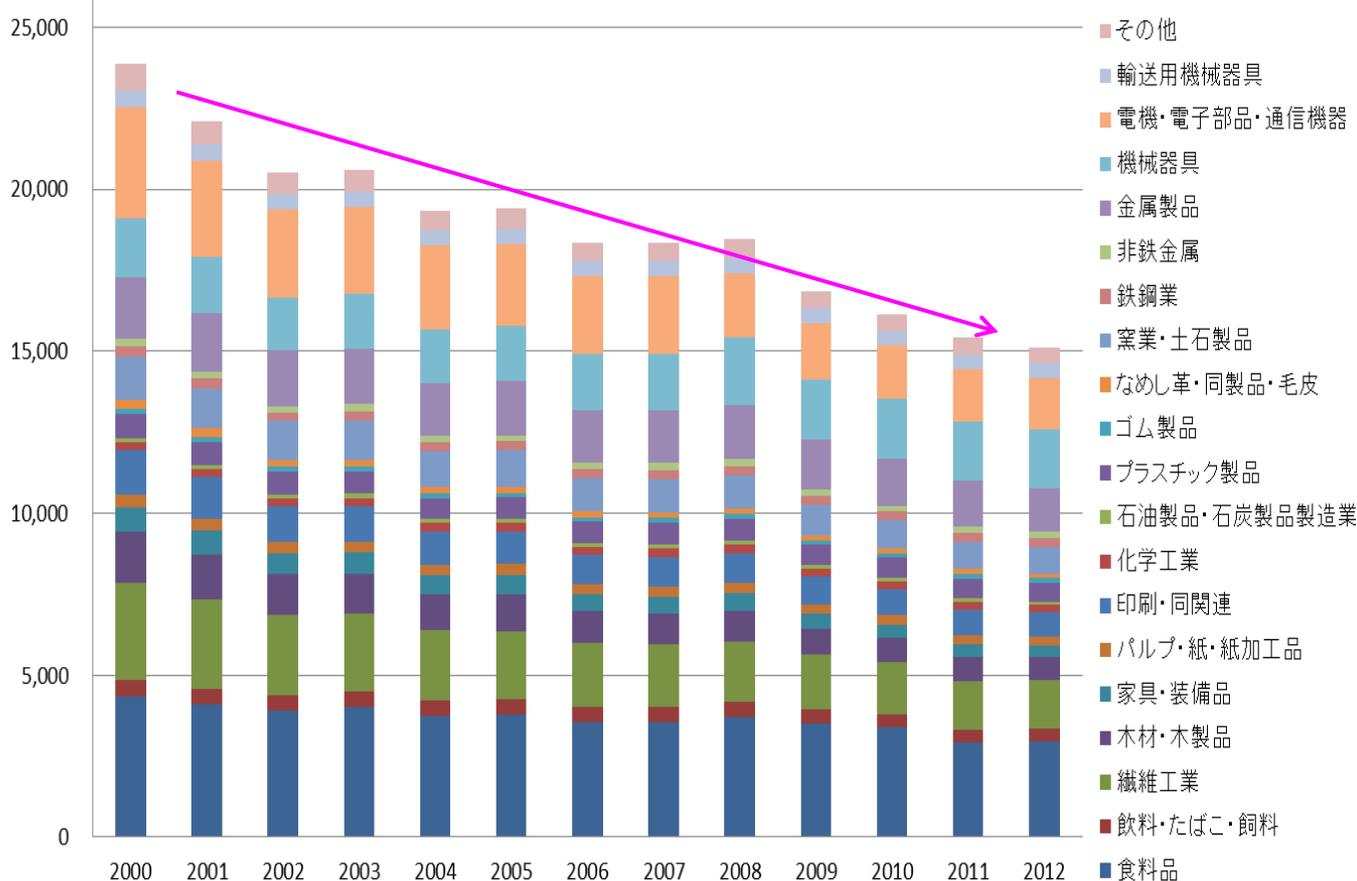
---

工業統計(経済産業省)より

# 東北6県の産業動向

- 東北6県の**事業所数**は殆ど全ての業種において長期的な**減少傾向**にある  
 ⇒2000年:24,857事業所 → 2012年:15,111事業所（12年間で9,746事業所減 年あたり-3.7%のマイナス成長）

事業所数(4名以上)の推移



縦軸:事業所数 横軸:年度

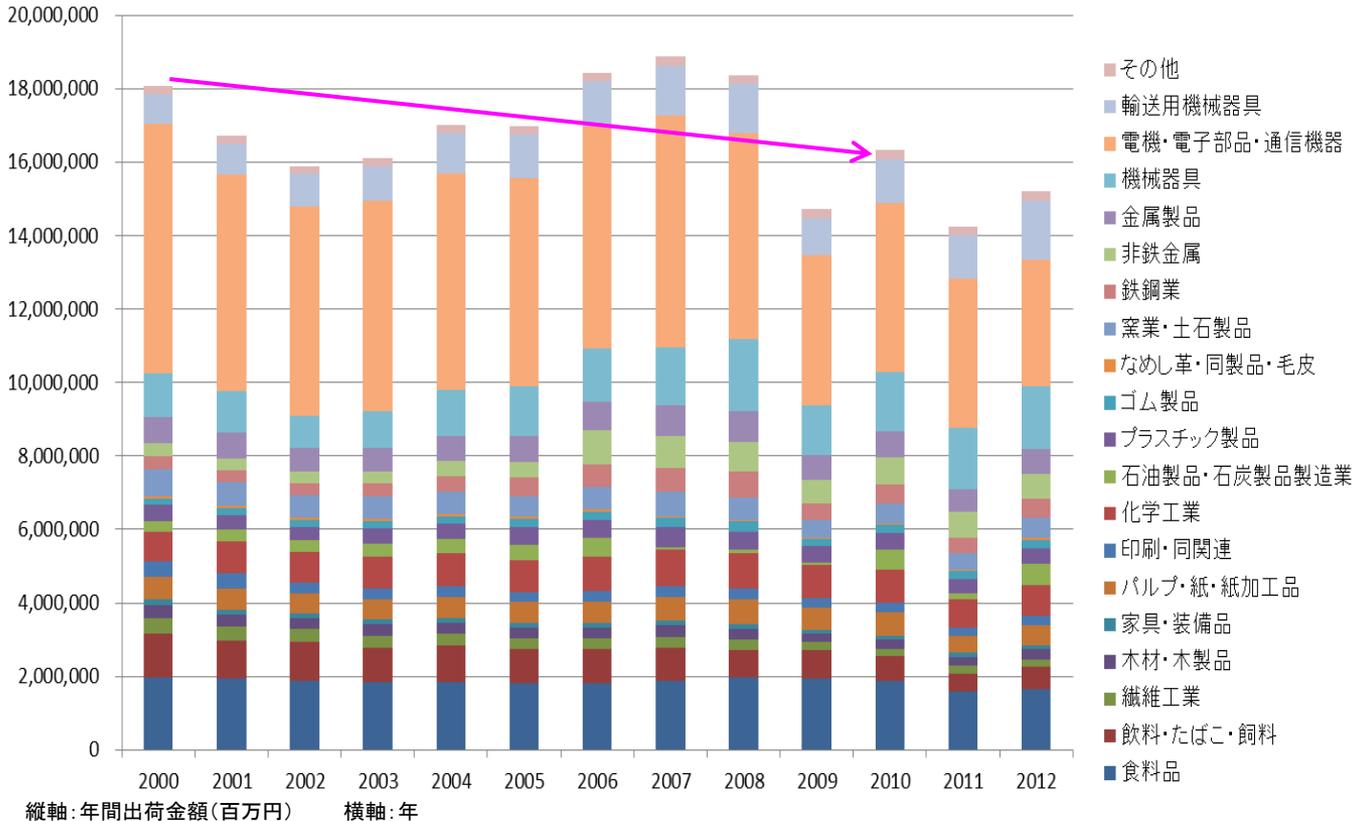
業種毎の成長率(CAGR)  
(2000年~2012年)

食料品	-3.16%
飲料・たばこ・飼料	-2.13%
繊維工業	-5.59%
木材・木製品	-6.62%
家具・装備品	-5.93%
パルプ・紙・紙加工品	-2.84%
印刷・同関連	-4.83%
化学工業	-0.75%
石油製品・石炭製品製造業	-2.87%
プラスチック製品	-1.65%
ゴム製品	-1.83%
なめし革・同製品・毛皮	-5.06%
窯業・土石製品	-3.96%
鉄鋼業	-1.60%
非鉄金属	-1.43%
金属製品	-2.82%
機械器具	0.15%
電機・電子部品・通信機器	-6.34%
輸送用機械器具	-0.67%
その他	-4.29%

# 東北6県の産業動向

- 東北6県の**製造品出荷額等**は、全体として長期的に**減少傾向**にある  
⇒2000年:18.1兆円 → 2012年:15.2兆円 (12年間で2.9兆円減 年あたり-1.4%のマイナス成長)
- 成長している業種：石油・石炭／ゴム／鉄鋼／非鉄金属／機械器具／輸送用機械器具  
減少が顕著な業種：飲料／繊維／印刷／電気・電子部品

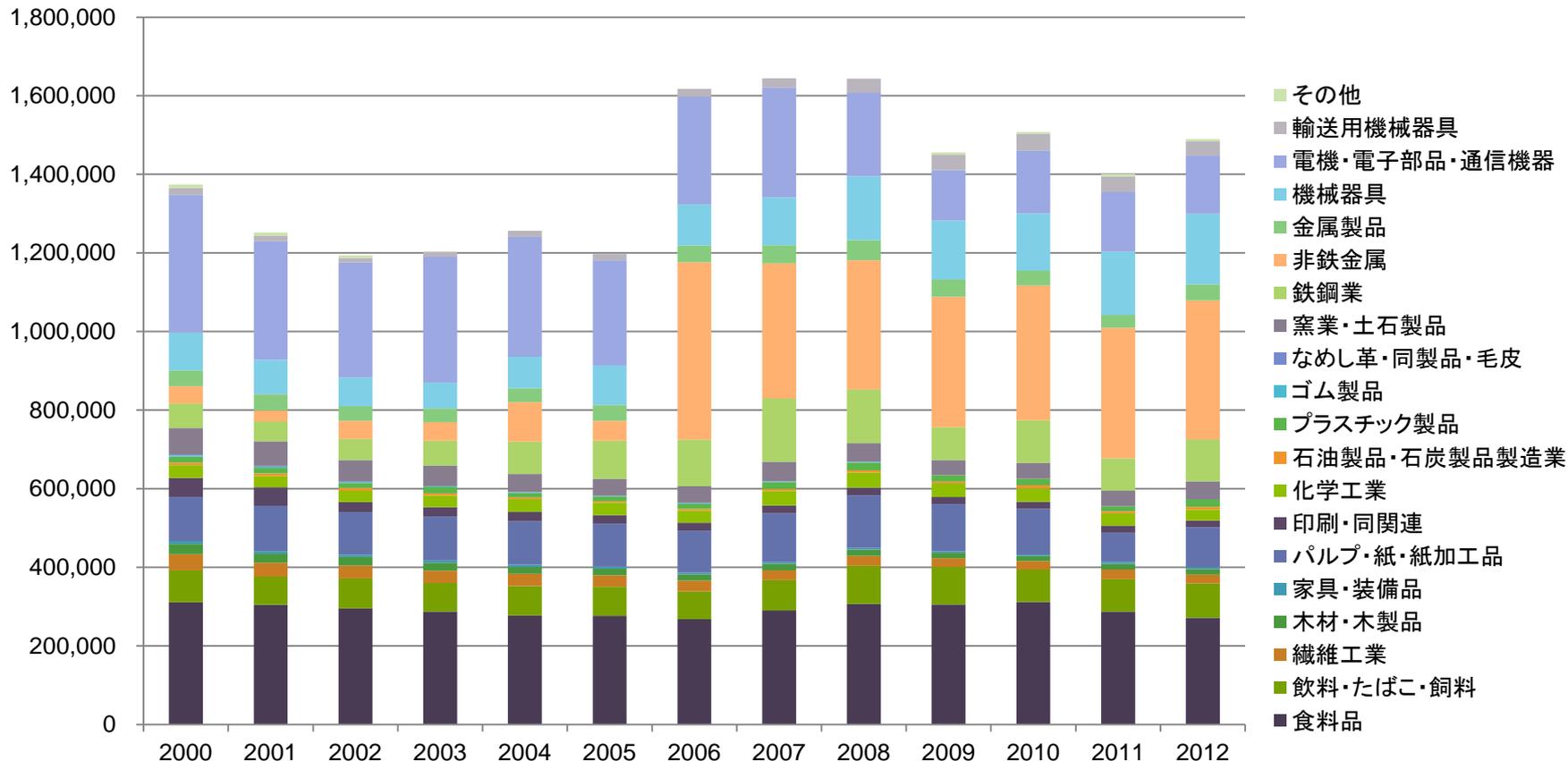
## 出荷金額の推移(業種別)



業種毎の成長率(CAGR) (2000年～2012年)	
食料品	-1.58%
飲料・たばこ・飼料	-5.36%
繊維工業	-5.41%
木材・木製品	-2.51%
家具・装備品	-2.42%
パルプ・紙・紙加工品	-0.74%
印刷・同関連	-4.80%
化学工業	0.61%
石油製品・石炭製品製造業	5.78%
プラスチック製品	-0.52%
ゴム製品	2.39%
なめし革・同製品・毛皮	-2.33%
窯業・土石製品	-2.49%
鉄鋼業	3.23%
非鉄金属	5.96%
金属製品	-0.78%
機械器具	3.10%
電機・電子部品・通信機器	-5.53%
輸送用機械器具	5.87%
その他	2.41%

# 青森県の産業動向

- 2007年に**製造品出荷額等**は最高（1.64兆円）を記録。その後**やや減少**し現在1.4～1.5兆の間を推移
- かつて金額全体の1/4を占めていた電気・電子部品・通信機器は2012年までに全体の1割程度にまで減少  
⇒2000年:351,149百万円 → 2012年:148,053百万円
- 非鉄金属、輸送用機械機、機械機器、鉄鋼業、プラスチック製品といった業種において成長が見られる

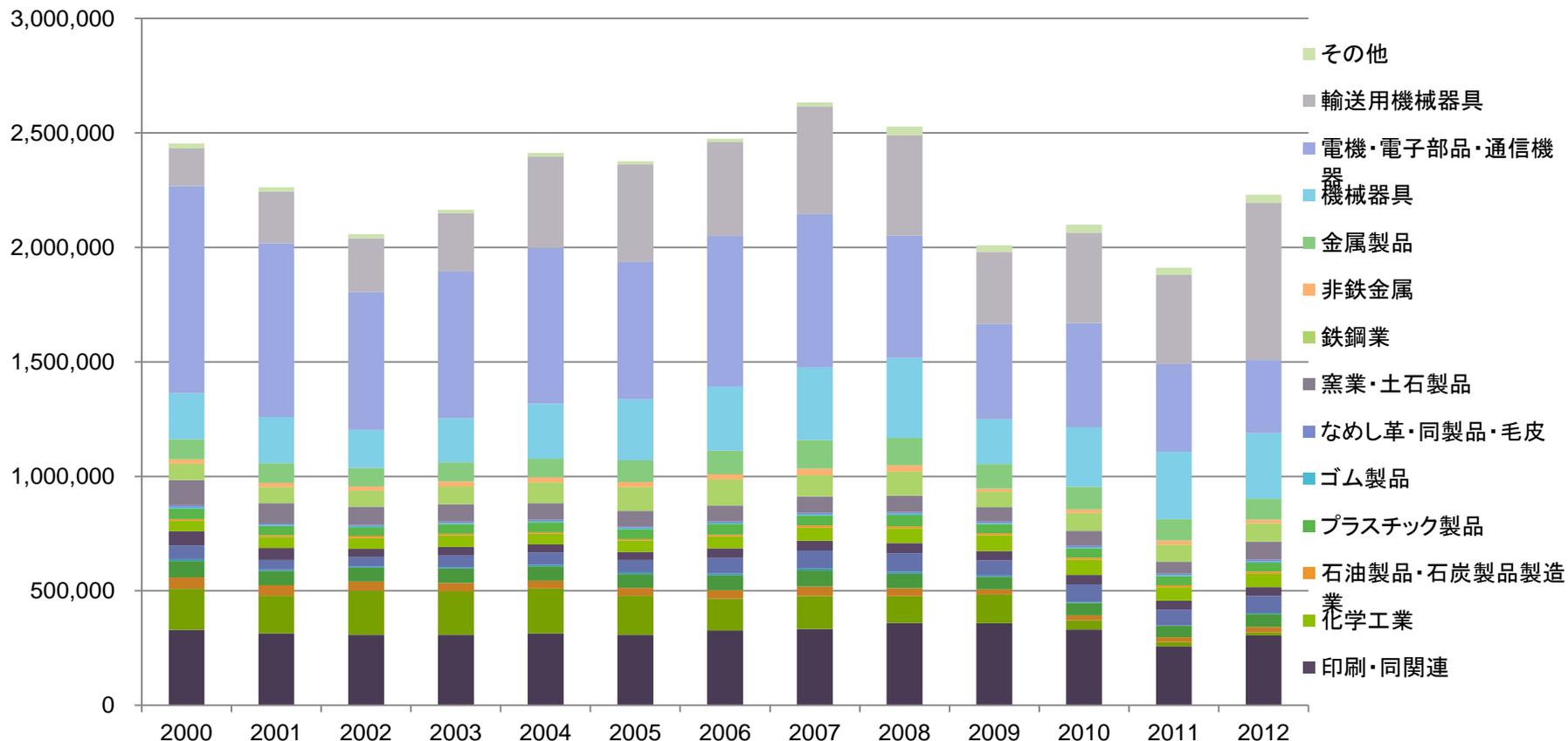


縦軸: 年間出荷金額 (百万円) 横軸: 年

# 岩手県の産業動向

- 2007年に**製造品出荷額等**は2.6兆円に到達。その後**やや減少**し、現在2兆~2.2兆円の金額規模で推移
- 主要3業種（ゴム製品／電気・電子部品・通信機器／輸送用機械器具）で製造品出荷額等全体の半分以上を占める
- 電気・電子部品・通信機器の金額が徐々に減少する中、輸送用機械器具の大幅な伸長が見られる

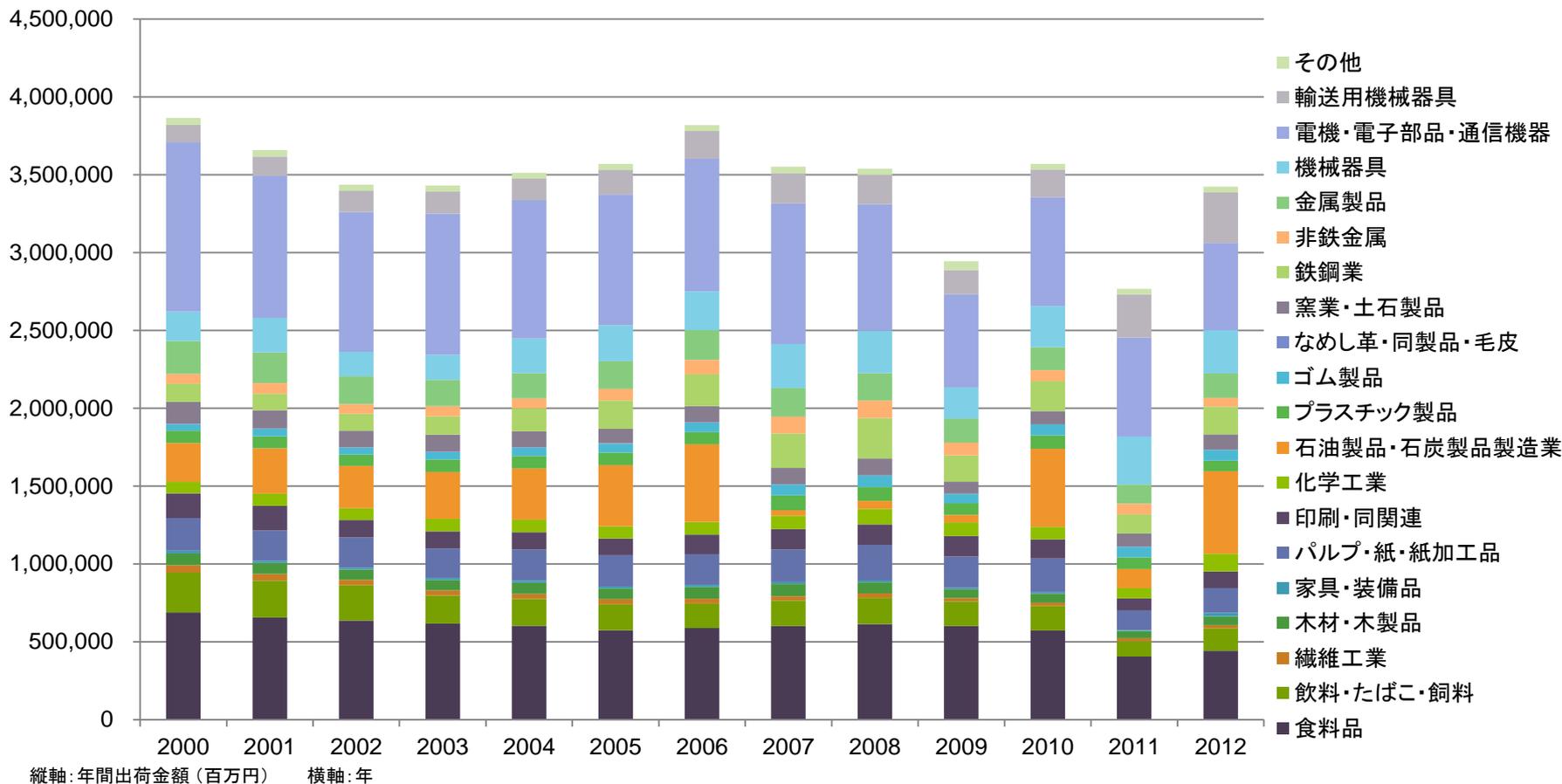
⇒ 2000年:1,640億円 → 2012年:6,860億円 CAGR:12.6%



縦軸: 年間出荷金額 (百万円) 横軸: 年

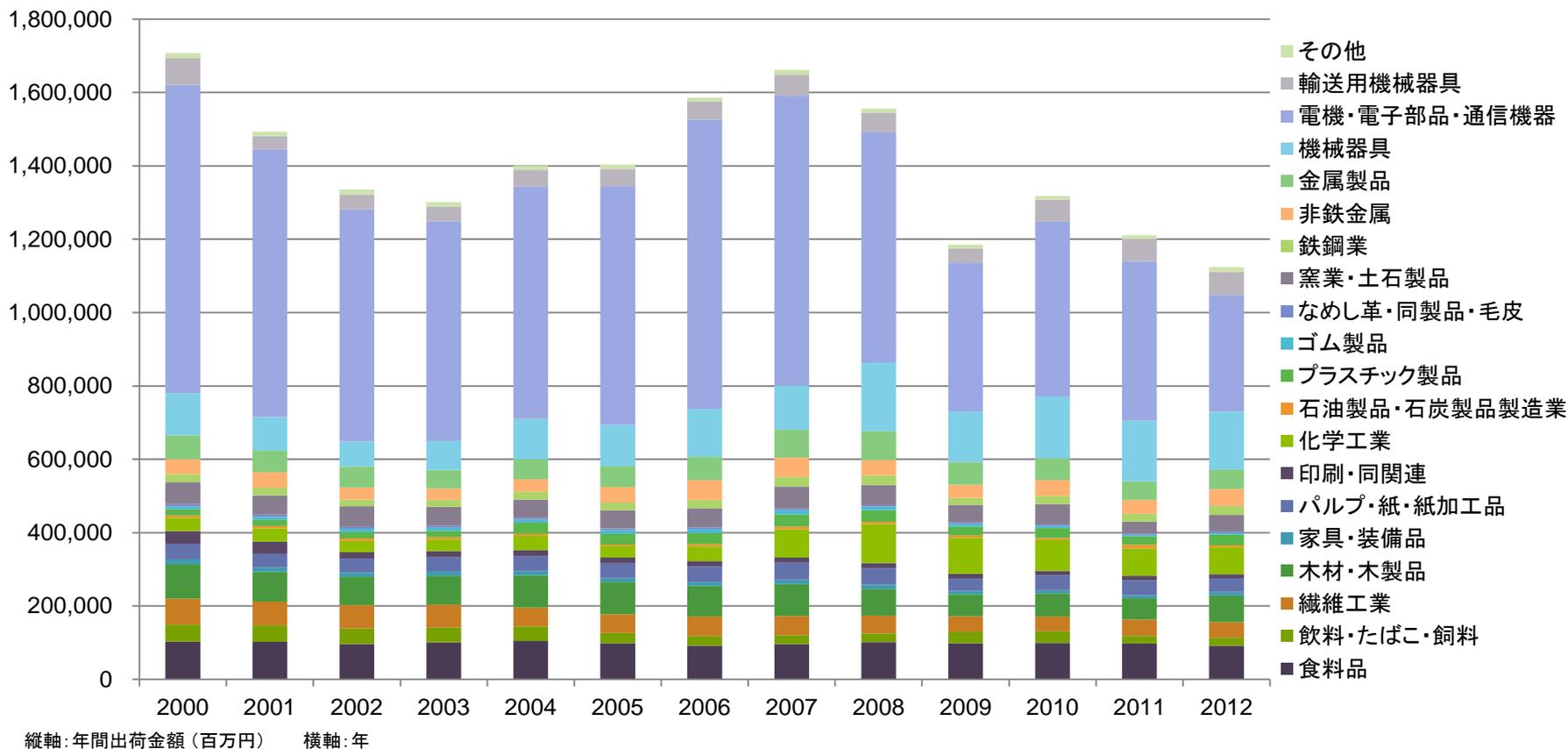
# 宮城県の産業動向

- リーマンショックの2009年、東日本大震災の2011年に**製造品出荷額等**は極端に**低下**したものの、概ね3.5兆円前後を維持
- 電気・電子部品・通信機器の低迷と合わせ、輸送用機械器具の成長がみられる  
⇒輸送用機械器具...2000年:1,120億円 → 2012年:3,250億円 CAGR:9.3%
- 石油製品・石炭製品は年度により出荷規模に大きな違いがあり、全体の金額に大きな影響を与えている



# 秋田県の産業動向

- **製造品出荷額等**は2000年の1.7兆円をピークに、その後徐々に金額規模が**低下**。現在は1.1兆円程度にまで縮小
- 電気・電子部品・通信機器は他の業種領域と比べて未だ大きな位置づけだが、年々その差は縮小傾向にある  
⇒2000年:8,410億円→2012年:3,180億円 CAGR:-7.8%
- 機械機器、化学工業の領域において、やや成長がみられる  
⇒機械機器...2000年:1,140億円 → 2012年:1,580億円      化学工業...2000年:360億円 → 2014年:730億円



# 山形県の産業動向

■ **製造品出荷額等**に占める電気・電子部品・通信機器の割合が現在でも圧倒的に高い（2012年:36%）

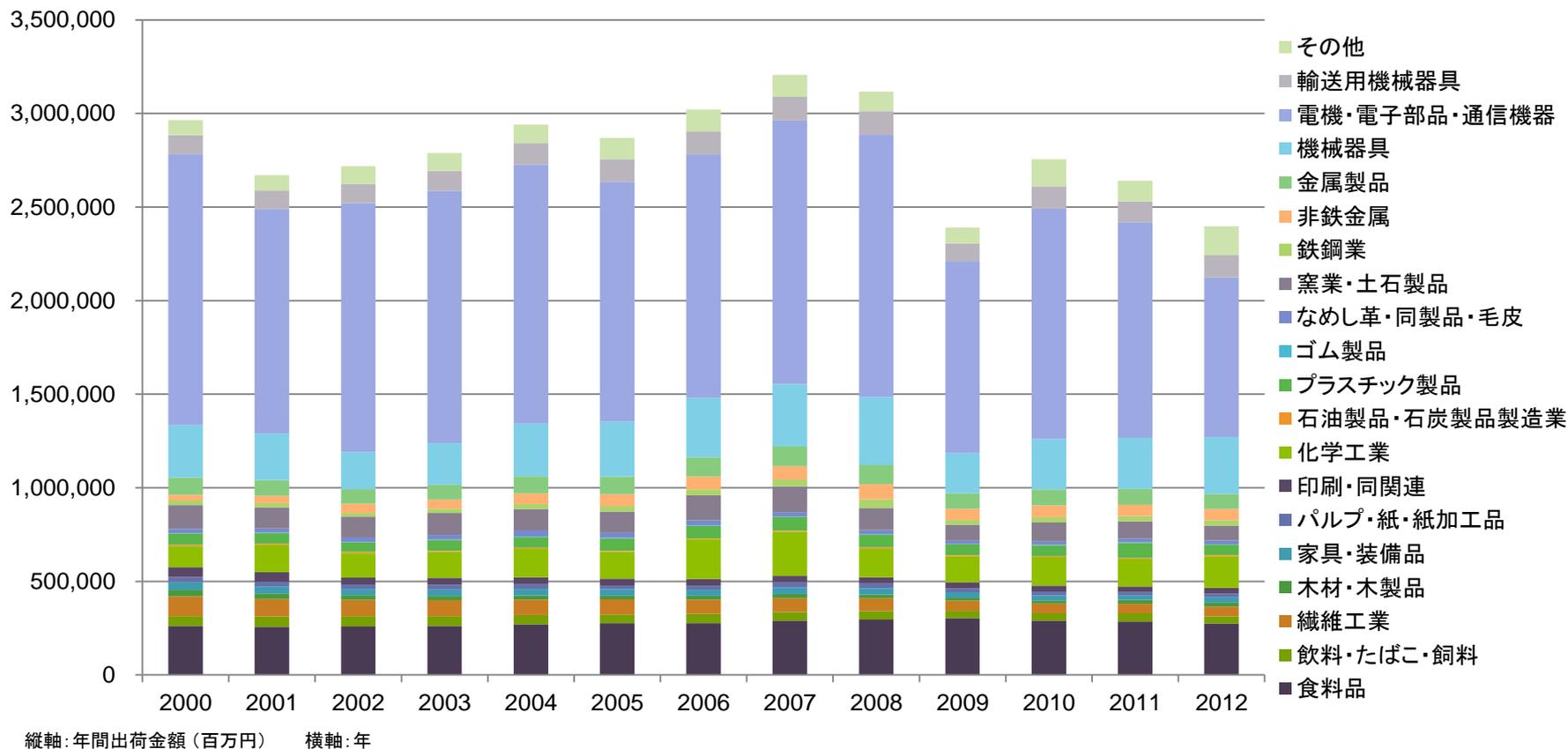
■ 電気・電子部品・通信機器の金額規模は他県と比べても未だ大きい、年々減少続けている

⇒ 2000年:14,490億円 → 2012年:8,520億円 CAGR:-4.3%

■ 非鉄金属、化学工業の領域においてやや成長がみられる

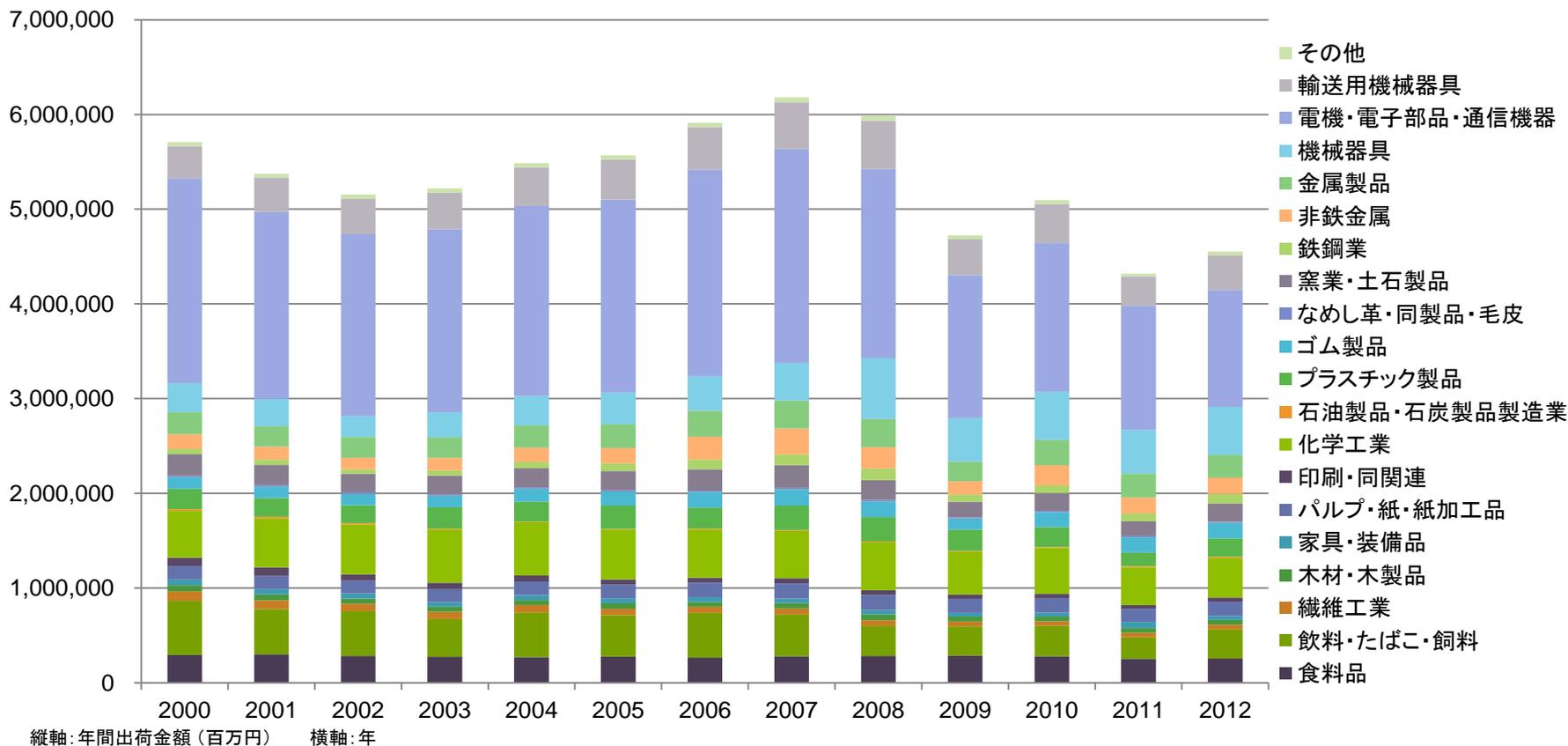
（非鉄金属...2000年: 310億円→2012年: 600億円

化学工業...2000年: 1,130億円→2014年: 1,700億円



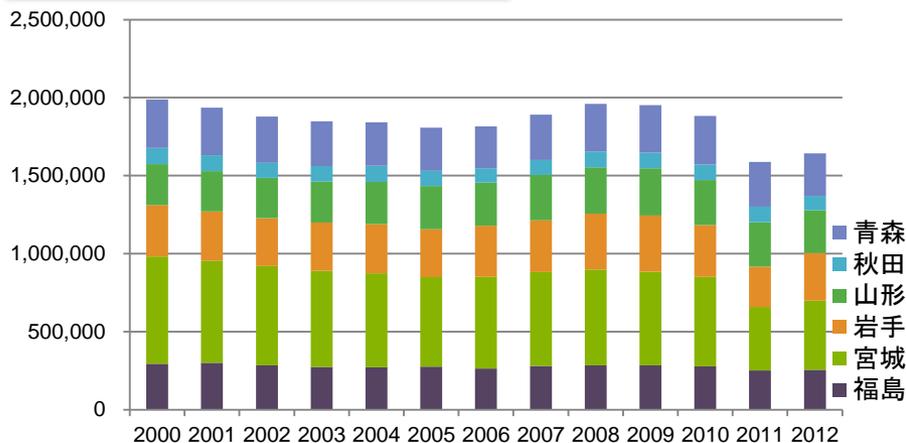
# 福島県の産業動向

- **製造品出荷額等**は2007年6.2兆円をピークに、その後2009年に一気に1兆円近く**低下**。以降回復できていない状態
- 特に電気・電子部品・通信機器の低下が大きい  
⇒ 2000年:21,650億円 → 2012年:12,340億円 CAGR:-4.6%
- 機械機器の領域において成長がみられる  
⇒ 2000年: 3,070億円 → 2012年:5,080億円 CAGR:4.29%

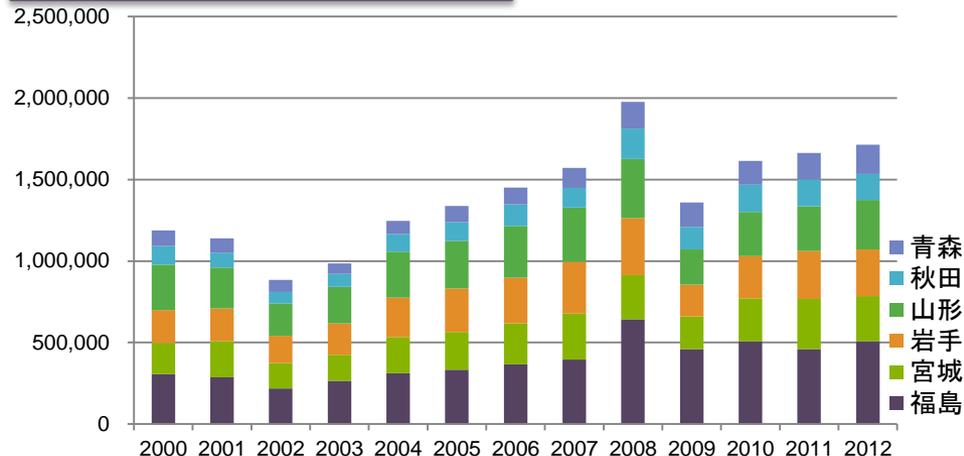


# 主要品目の動向(県別製造品出荷額等推移)

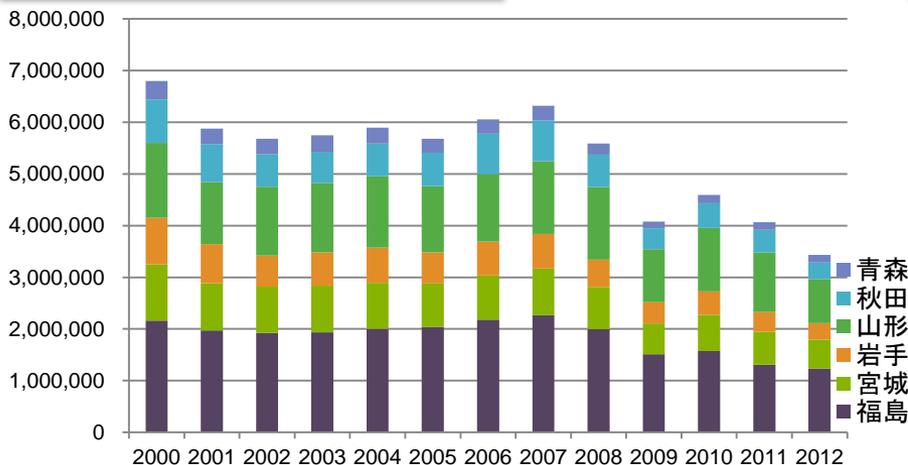
食料品



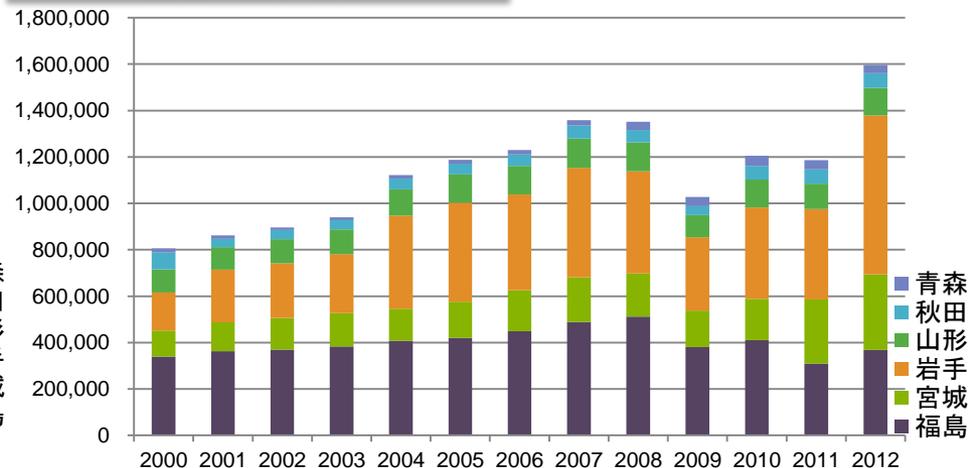
機械機器



電機・電子部品・通信機器



輸送用機械機器



縦軸: 年間出荷金額(百万円) 横軸: 年

# 産業動向サマリ

- **製造品出荷額等**からみた東北6県の産業（製造業）は全体的に**縮小傾向**にあると言える
- 東北地方における主要な生産品目であった、電気・電子部品・通信機器の生産が縮小傾向にあり、今後もこの傾向は継続していくものと予想される
- いまだ金額規模は小さいものの、機械器具、輸送用機械器具は、ほぼすべての県で増加を見せており、これから成長の期待が持てる分野であるといえる

	県	動向	注目する産業・業種
各県の特徴	青森	 (横ばい)	●電気・電子部品・通信機器は今後縮小 ●非鉄金属、機械器具、輸送用機械器具の成長に期待
	岩手	 (横ばい)	●電気・電子部品・通信機器は今後縮小 ●機械器具、輸送用機械器具の成長に期待
	宮城	 (横ばい)	●電気・電子部品・通信機器は今後縮小 ●機械器具、輸送用機械器具と、石油製品・石炭製品製造業の成長に期待
	秋田	 (下降気味)	●電気・電子部品・通信機器は今後縮小 ●化学工業、機械器具の成長に期待
	山形	 (下降気味)	●電気・電子部品・通信機器は今後縮小 ●化学工業、非鉄金属、輸送用機械器具の成長に期待
	福島	 (下降気味)	●電気・電子部品・通信機器は今後縮小 ●機械器具の成長に期待



東北6県の貨物需要は全体として現状維持または縮小の傾向